

鳥取県の政策に関する県民意識調査
結果報告書
(令和8年6月調査)

令和8年 10 月



目 次

	ページ
【 調査の概要 】	
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 資料のみかた.....	1
4 回収状況と信頼区間.....	2
5 回答者の情報.....	3
【 結果の概要 】	
結果の概要.....	6
【 調査結果 】	
I 鳥取県の住みやすさについて.....	9
問 1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか.....	9
問 2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください.....	11
問 3 あなたは鳥取県での暮らしについてどう思いますか.....	13
問 4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか.....	15
問 5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか.....	17
 II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について.....	 19
1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる.....	19
問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度.....	19
問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度.....	22
2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む.....	24
問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度.....	24
問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度.....	27
3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ.....	29
問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度.....	29
問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度.....	32
4 男女共同参画社会づくり.....	34
問 7 男女に関する役割についてどう思いますか.....	34
問 8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思 いますか.....	35
問 9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いませんか.....	37
5 性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み).....	39
問 10 性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)についてどう思いますか.....	39
問 11 ご自身の中に、「男だから」「女だから」といった性別による役割分担意識があると思いませんか.....	40

問 12	ご自身の中にある性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものだと思いますか	42
問 13	「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)を感じたことがありますか.....	44
問 14	それはどんなできごとでしたか	46
問 15	どうすれば性別役割分担意識による生きづらさが解消されると思いますか	46

Ⅲ 重点施策への関心・認識..... 48

問 16	鳥取県の人口減少が続いていく状況について、どう思われますか	48
問 17	人口減少で影響があると考えられる分野について、あなたの関心度をお聞きます	50
問 18	人口減少対策に関連する施策のうち、今後強化すべきものは何だと思われますか.....	51

【 自由記載 】(問5、問8、問9、問 12、問 14、問 15、問 18 の回答を含む自由記載) 53

【 資料 】

調査票	60
集計結果	72

【 調 査 の 概 要 】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆様とともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆様が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- | | |
|-----------|---|
| (1)調査対象 | 鳥取県内在住の 18 歳以上 75 歳未満の者 3,000 名 |
| (2)抽出方法 | 住民基本台帳に基づく無作為抽出法 |
| (3)調査時期 | 令和8年6月 |
| (4)調査方法 | (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはインターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。 |
| (5)有効回答数 | 1,523 名 |
| (6)回収率 | 50.8% (1,523／3,000)
・郵送回答:802 (52.7%)・インターネット回答:721 (47.3%) |
| (7)回答者の属性 | 性別: 男性 612 人(40.2%)、女性 855 人(56.1%)
その他・回答したくない 37 人(2.4%)、無回答 19 人(1.2%)
年齢:18～19 歳(2.7%)、20～29 歳(10.7%)、30～39 歳(10.2%)、
40～49 歳(17.6%)、50～59 歳(18.9%)、60～69 歳(23.8%)、
70 歳以上(15.3%)、無回答(0.8%) |

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は 100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示した。このため、百分率の合計が 100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18～19 歳」標本の取り扱いについて

- ・クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18～19 歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。
- ・クロス集計グラフについて、「性別:その他×年代:18～19 歳」区分の回答者は無かったため項目の記載はしていない。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18 歳以上 75 歳未満の鳥取県推計人口 339,655 人(令和7年 10 月 1 日時点)から無作為に 3,000 人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は 1,523 人であり、回収率は 50.8%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)} \right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

- A = 必要標本数
α = 推定を誤る確率
X(α) = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)
N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)
σ² = 母分散
ε = 精度

本調査では、信頼度を 95%として計算を行った。この場合、X(α)は、1.96 であり、母集団の大きさは 339,655 人。精度を仮に 3%、母比率を 50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{339,655}{\left[\frac{3}{1.96} \right]^2 \cdot \frac{339,655}{50 \times 50} + 1} = 1063.77$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は 1,063 人であり、有効回答 1,523 人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1} \right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

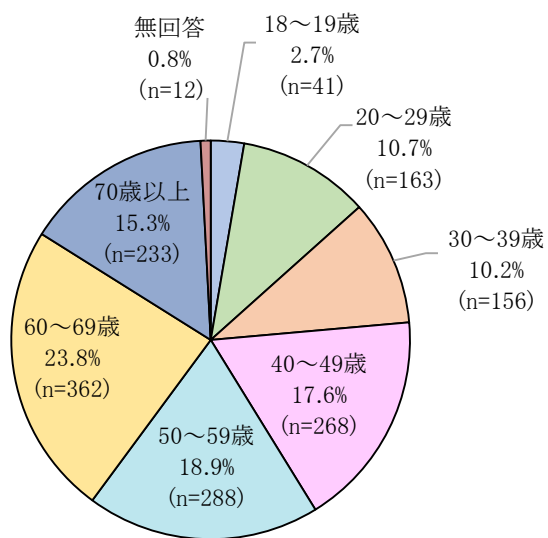
- B = 標本誤差
N = 母集団の大きさ(満 18 歳以上 75 歳未満の県民)
n = 回答者総数(1,523 人)
Q = 母比率(0.5 とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{338,132}{339,654} \right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,523}} = \pm 2.50$$

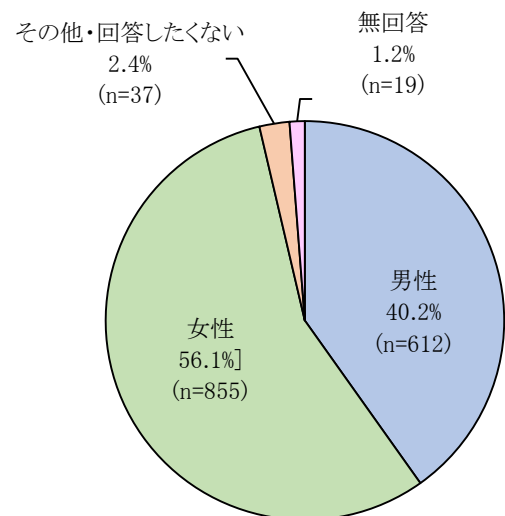
すなわち、標本誤差は ±2.50% しかないといえる。

5 回答者の情報

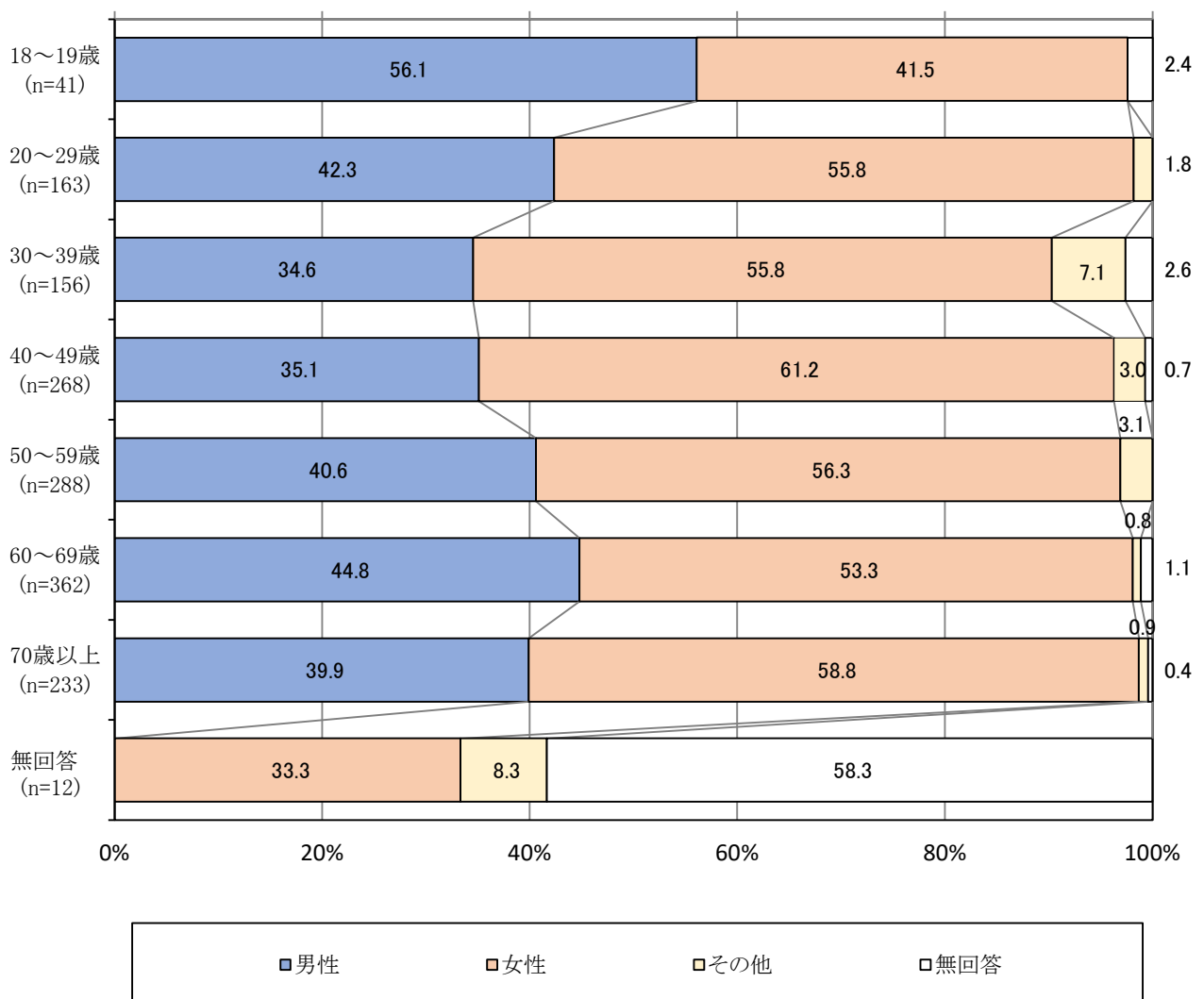
(1) 年代



(2) 性別



(3) 性別 × 年代



＜市町村別調査対象者数＞

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	59,876	59,454	119,330	529	525	1,054
	岩美町	3,261	3,184	6,445	29	28	57
	若桜町	724	691	1,415	6	6	12
	智頭町	1,773	1,753	3,526	16	15	31
	八頭町	4,626	4,701	9,327	41	42	83
	(小計)	70,260	69,783	140,043	621	616	1,237
中 部 地 区	倉吉市	13,358	14,134	27,492	118	125	243
	三朝町	1,736	1,659	3,395	15	15	30
	湯梨浜町	4,856	5,010	9,866	43	44	87
	琴浦町	4,597	4,689	9,286	41	41	82
	北栄町	4,197	4,300	8,497	37	38	75
	(小計)	28,744	29,792	58,536	254	263	517
西 部 地 区	米子市	45,382	47,302	92,684	401	418	819
	境港市	10,215	10,196	20,411	90	90	180
	日吉津村	1,117	1,177	2,294	10	10	20
	大山町	4,360	4,281	8,641	39	38	77
	南部町	3,071	3,062	6,133	27	27	54
	伯耆町	3,046	3,067	6,113	27	27	54
	日南町	1,125	906	2,031	10	8	18
	日野町	729	670	1,399	6	6	12
	江府町	681	689	1,370	6	6	12
	(小計)	69,726	71,350	141,076	616	630	1,246
合 計		168,730	170,925	339,655	1,491	1,509	3,000

※人口は鳥取県統計課「鳥取県の推計人口」より、令和7年 10 月 1 日時点の 18 歳以上 75 歳未満の推計人口を用いた。

<回答者の情報>

【性別】

区 分	件 数	割 合(%)
男性	612	40.2
女性	855	56.1
その他 ・回答した くない	37	2.4
無回答	19	1.2
計	1,523	100

【年代】

区 分	件 数	割 合(%)
18～19 歳	41	2.7
20～29 歳	163	10.7
30～39 歳	156	10.2
40～49 歳	268	17.6
50～59 歳	288	18.9
60～69 歳	362	23.8
70 歳以上	233	15.3
無回答	12	0.8
計	1,523	100

【職業】

区 分	件 数	割 合(%)
会社員 (公務員含む)	689	45.2
自営業 (家族従業者含む)	134	8.8
パート ・ アルバイト	247	16.2
学生	66	4.3
専業主婦 ・主夫	121	7.9
無職	240	15.8
無回答	26	1.7
計	1,523	100

【住まい】

区 分	件 数	割 合(%)
鳥取市	557	36.6
米子市	384	25.2
倉吉市	125	8.2
境港市	94	6.2
岩美町	22	1.4
若桜町	5	0.3
智頭町	17	1.1
八頭町	46	3.0
三朝町	17	1.1
湯梨浜町	41	2.7
琴浦町	40	2.6
北栄町	42	2.8
日吉津村	6	0.4
大山町	40	2.6
南部町	29	1.9
伯耆町	27	1.8
日南町	9	0.6
日野町	4	0.3
江府町	6	0.4
無回答	12	0.8
計	1,523	100

【 結 果 の 概 要 】

I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りは、約7割の人が「感じている」又は「少し感じている」と答えている。
- 今暮らしている地域について、約6割の人が「住みやすい」と答えている。
- 鳥取県に暮らしていて、豊かな自然環境に恵まれていると思う人は約9割と圧倒的に多く、また5割以上の人が治安が良い、住民が親切であると答えている。
- 生活するにあたっての公共交通機関の状況について、約6割の人が「整っていない」と思っている。
- 鳥取県での暮らしの幸せの程度について、約9割の人が「普通」から「とても幸せ」と答えている。
- 幸福度の判断で重視することについて、約7割の人が「家計の状況」「自身の健康の状況」と答えている。

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」「文化・アートのまちづくりの取組」に満足を感じている割合が多い。なお、すべての項目において、満足を感じている割合が不満を感じている割合を上回っている。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」「地域の健康と安心を守る取組」に満足を感じている割合が多い。一方で、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」「危機を乗り越え、地域を元気にする取組」に不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「防災・減災対策の強化」に満足を感じている割合が多い。一方で、「県内産業の持続的発展をめざす取組」「県内産業を支える人づくりの推進」に不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「県内産業の持続的発展をめざす取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「県内産業を支える人づくりの推進」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【男女共同参画社会づくり】

- 男女に関する役割などについて、約8割の人が「現実として家事や子育てが女性の役割となっていると思う」、約7割の人が「現実として介護が女性の役割となっていると思う」と答えている。
- 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策について、約6割の人が「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」と答えている。
- 男女共同参画社会を実現するために行政が特に力をいれるべきことについて、約6割の人が「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」、約5割の人が「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」、約4割の人が「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」と答えている。

【性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)】

- 性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について、「そう思う」との回答は「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」が約7割、「家事・育児は、やはり女性が向いていると思う」が約5割となっている。
- 性別による役割分担意識について、「ある」は約半数、「ない」は約3割となっている。
- 性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものかについて、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」が最も高く約8割、次いで「職場」が約3割、「学校」が約2割となっている。
- 性別による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)を感じたことがあるかについて、「ある」が約2割、「ない」が約5割となっている。
- どうすれば性別役割分担意識による生きづらさが解消されるかについて、「家庭と仕事を両立しやすい環境」が約6割、「性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」「男性がすべき、女性がすべき」といった性別役割分担意識に基づく慣習やしきたりの見直し」が約5割となっている。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

【鳥取県の人口減少について】

- 人口減少が続いていく状況について、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が約4割となっている。
- 人口減少で影響があると考えられる分野の関心度について、「地域集落や地縁団体(自治会・町内会等)による地域住民同士の助け合いへの影響」がもっとも高い。
- 人口減少対策に関連する施策のうち、今後強化すべきものについて、「県外等からの企業誘致等による雇用の創出や県内経済の活性化」「県内就職を希望する方への支援」「公共交通機関、買い物環境、医療体制、教育機関等の生活に必要な機能の確保」が約4割と上位となっている。

【 調 査 結 果 】

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(○は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が42.9%、「少し感じている」が26.7%と、愛着や誇りを感じている人が69.6%となっている。一方、「あまり感じていない」が4.0%、「感じていない」が2.1%で、愛着や誇りを感じていない人は6.1%と1割に満たない。

令和元年度-8年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は令和2年度が74.7%と最も割合が高く、それ以降は減少傾向となっているが、令和8年度は前年度より1.4ポイント増加している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、50歳代以上が高くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男性の70歳以上が8割以上と高くなっている。

図1 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,523)

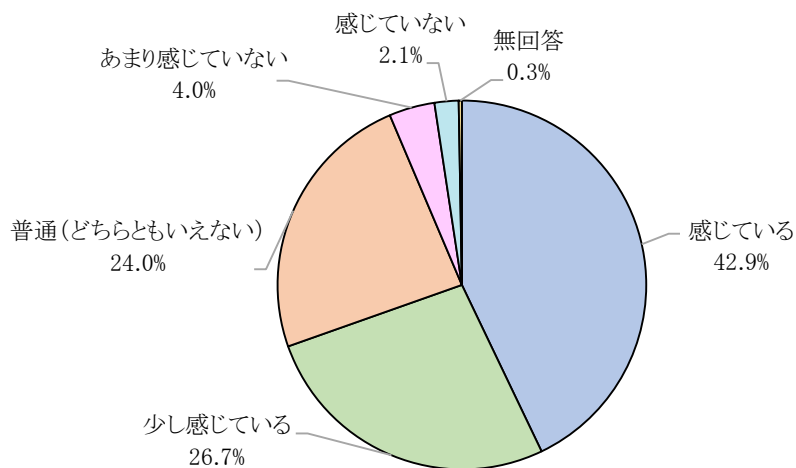


図2 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(年次比較)

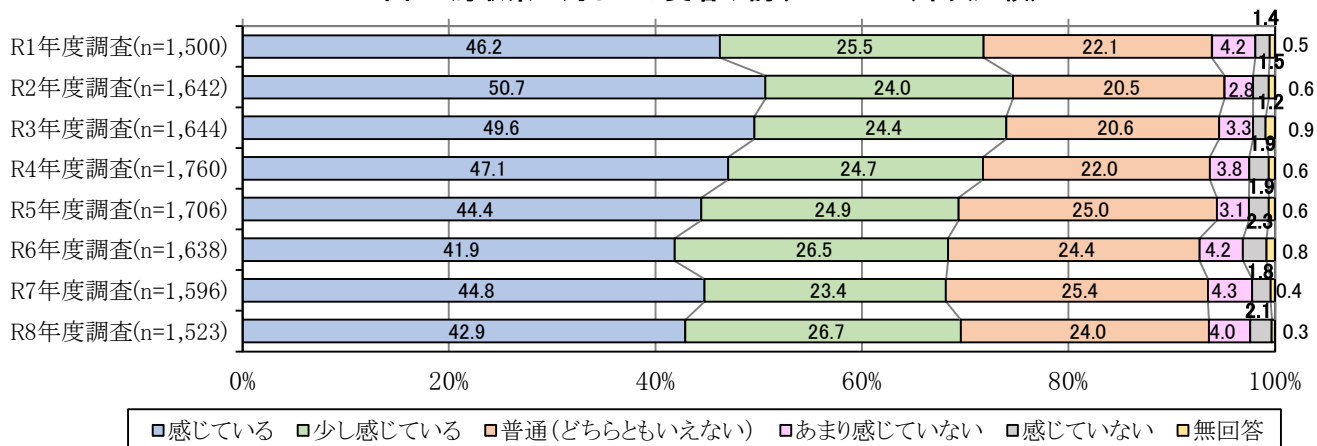
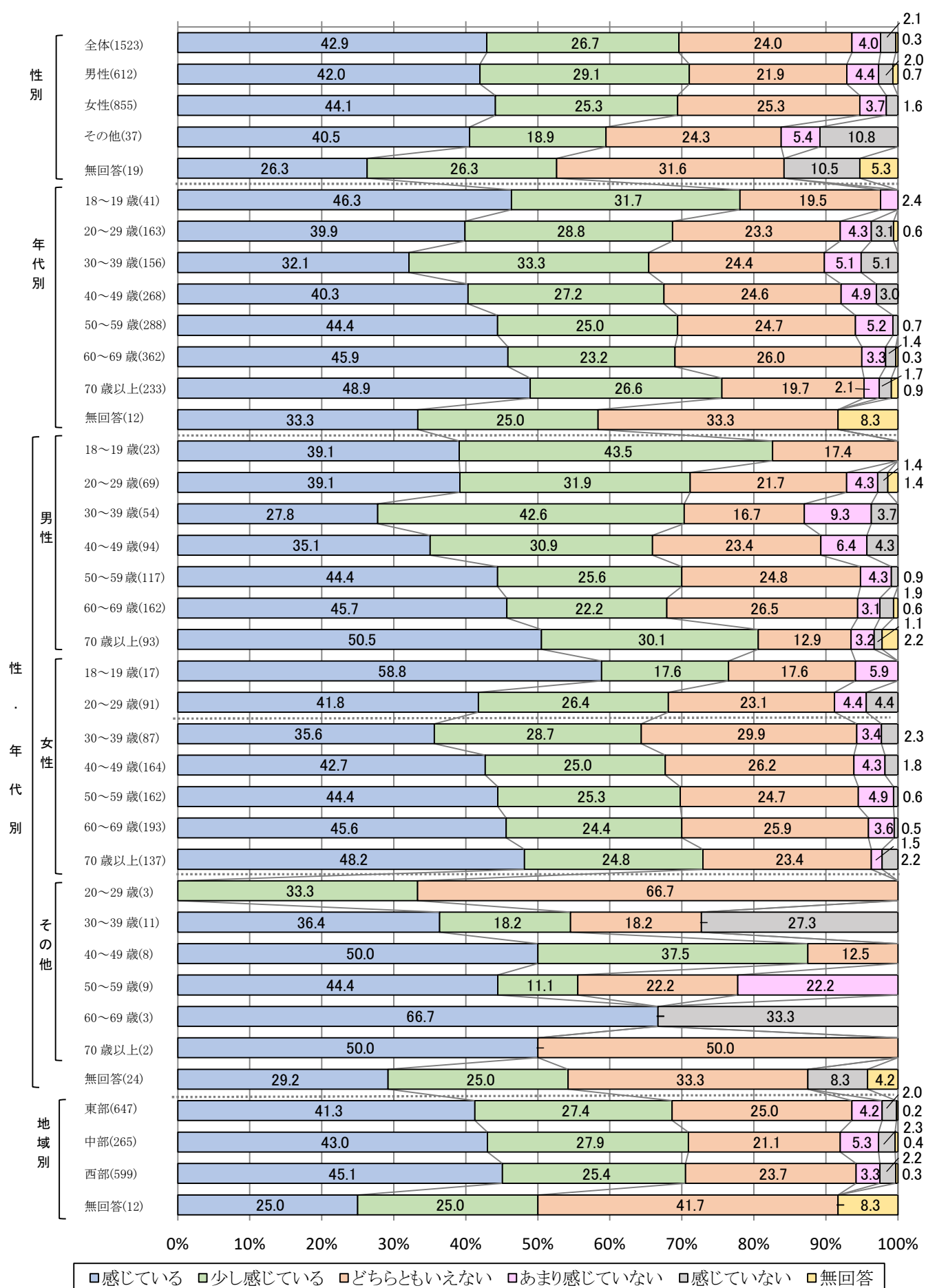


図3 鳥取県に対しての愛着や誇りについて(性別・年代・地域別)



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が18.5%、「どちらかというに住みやすい」が42.9%で、住みやすいと答えている人が合わせて61.4%となっている。

一方、「どちらかというに住みにくい」が7.6%、「住みにくい」が2.2%で、住みにくいと答えている人は合わせて9.8%となっている。

令和元年度-8年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計は、令和2年度の70.7%が最も割合が高く、それ以降は減少傾向となっている。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を合わせた割合は、40歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を合わせた割合は、男性は70歳代以上で高く、女性は50～60歳代が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかというに住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,523)

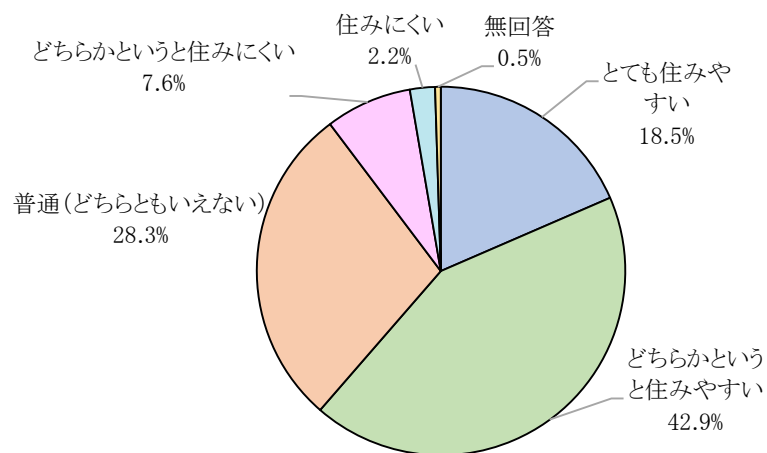


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

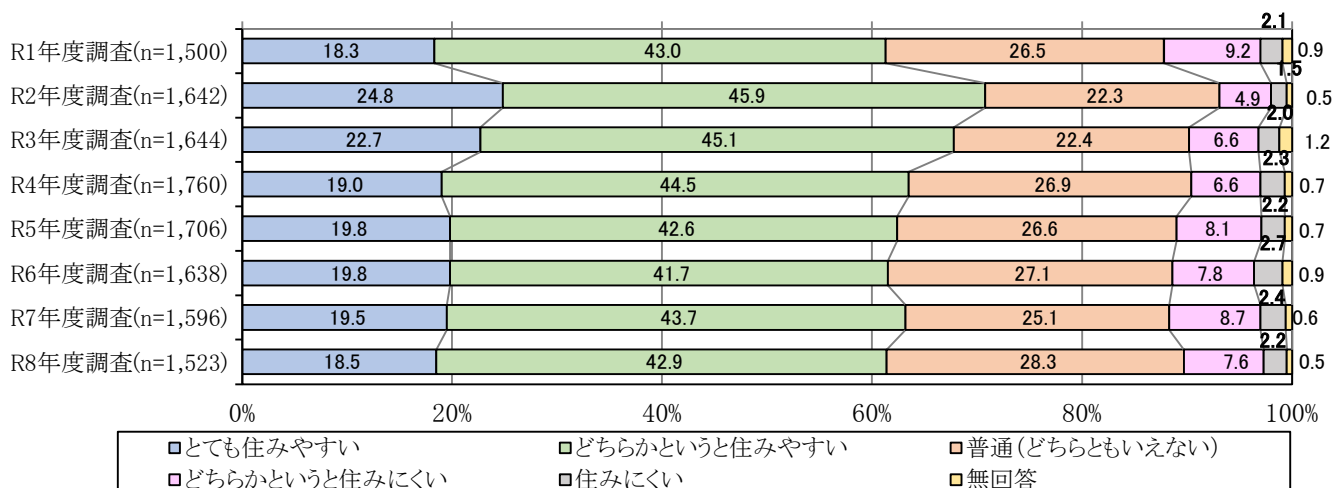
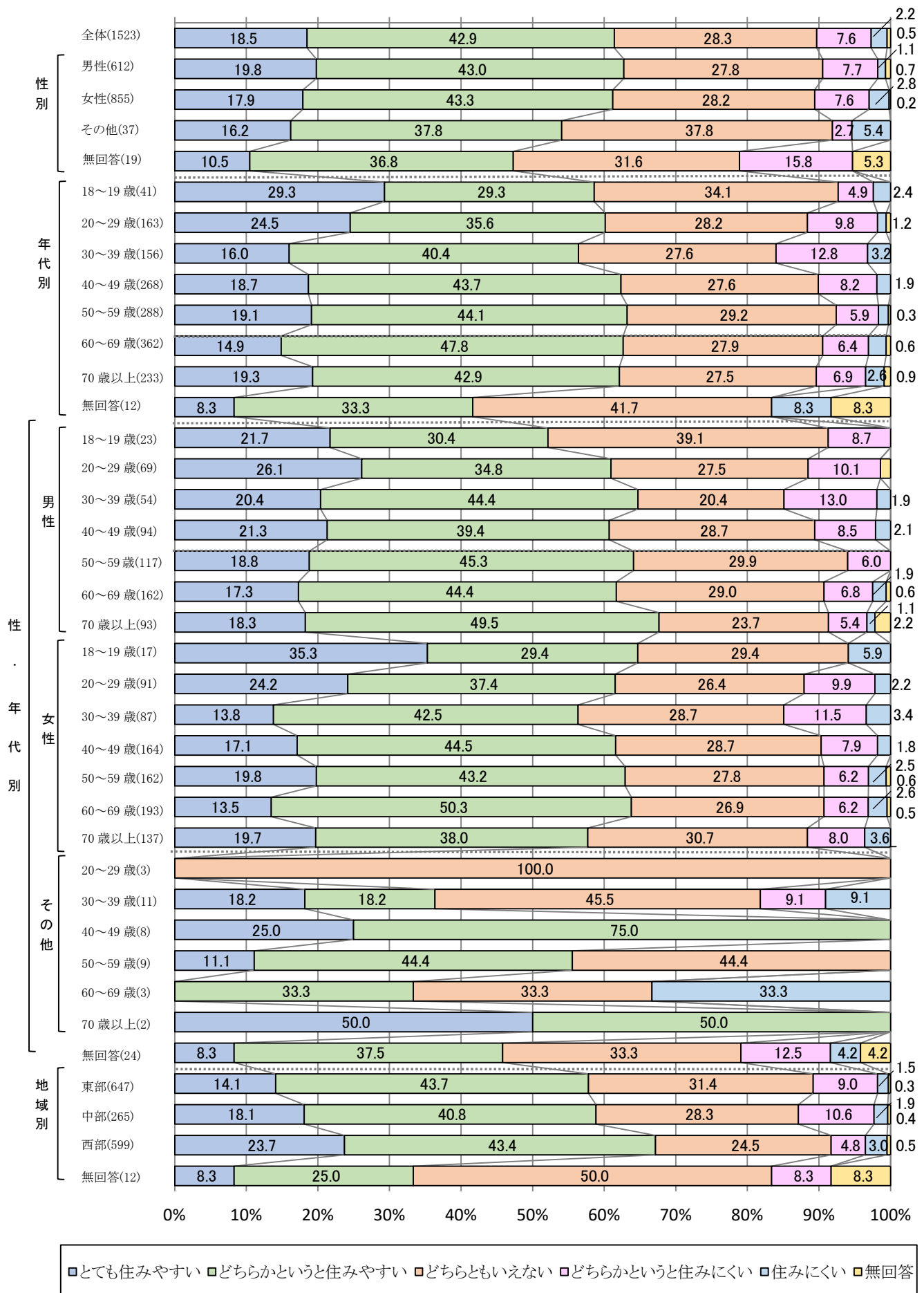


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代・地域別)



問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が90.2%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が62.5%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が54.0%、「地域での人と人とのつながりがある」が47.9%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が61.7%で最も割合が高く、次いで「子どもの教育環境が充実している」が16.9%、「医療や介護の体制が充実している」が16.5%となっている。

令和元年度-8年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は全ての年度で5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。また、「地域の防災組織が整っている」「子育て支援が充実している」については、前年度より僅かに増加している。

図7 鳥取県の暮らしについて (n=1,523)

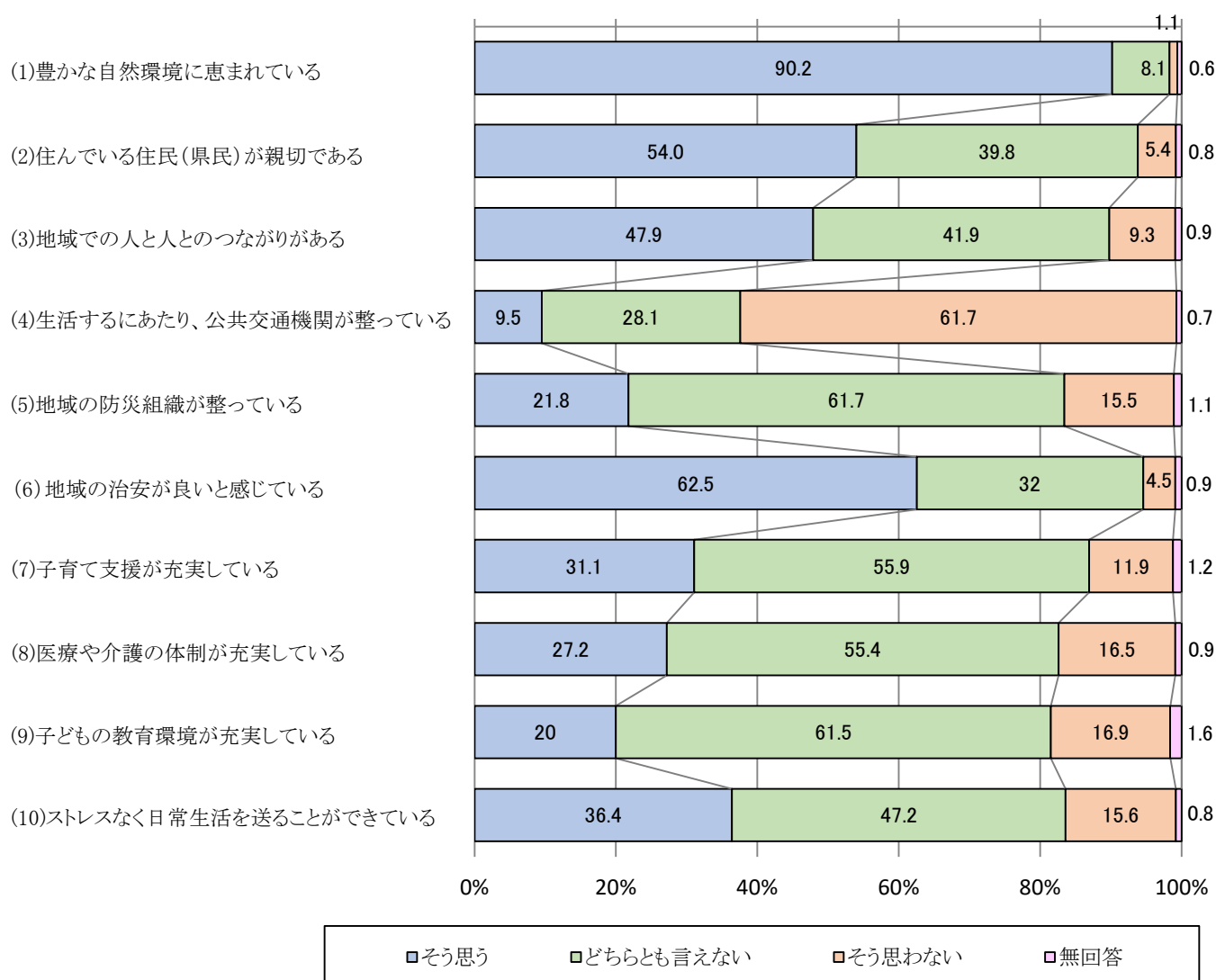
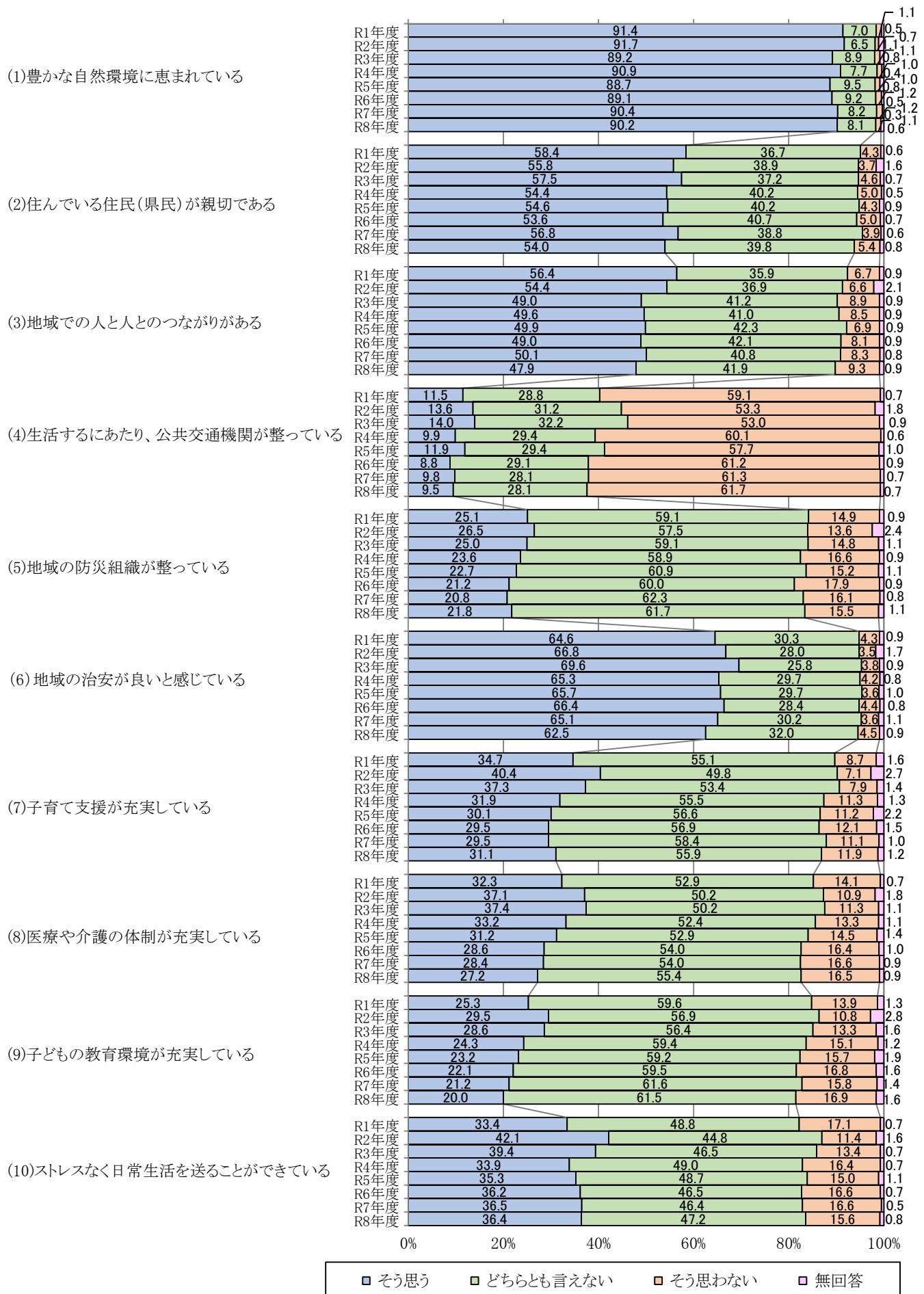


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか。

～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が27.5%と最も割合が高く、8点が18.9%、7点が19.3%、6点が11.6%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は88.6%となっている。

性・年代別でみると、幸福度5点以上は男性の50歳代、女性の30歳～40歳代、60歳代で高くなっており、特に女性の30歳代は他の年代と比べ高くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか（年次比較）

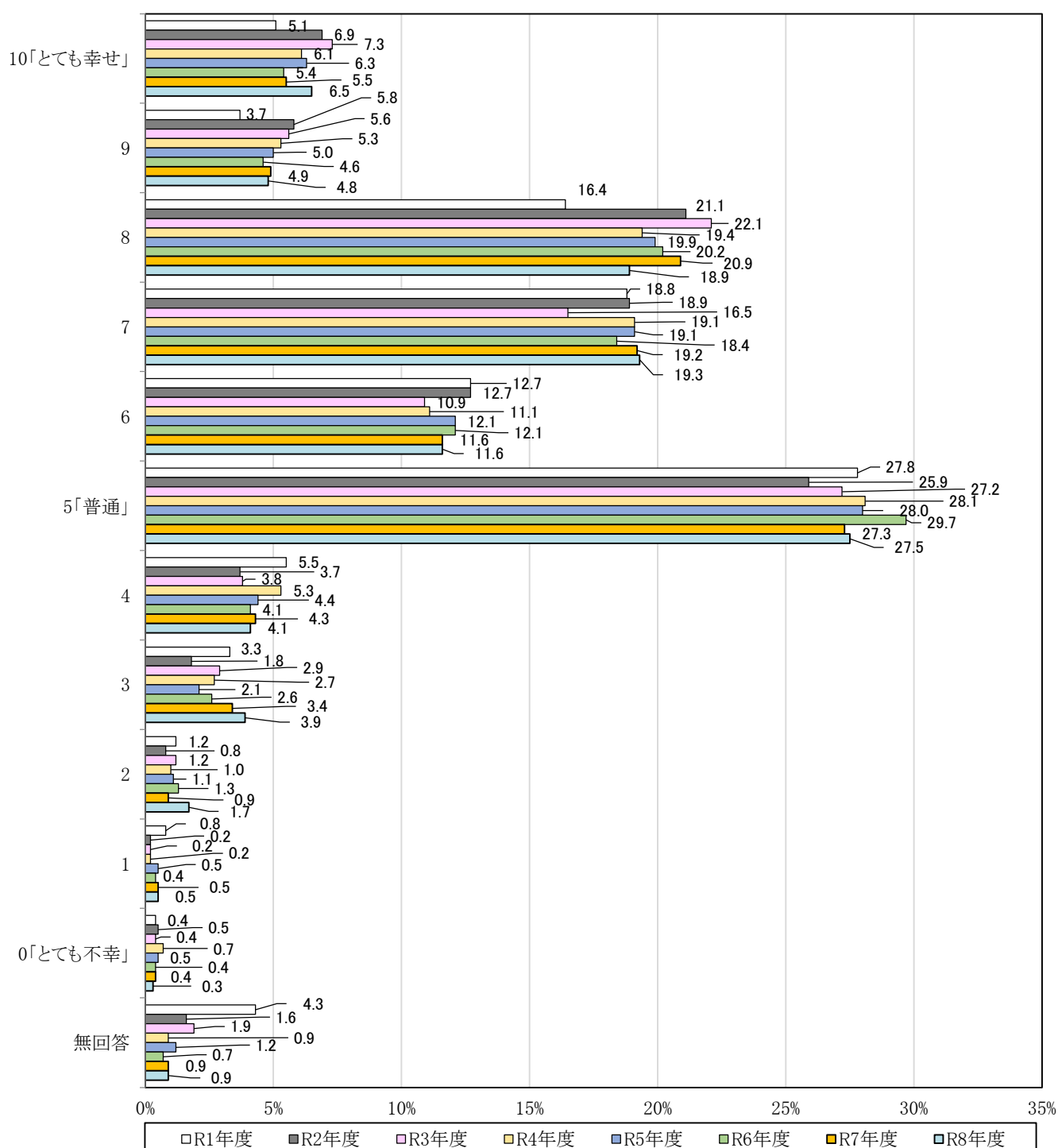
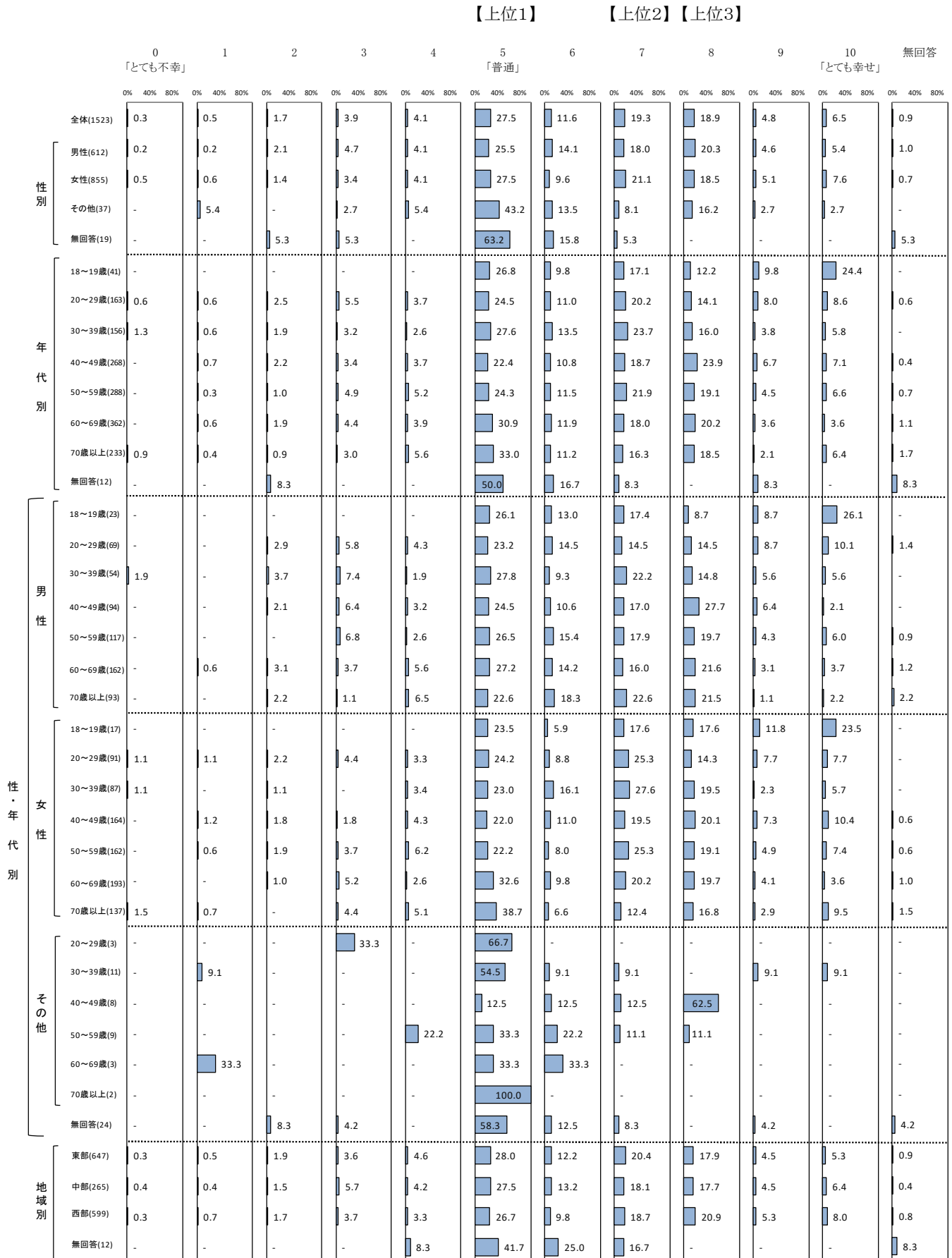


図 10 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「家計の状況」「自身の健康の状況」「家族関係」「精神的なゆとり」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「家計の状況」が 71.2%と最も割合が高く、次いで「自身の健康の状況」が 68.4%、「家族関係」が 59.2%、「精神的なゆとり」が 54.4%となっている。

令和元年度-8年度を比較してみると、上位3項目は常に「家計の状況」、「自身の健康の状況」、「家族関係」となっている。

年代別でみると、「家計の状況」は 30～60 歳代、「自身の健康の状況」「自然環境(住みやすさ)」は 60 歳代以上、「家族関係」は 40 歳代、「精神的なゆとり」は 30 歳代、「自由な時間(充実した余暇)」「趣味などのいきがい」「仕事(学校)の充実度」は 20～30 歳代が高くなっている。

性・年代別でみると、「家計の状況」は女性の 30～50 歳代、「自身の健康の状況」は女性の 40 歳代、60 歳代以上、「自由な時間(充実した余暇)」、「趣味などのいきがい」は男性の 20～30 歳代で高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視することは（年次比較）

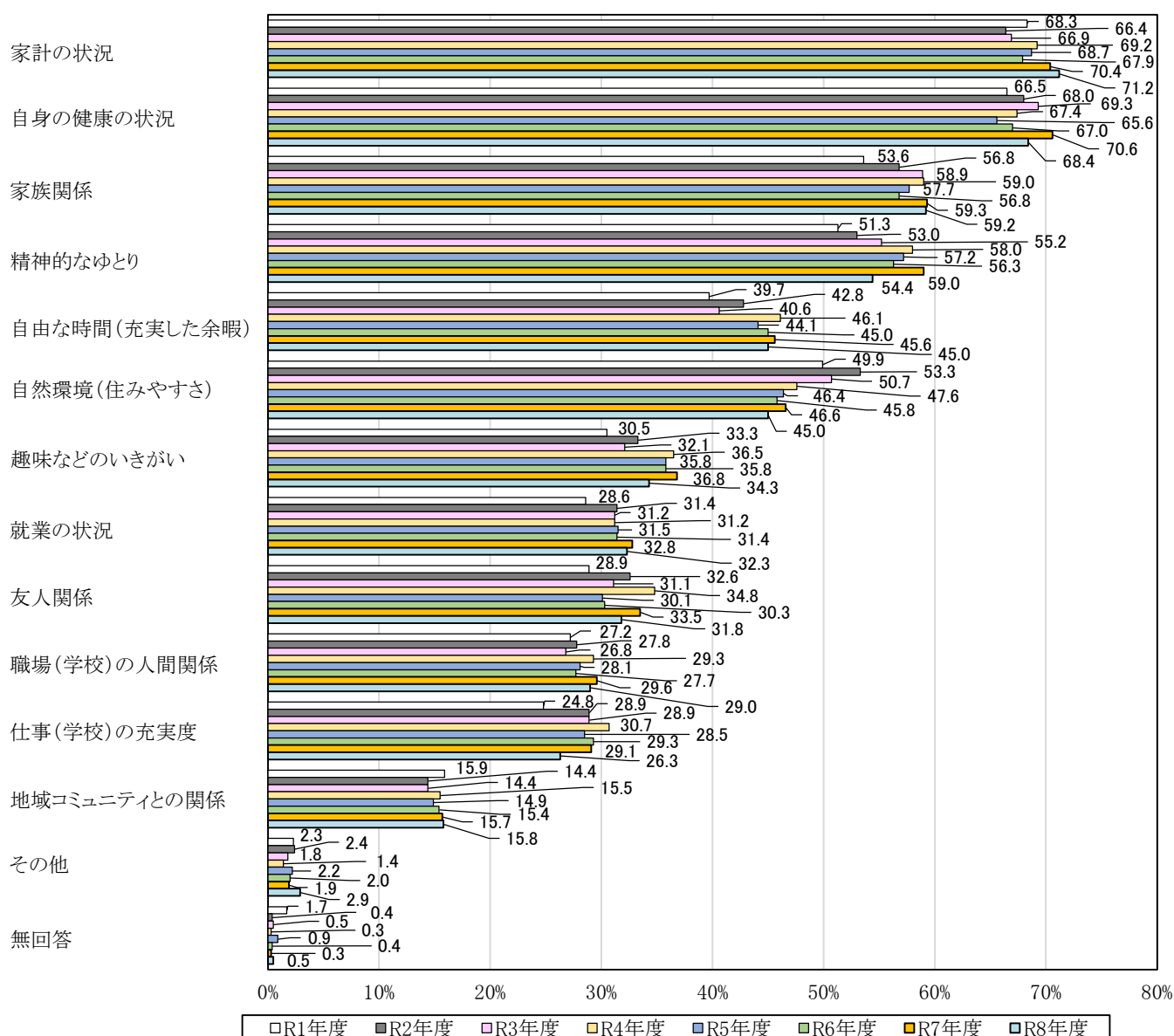
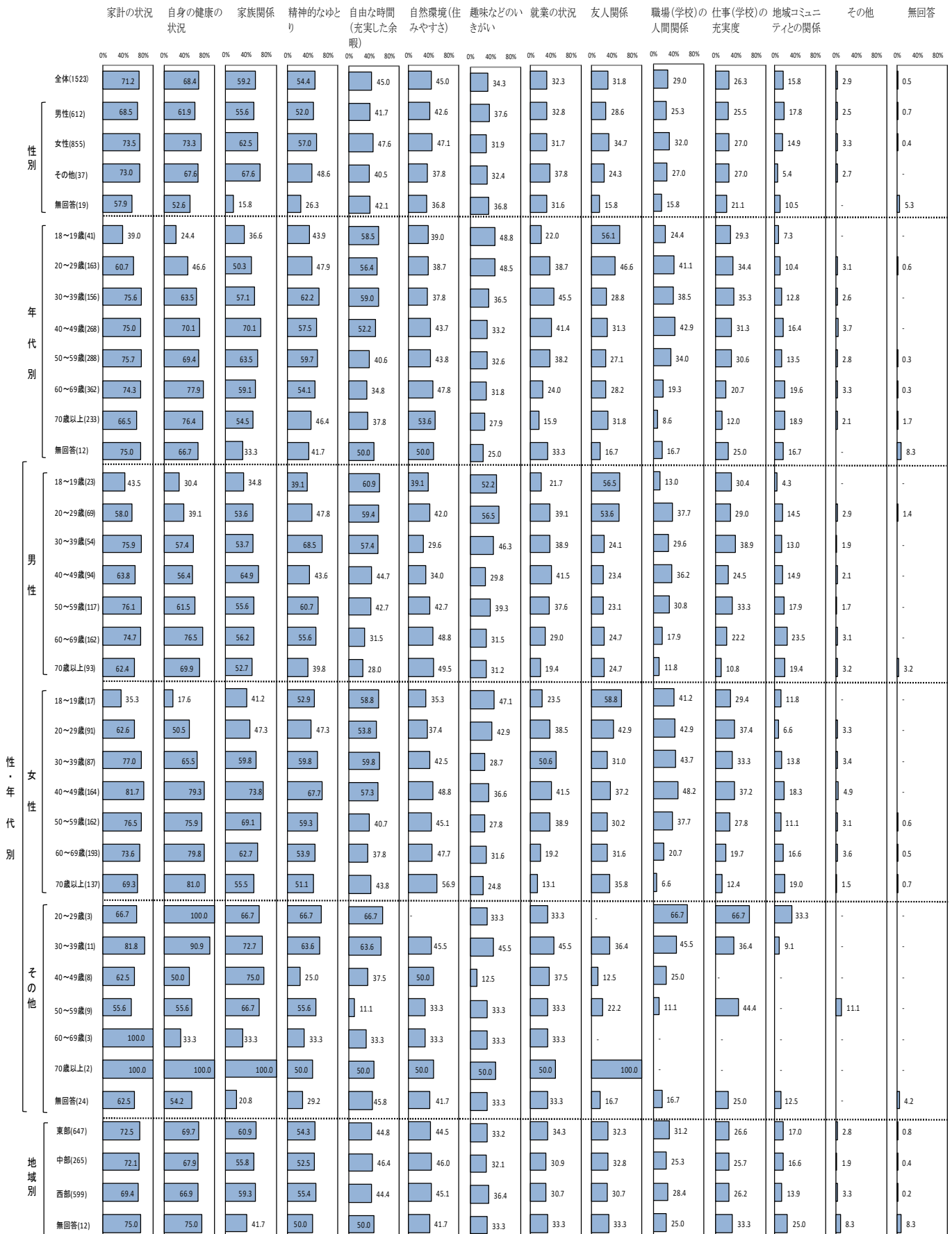


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】



Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」の満足度が高い～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が 37.4%と最も割合が高く、次いで「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が 29.7%、「文化・アートのまちづくりの取組」が 27.1%と続いている。

令和6年度-8年度を比較してみると、前年度と比べ満足度は「スポーツ活動の振興や交流を拡げる取組」「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が 1 ポイント程度増加、「外国人観光客や国際交流を拡大する取組」「地球規模での環境課題への対応」が横ばいとなっている。

一方、不満(不満・やや不満の計)については、「文化・アートのまちづくりの取組」が前回調査で 4.6 ポイント減少したものの、そこから 2.1 ポイント増加している。

図13 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度 (n=1,523)

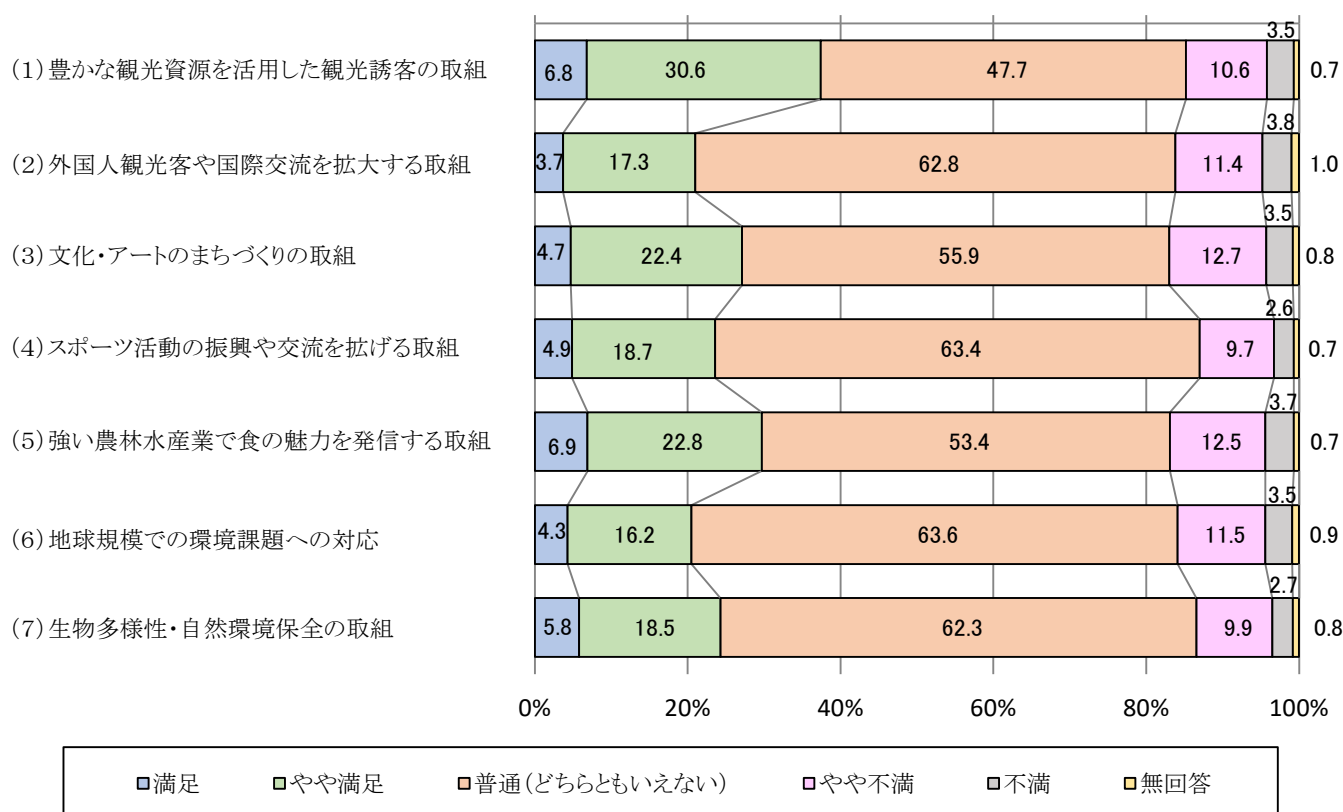
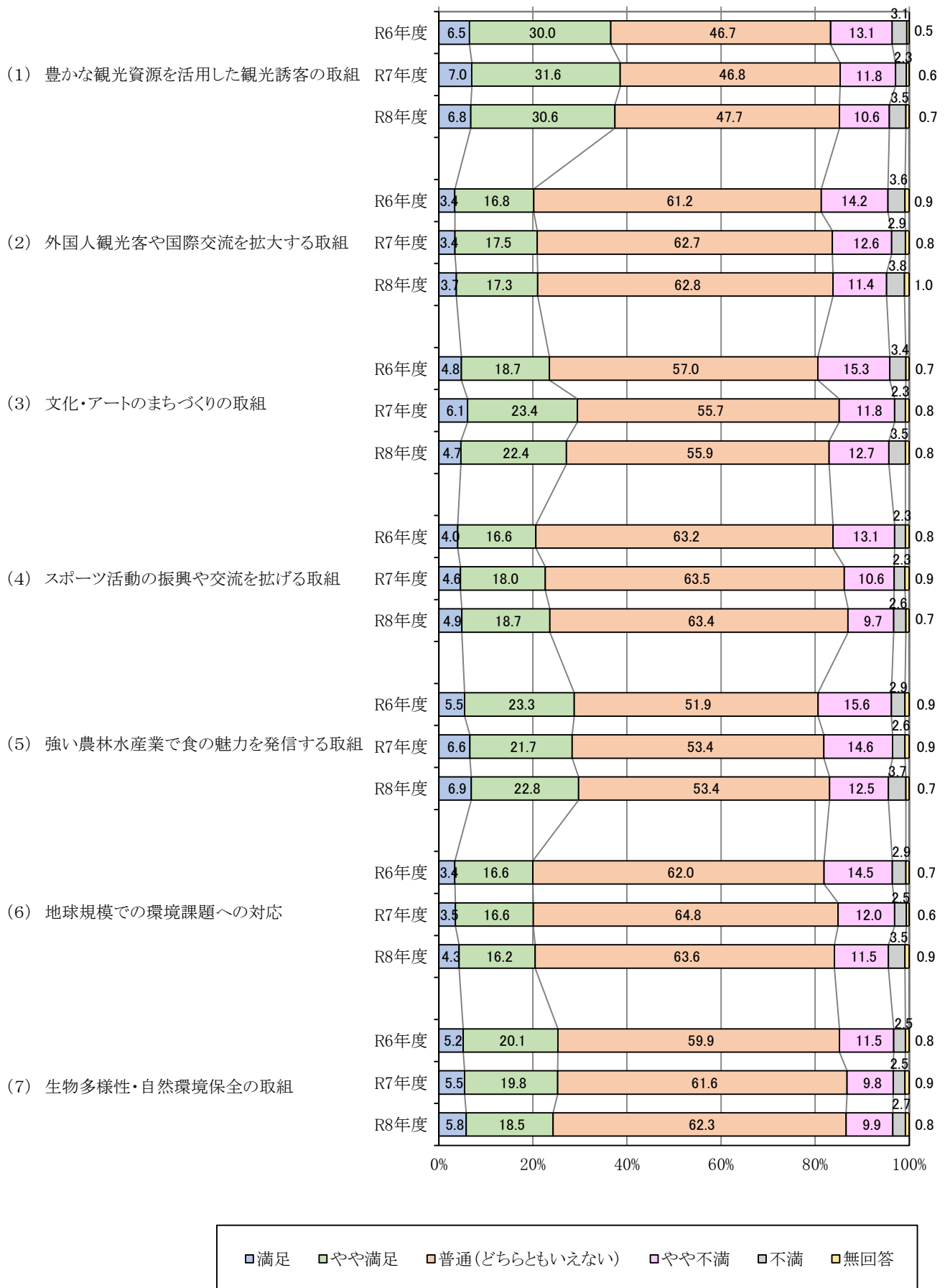


図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

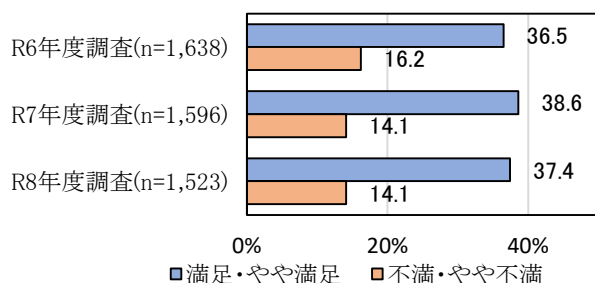
(5) 強い農林水産業で食の魅力を発信する取組	【+1.4】
(4) スポーツ活動の振興や交流を拡げる取組	【+1.0】
(6) 地球規模での環境課題への対応	【+0.4】
(1) 外国人観光客や国際交流を拡大する取組	【+0.1】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

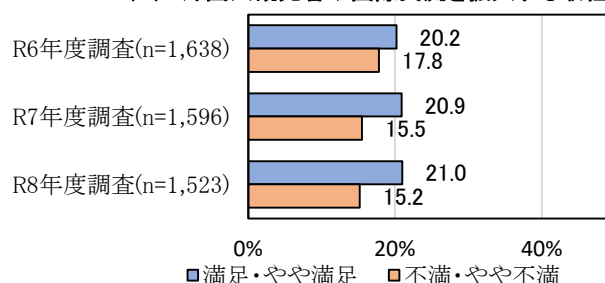
(3) 文化・アートのもちづくりの取組	【+2.1】
(6) 地球規模での環境課題への対応	【+0.5】
(7) 生物多様性・自然環境保全の取組	【+0.3】

●満足度・不満足度の比較

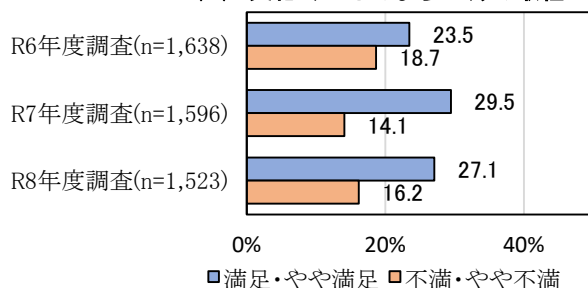
(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



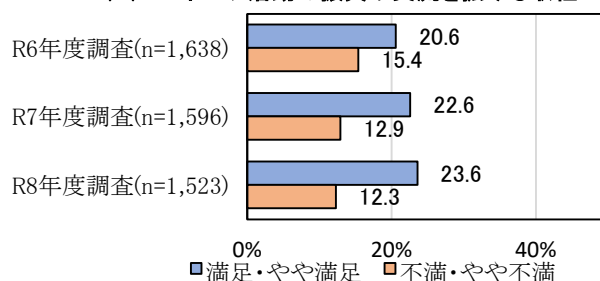
(2) 外国人観光客や国際交流を拡大する取組



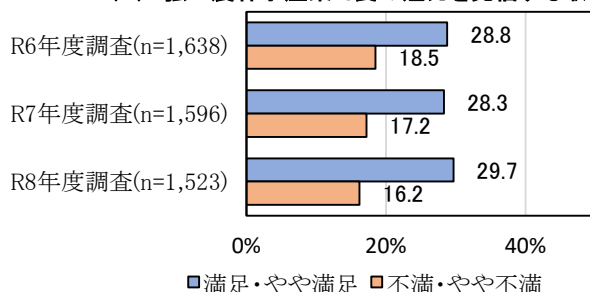
(3) 文化・アートのもちづくりの取組



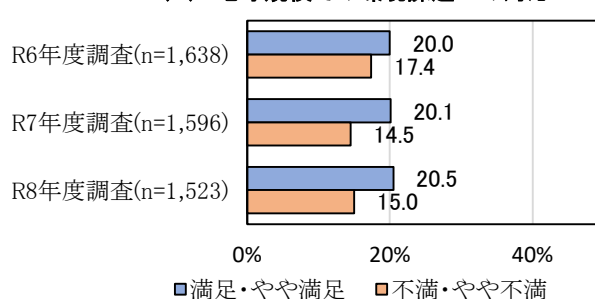
(4) スポーツ活動の振興や交流を拡げる取組



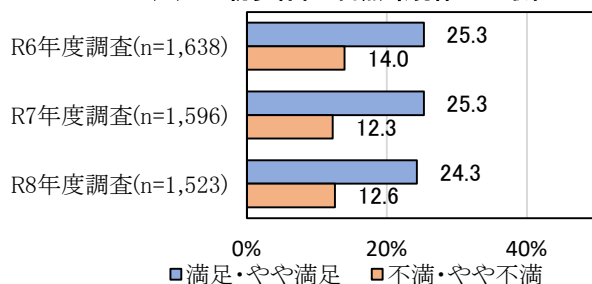
(5) 強い農林水産業で食の魅力を発信する取組



(6) 地球規模での環境課題への対応



(7) 生物多様性・自然環境保全の取組



問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が63.8%と最も高く、次いで「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」が61.7%、「地球規模での環境課題への対応」が41.6%と続いている。

令和6年度-8年度を比較してみると、前年度と比べ「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「外国人観光客や国際交流を拡大する取組」「文化・アートのまちづくりの取組」が1.5ポイント程度増加している。

年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は20～40歳代で高く、「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」は30歳代以上で高く、「地球規模での環境課題への対応」は60歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は男性の20～40歳代、女性の20歳代、「強い農林水産業で食の魅力を発信する取組」は男性の30～50歳代、女性の60歳代以上、「地球規模での環境課題への対応」は女性の60歳代以上で高くなっている。

図15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」項目のうち今後優先すべき(重要度の高い)項目 (年次比較)

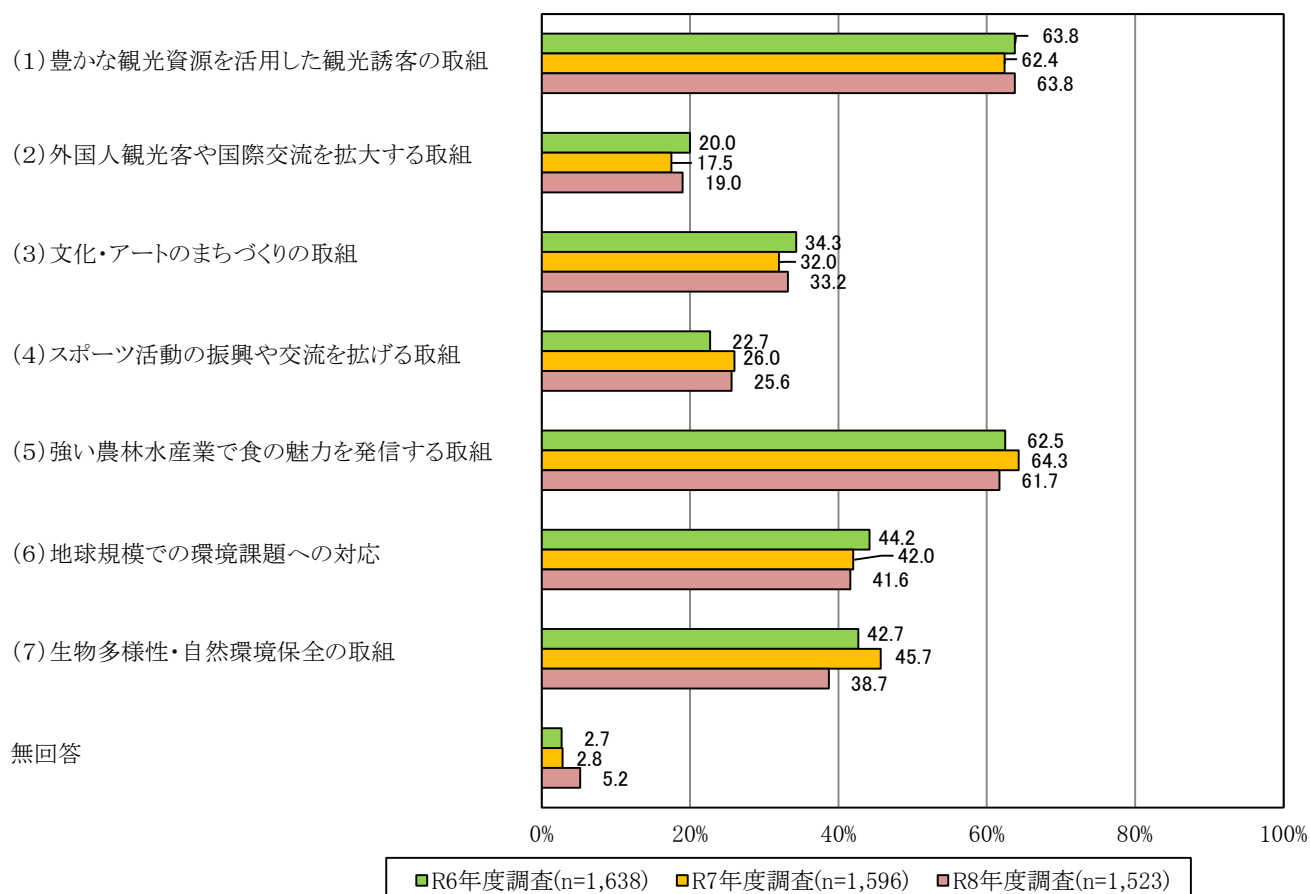
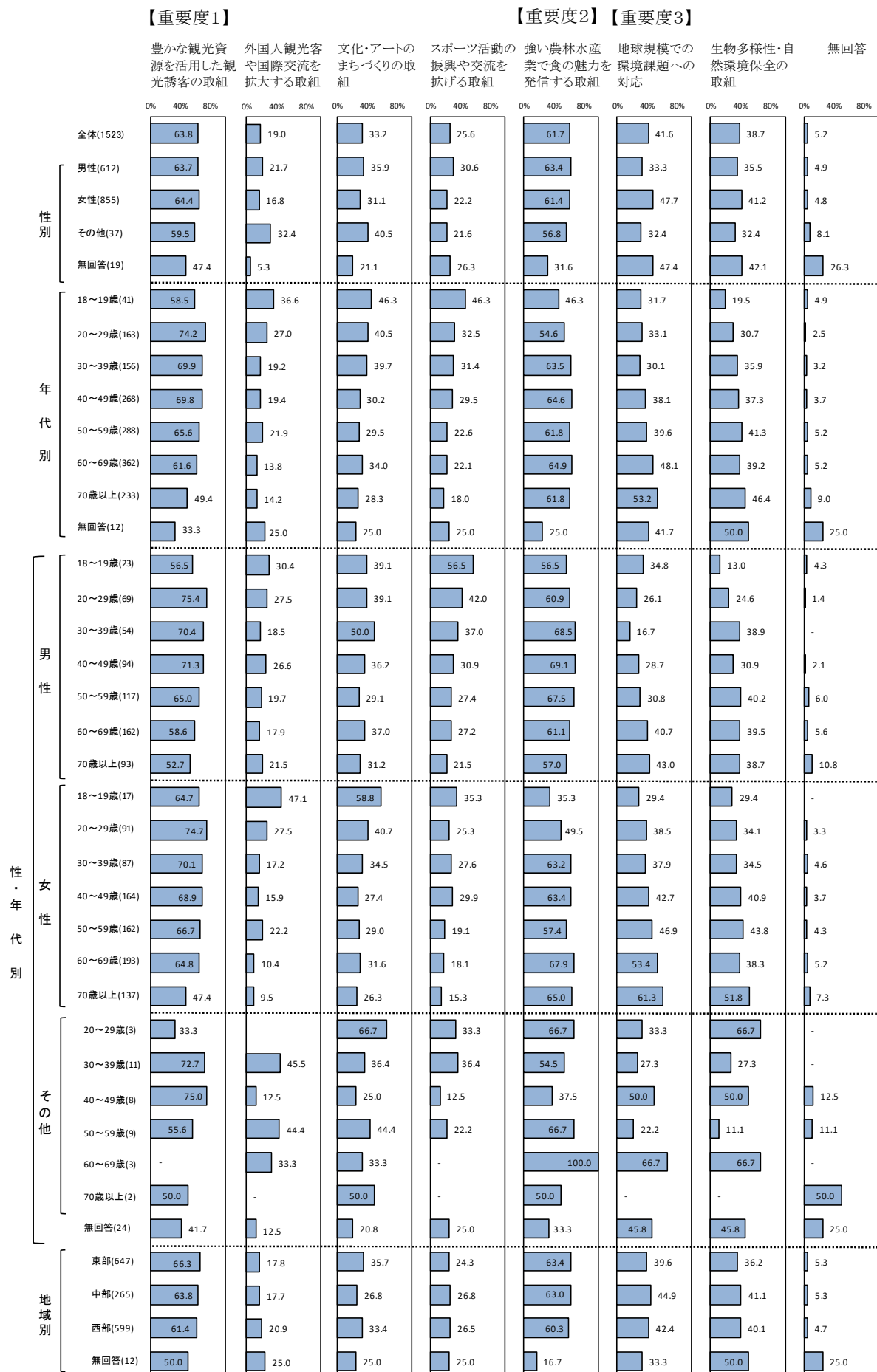


図 16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」が 26.1%と最も高く、次いで「地域の健康と安心を守る取組」が 21.4%、「智をひらく豊かな学びの取組」が 18.2%となっている。

一方、不満(不満・やや不満の合計)については、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」が 39.7%と最も高く、約4割が不満を感じており、「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」「危機を乗り越え、地域を元気にする取組」については約3割が不満を感じている。

前回調査と比較してみると、「危機を乗り越え、地域を元気にする取組」の満足度が 2.7 ポイント増加している。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度 (n=1,523)

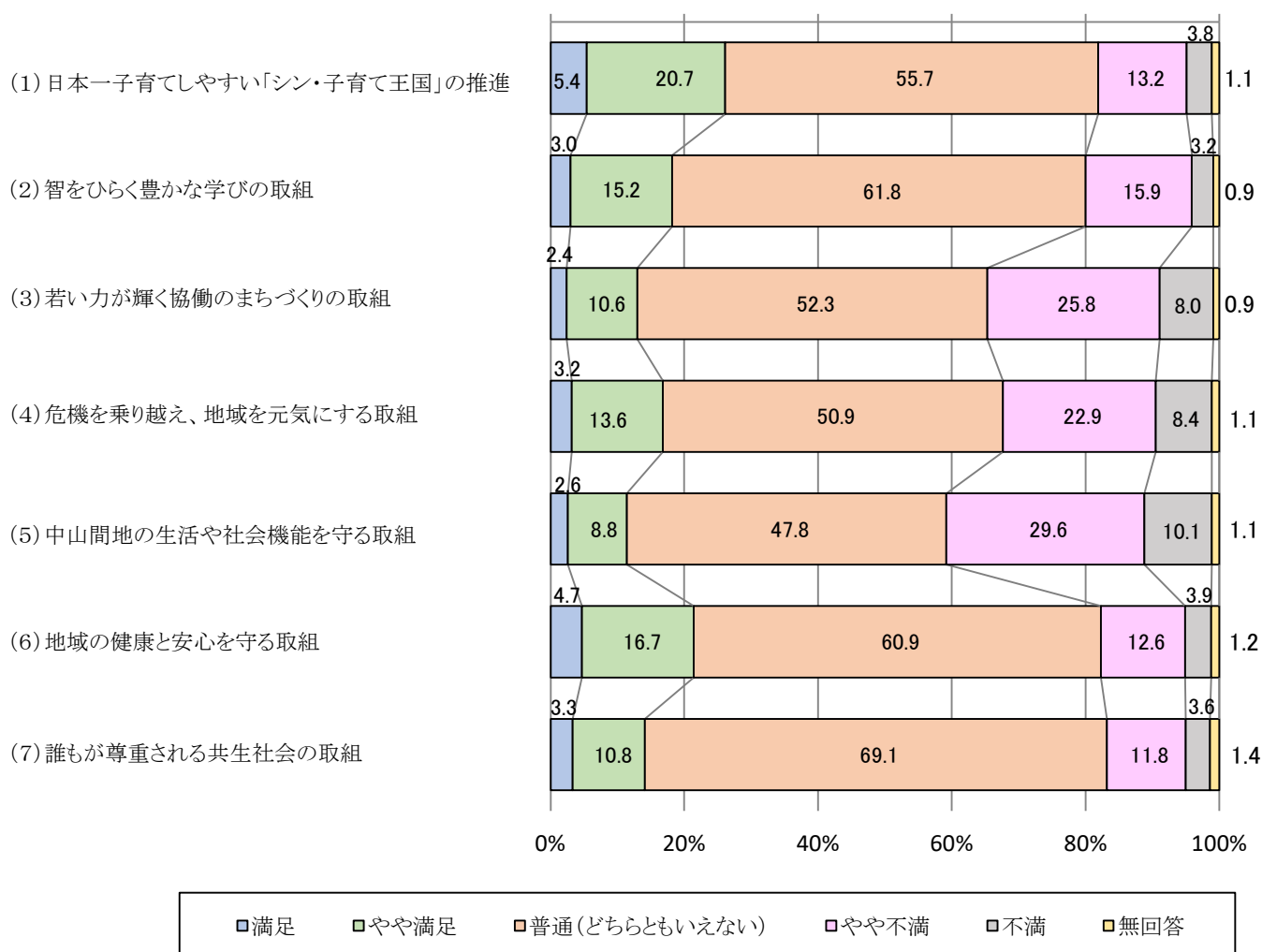
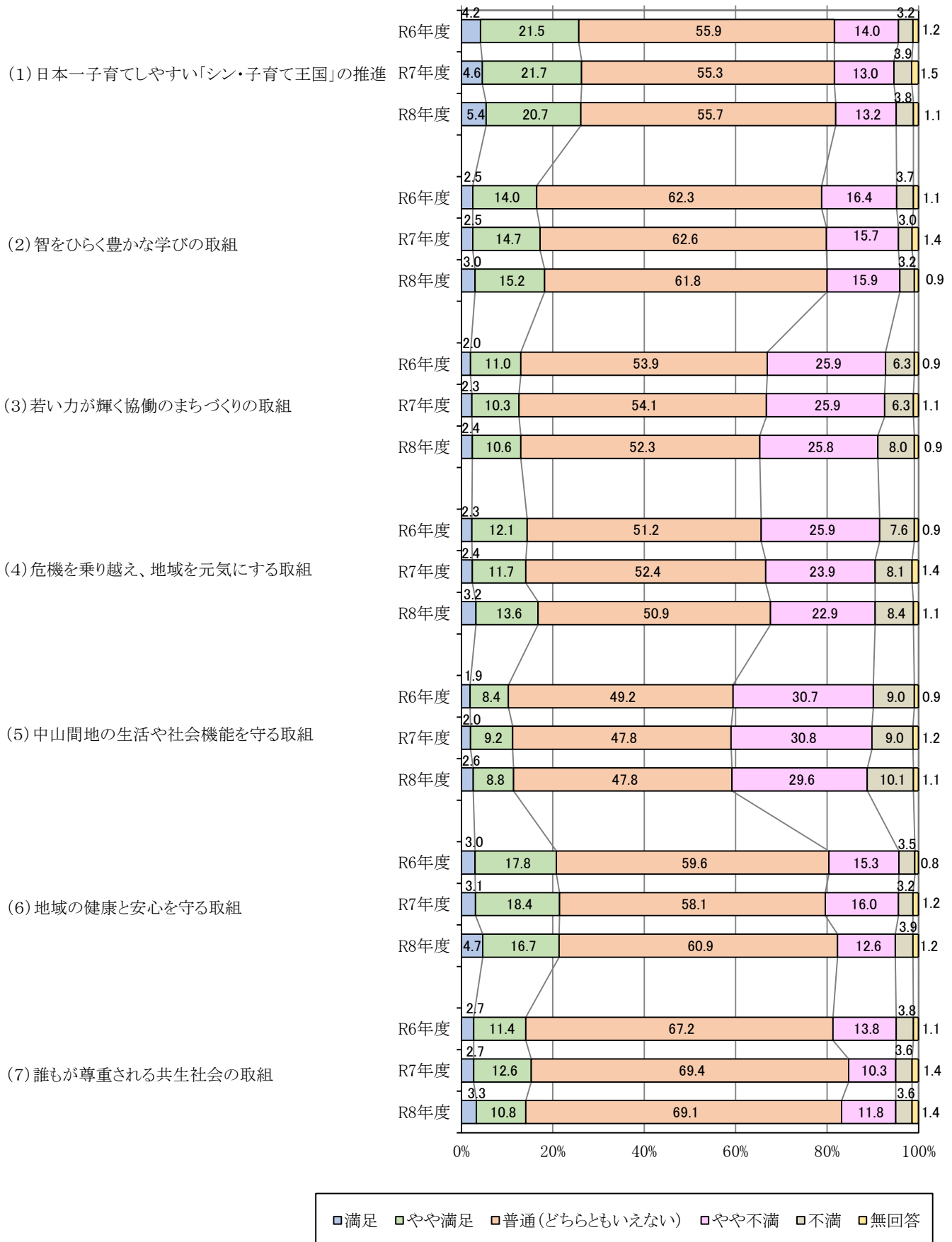


図 18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

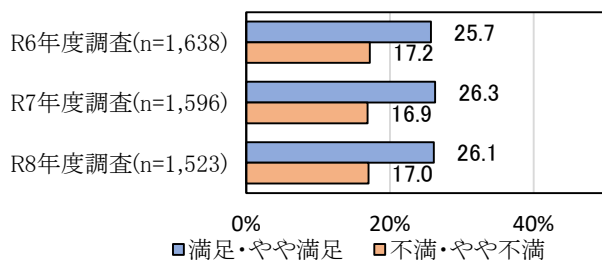
(4) 危機を乗り越え、地域を元気にする取組	【+2.7】
(2) 智をひらく豊かな学びの取組	【+1.0】
(3) 若い力が輝く協働のまちづくりの取組	【+0.4】
(5) 中山間地の生活や社会機能を守る取組	【+0.2】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

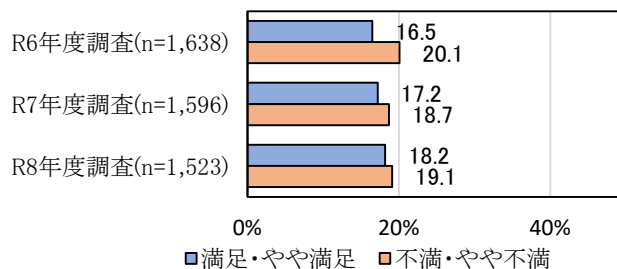
(3) 若い力が輝く協働のまちづくりの取組	【+1.6】
(7) 誰もが尊重される共生社会の取組	【+1.5】
(2) 智をひらく豊かな学びの取組	【+0.4】
(1) 日本一子育てしやすい「シン・子育て王国」の推進	【+0.1】

●満足度・不満足度の比較

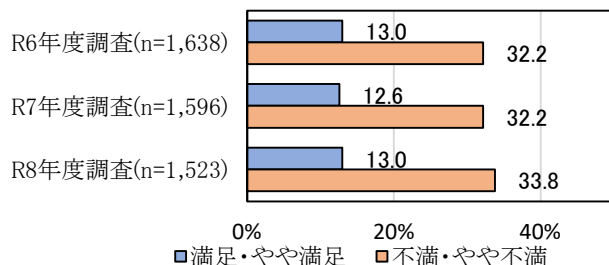
(1) 日本一子育てしやすい「シン・子育て王国」の推進



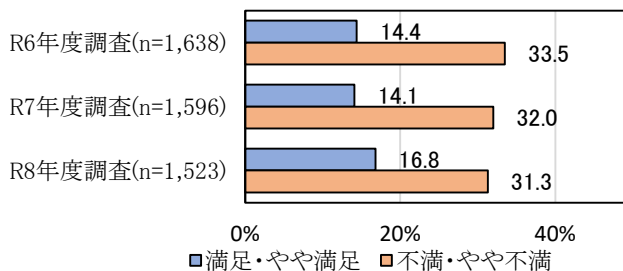
(2) 智をひらく豊かな学びの取組



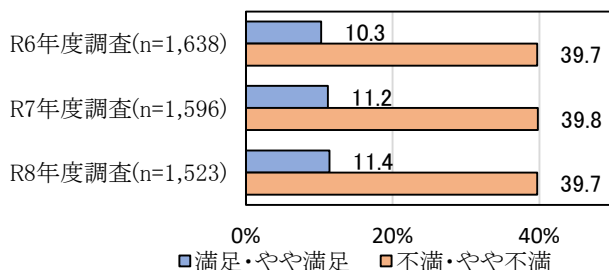
(3) 若い力が輝く協働のまちづくりの取組



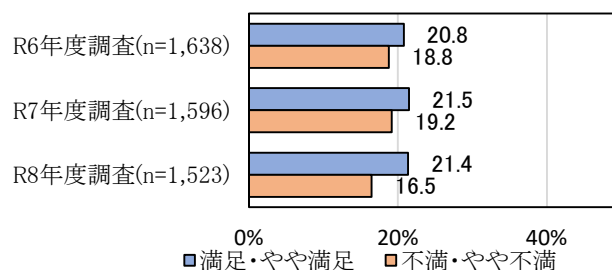
(4) 危機を乗り越え、地域を元気にする取組



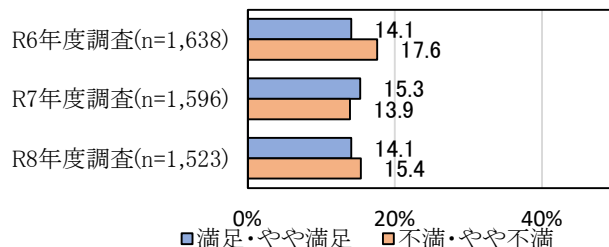
(5) 中山間地の生活や社会機能を守る取組



(6) 地域の健康と安心を守る取組



(7) 誰もが尊重される共生社会の取組



問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「若い力が輝く協働のまちづくり」「『シン・子育て王国』の推進」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」が62.6%と最も高く、次いで「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」が53.8%、「地域の健康と安心を守る取組」が45.8%となっている。

令和6年度-8年度比較してみると、前年度と比べて「中山間地の生活や社会機能を守る取組」が2ポイント増加している。

年代別でみると、「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」は20歳代、「日本一子育てしやすい『シン・子育て王国』の推進」は20～30歳代、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」は60歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「若い力が輝く協働のまちづくりの取組」は男性の20～40歳代、女性の20歳代で高く、「中山間地の生活や社会機能を守る取組」は女性の50歳代以上で高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」項目のうち今後優先すべき(重要度の高い)項目 (年次比較)

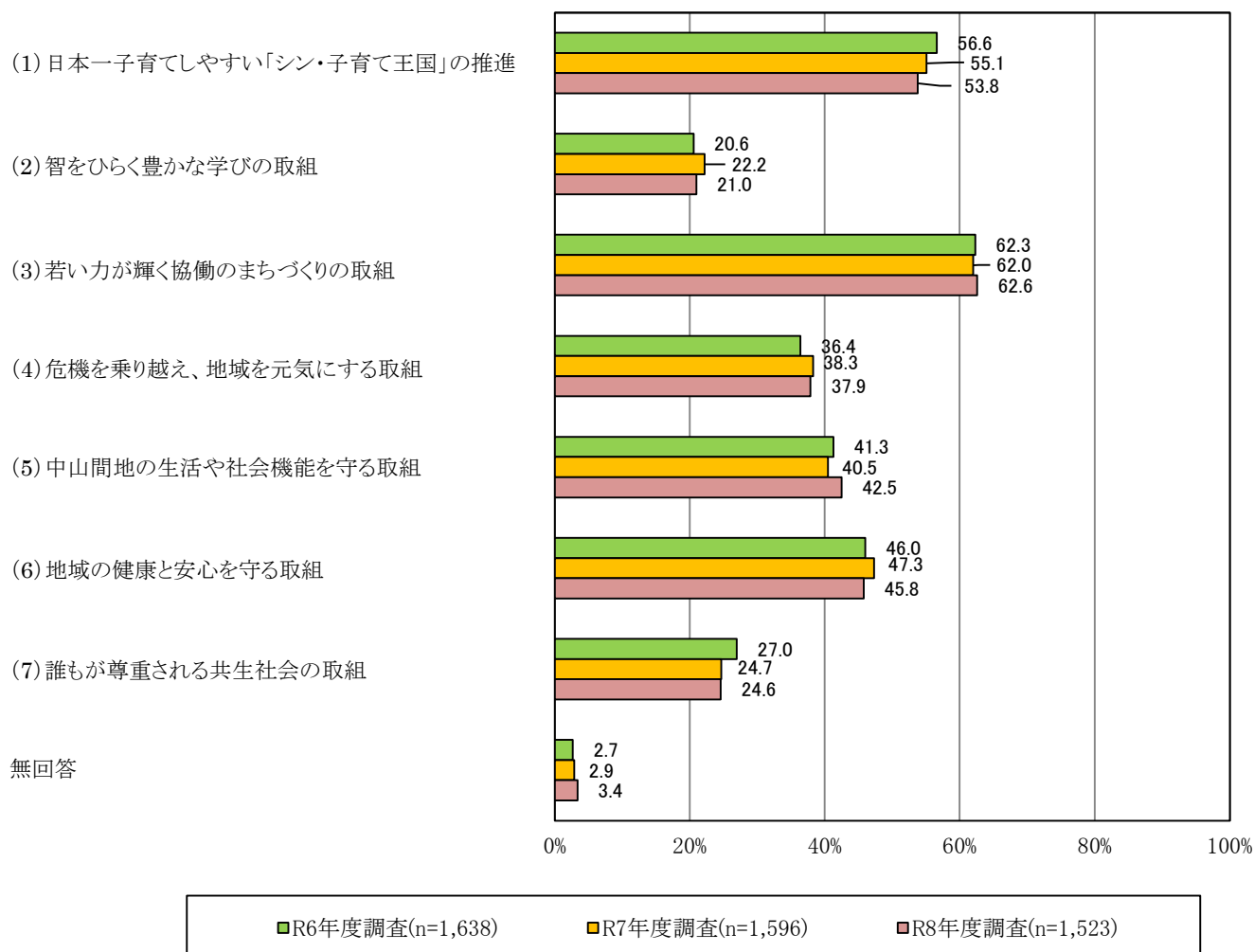
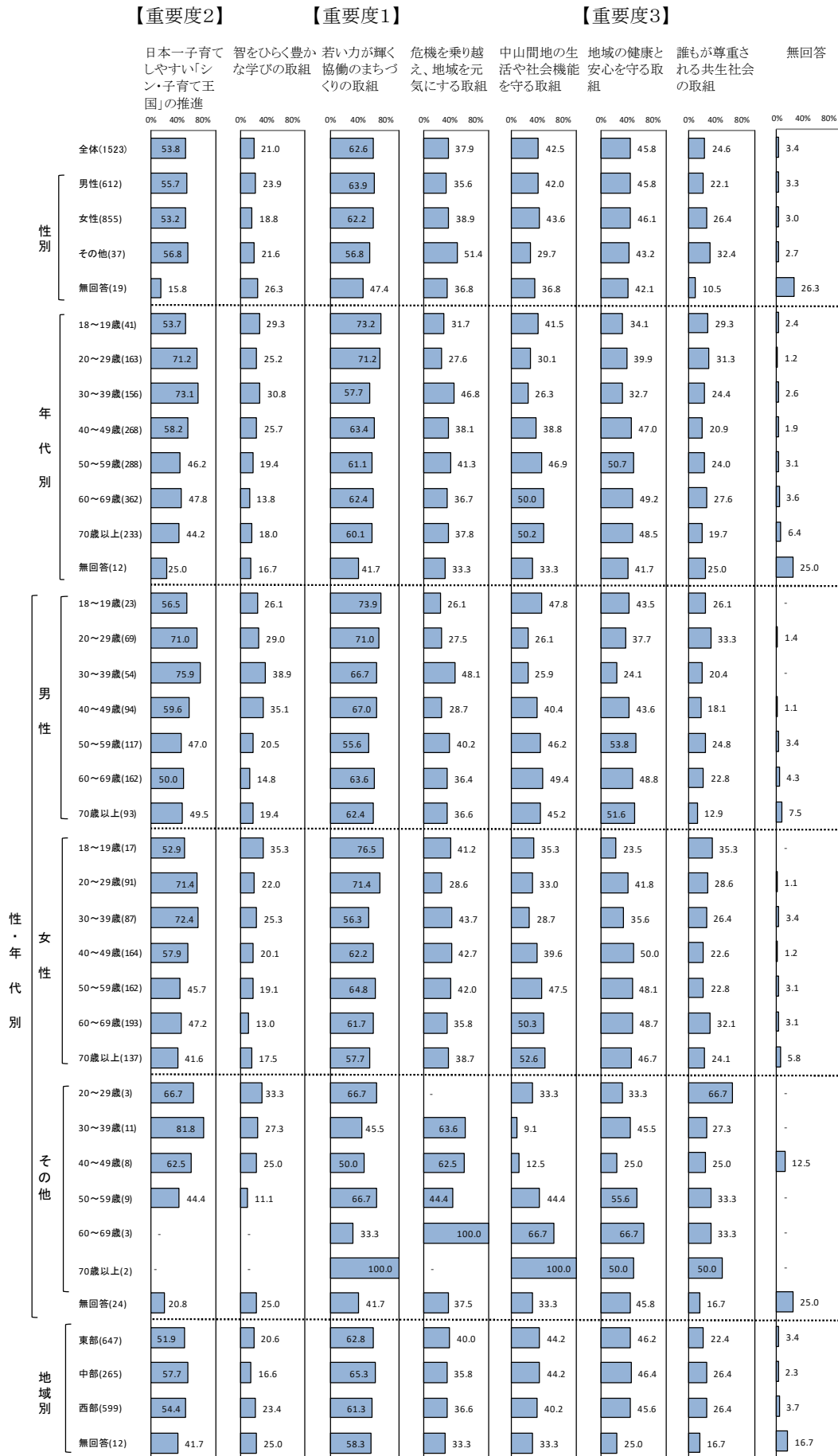


図 20 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～「防災・減災対策の強化」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」の満足度が高い～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「防災・減災対策の強化」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が 18.8%と最も高く、次いで「移住定住の促進」が 13.6%となっている。

令和6年度-8年度を比較してみると、前年度と比べて満足度は「県内産業の持続的発展をめざす取組」が 1.5 ポイント増加しており、その他の項目では横ばいとなっている。

一方、不満(不満・やや不満の計)については、「関係人口の創出を進める取組」が 1.6 ポイント増加している。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度 (n=1,523)

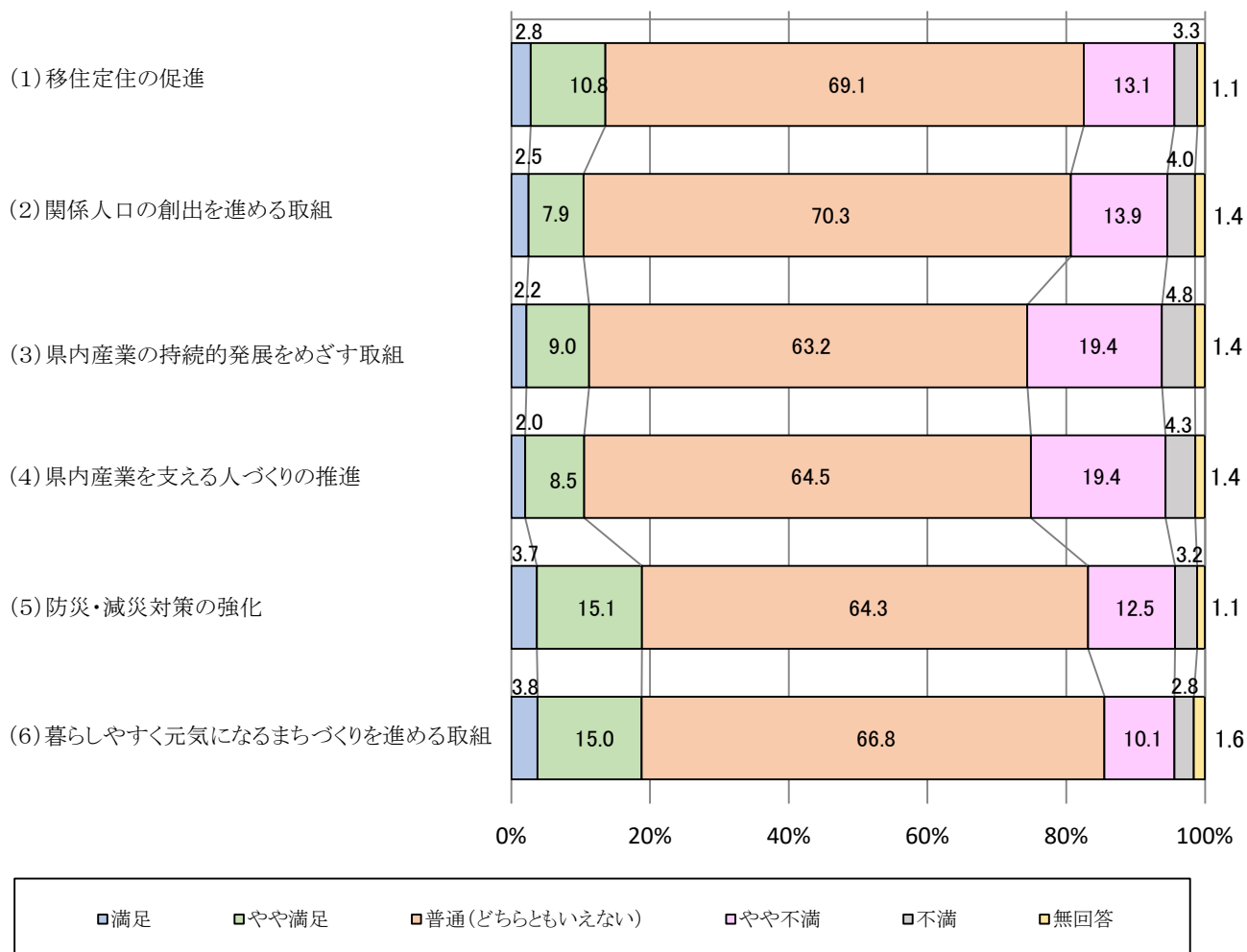
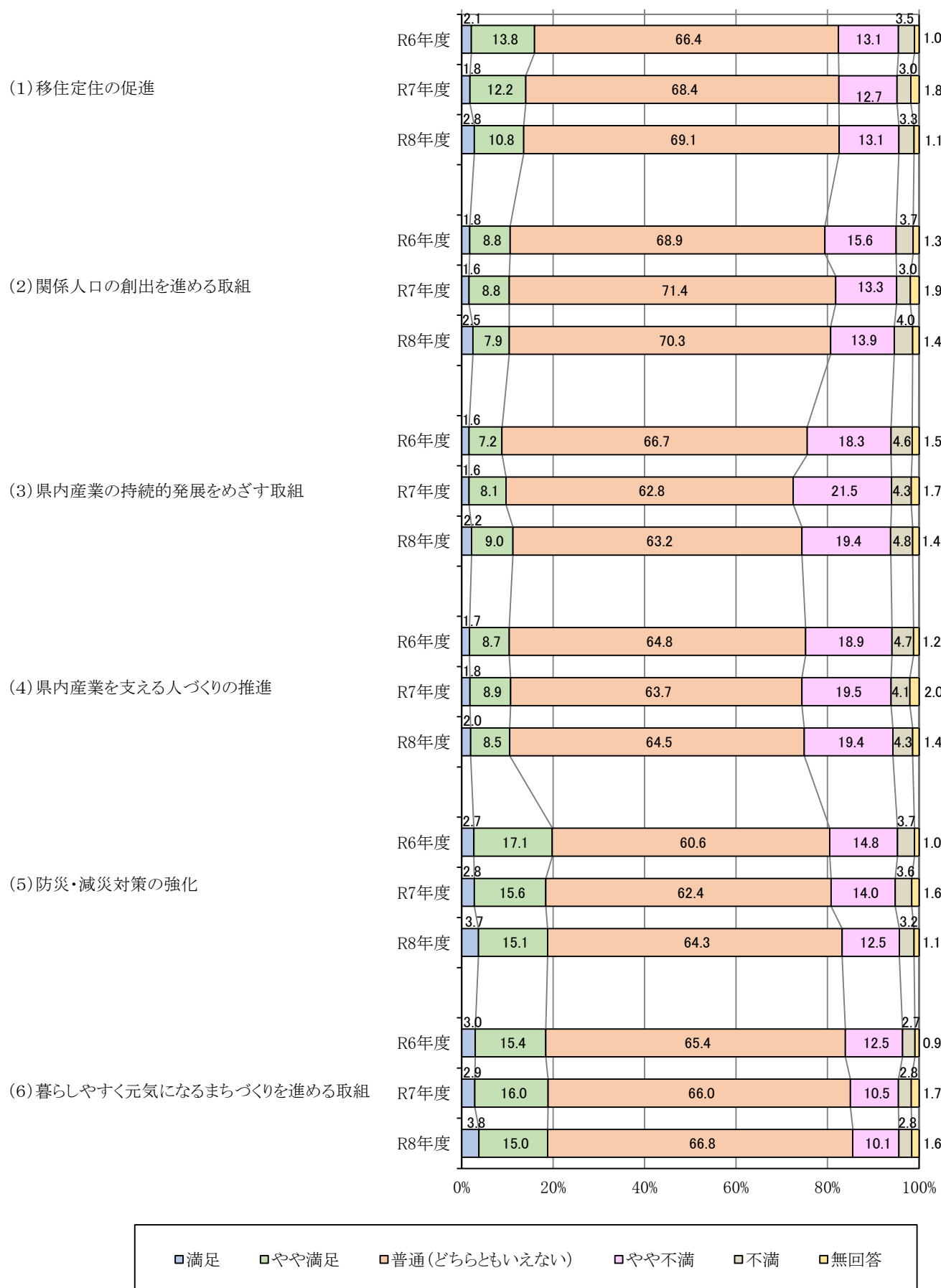


図 22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(年次比較)



●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

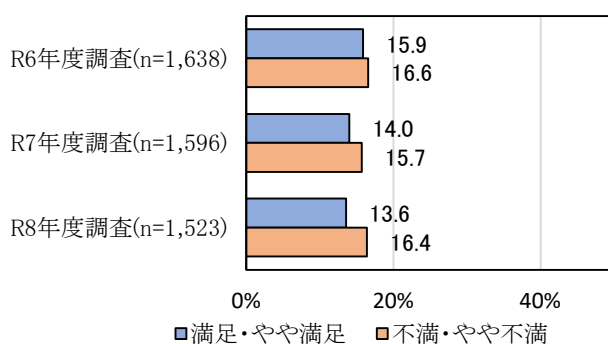
- (3) 県内産業の持続的発展をめざす取組 【+1.5】
- (5) 防災・減災対策の強化 【+0.4】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

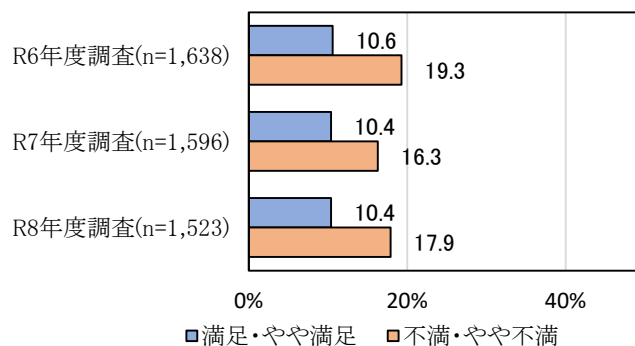
- (2) 関係人口の創出を進める取組 【+1.6】
- (1) 移住定住の促進 【+0.7】
- (4) 県内産業を支える人づくりの推進 【+0.1】

●満足度・不満足度の比較

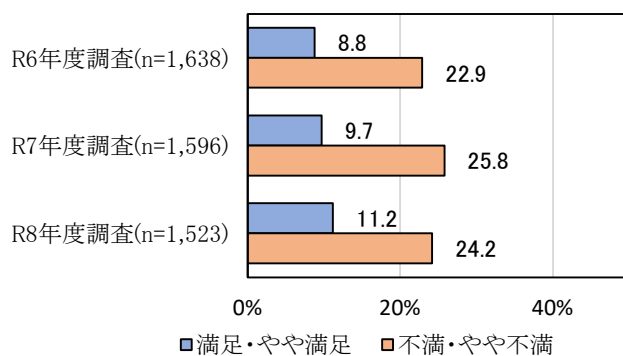
(1) 移住定住の促進



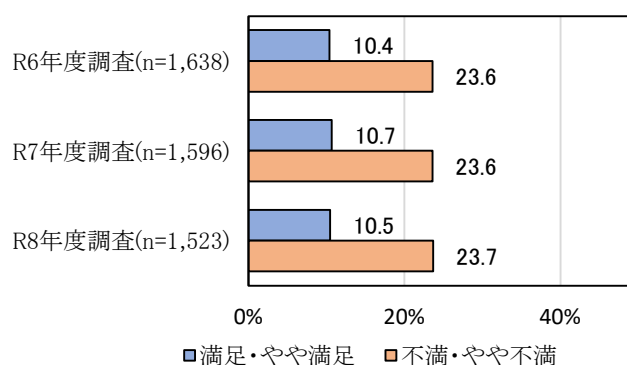
(2) 関係人口の創出を進める取組



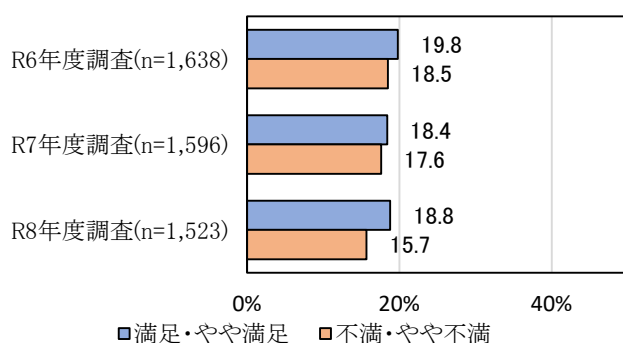
(3) 県内産業の持続的発展をめざす取組



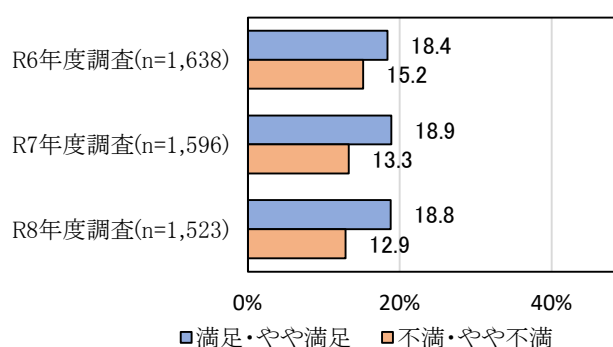
(4) 県内産業を支える人づくりの推進



(5) 防災・減災対策の強化



(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「県内産業の持続的発展をめざす取組」、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」、「県内産業を支える人づくりの推進」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「県内産業の持続的発展をめざす取組」が56.5%と最も高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が55.5%、「県内産業を支える人づくりの推進」が55.0%となっている。

令和6年度-8年度を比較してみると、前年度と比べて「移住定住の促進」は3.8ポイント増加している。

年代別でみると、「県内産業の持続的発展をめざす取組」は 40～50 歳代、「県内産業を支える人づくりの推進」は 50 歳代、70 歳以上、「移住定住の促進」は 20～30 歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「県内産業の持続的発展をめざす取組」は男性の 30～50 歳代、「県内産業を支える人づくりの推進」は男性の 30 歳代、70 歳以上、「移住定住の促進」は男性の 20～40 歳代、女性の 20 歳代、「防災・減災対策の強化」は女性の 30 歳代、60 歳以上で高くなっている。

図23 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」項目のうち今後優先すべき(重要度の高い)項目 (年次比較)

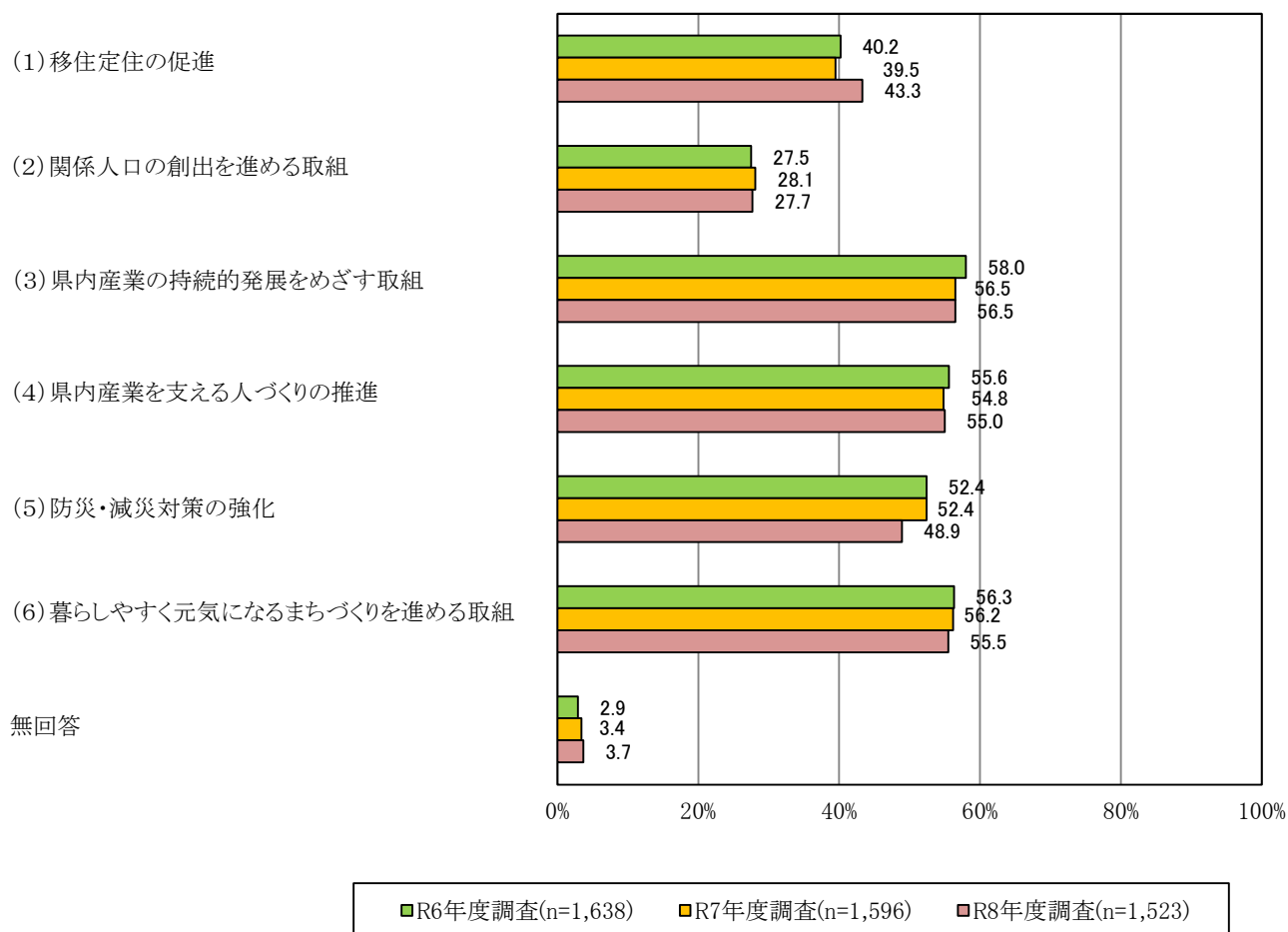
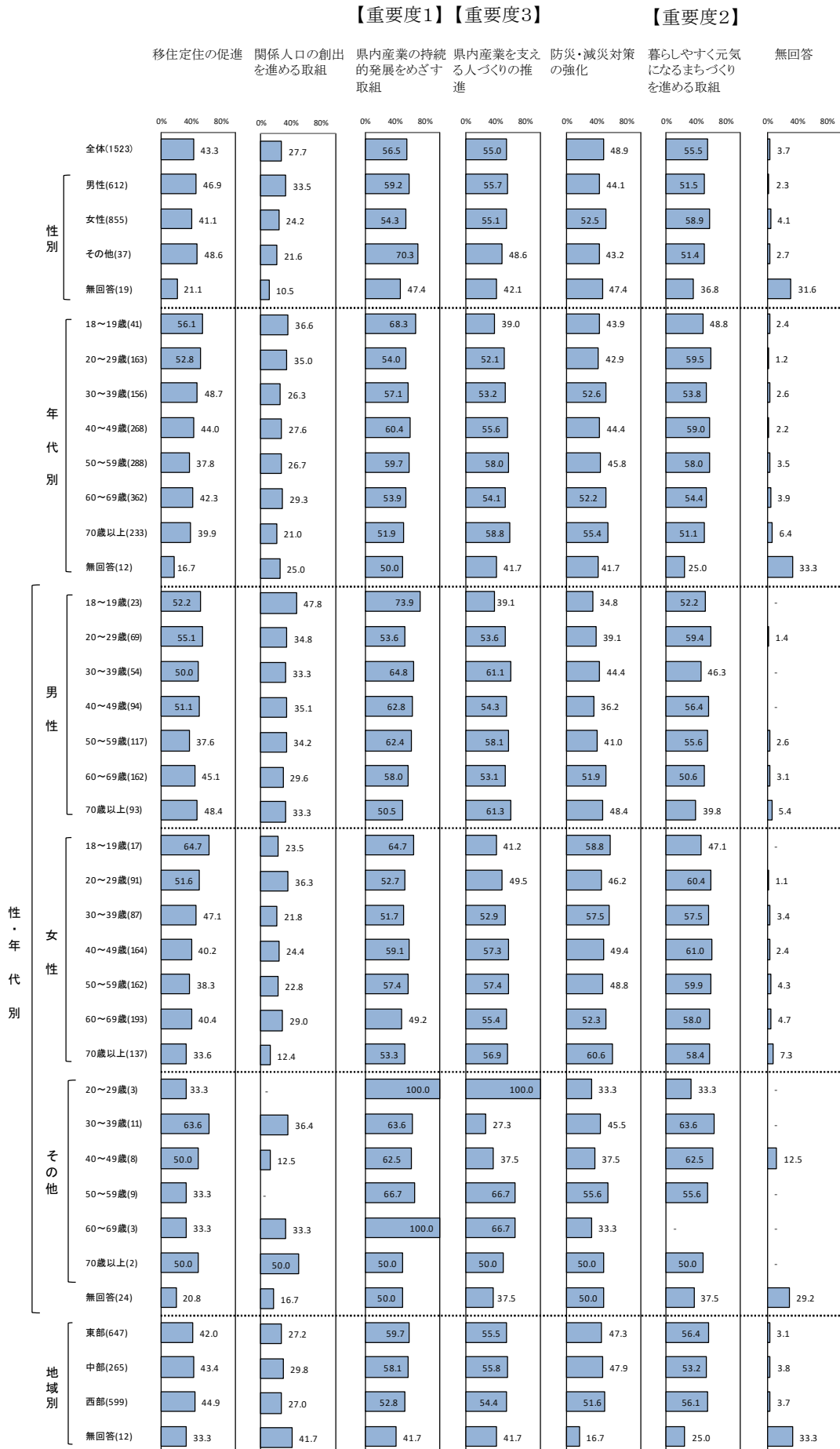


図 24「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



4 男女共同参画社会づくり

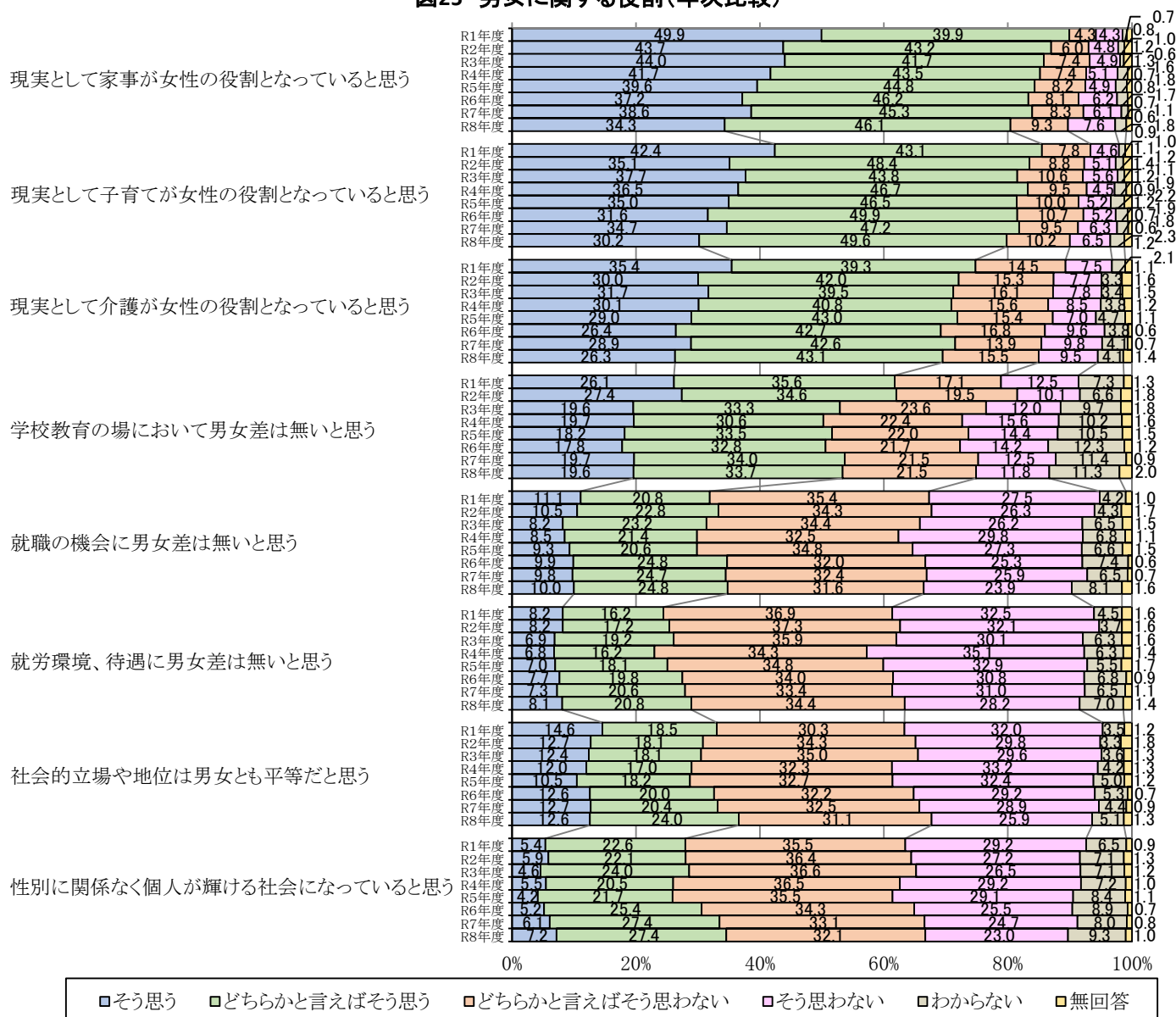
問7 男女に関する役割などについてお聞きます。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割となっている」と思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が80.4%と最も高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が79.8%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が69.4%となっている。

令和元年度-8年度と比較してみると、前年度と比べて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計は「社会的立場や地位は男女とも平等だと思う」が3.5ポイント増加しており、3ヶ年連続で増加傾向となっている。

図25 男女に関する役割(年次比較)



問8 男性の家事・育児・介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思われますか。(〇は3つまで)

～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が上位～

男性の家事・育児・介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が 58.6%と最も高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が 51.9%、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が 40.9%となっている。

令和元年度-8年度を比較してみると、上位3項は常に上位を占めており、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は前年度より 1.5 ポイント増加している。

性・年代別でみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は全ての年代で女性が男性より割合が高くなっている。「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は男性、女性ともに 20～30 歳代で高く、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」は女性の 50 歳代以上で高くなっている。

図26 男性の家事・育児・介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思われますか(年次比較)

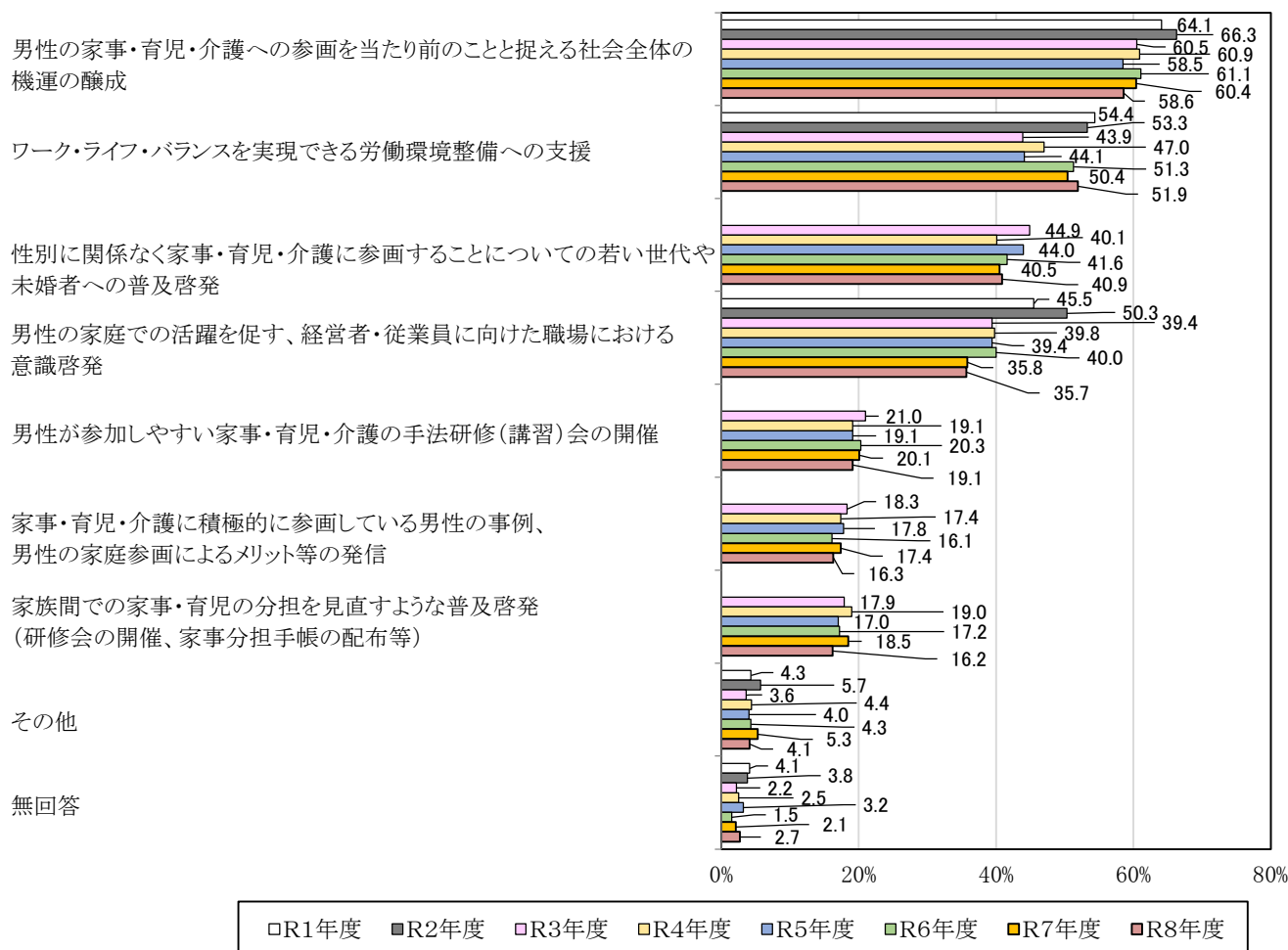
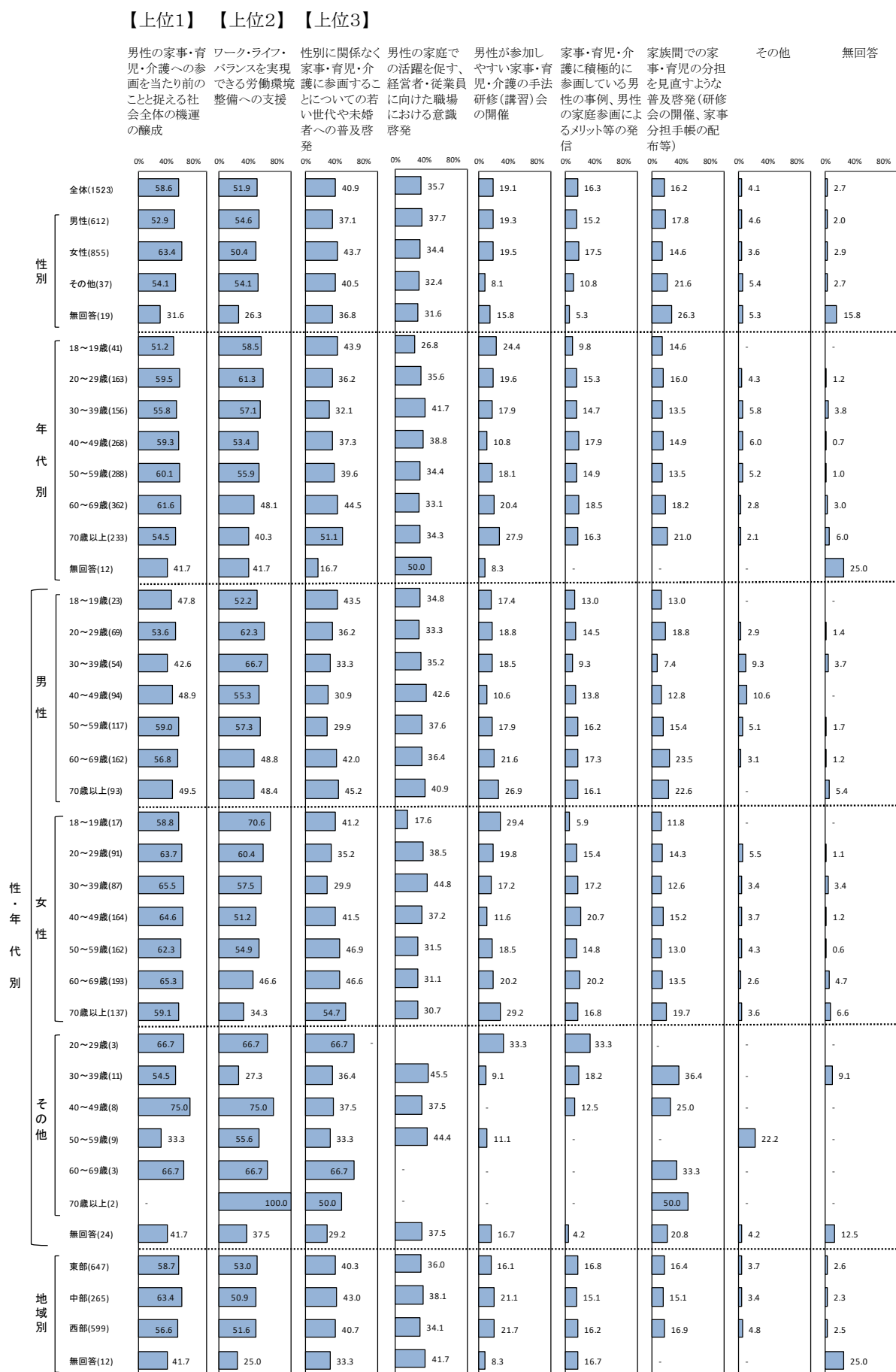


図 27 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(性別・年代別・地域別)



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いませんか。(〇は3つまで)

～「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」が高い～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」が 58.0%と最も高く、次いで「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が 50.7%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が 39.3%となっている。

令和2年度-8年度を比較してみると、上記の3項目は常に上位を占めている。「固定的性別役割分担意識の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実」「配偶者や交際相手等からの暴力を根絶するための取組推進」は前年度より 1.6 ポイント増加している。

性・年代別でみると、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」は全ての年代で女性が男性より割合が高く、「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」は男性の 60 歳代以上、女性の 50 歳代で高くなっている。

図28 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いませんか(年次比較)

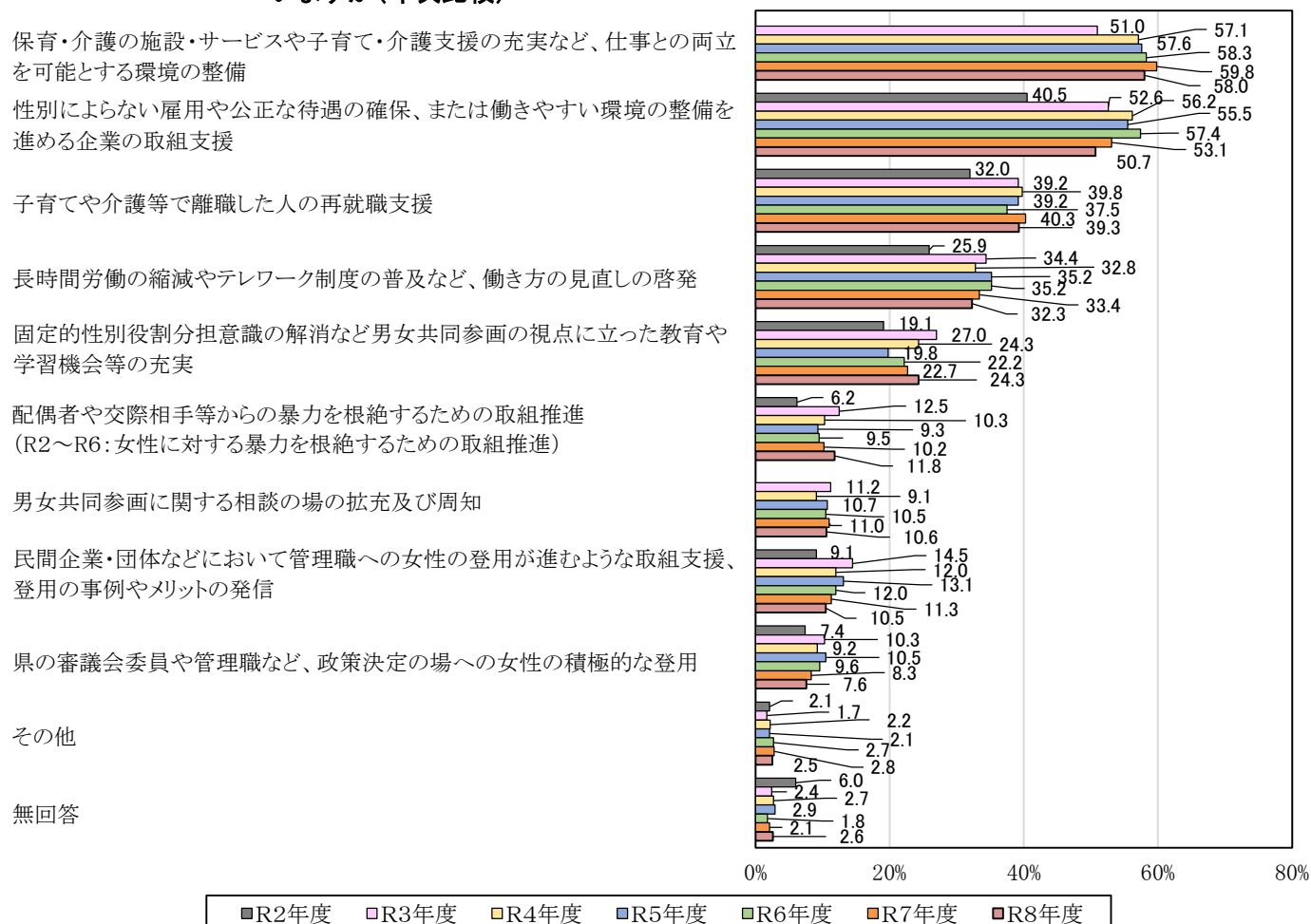
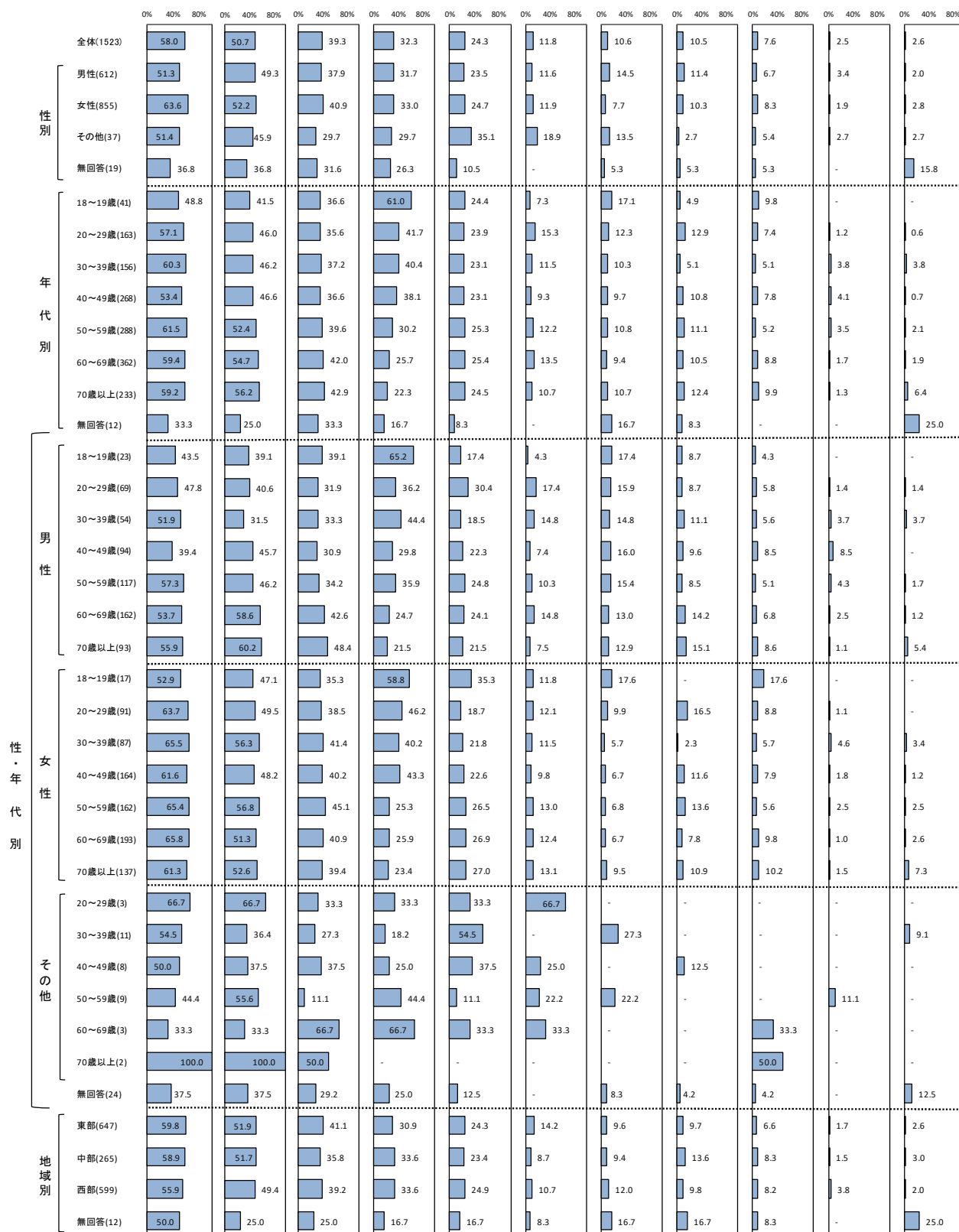


図 29 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】

保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備の取組支援
子育てや介護等で離職した人の再就職支援
長時間労働の削減やワーク・ライフ・バランスの普及など、働き方の見直しの啓発
固定的性別役割分担意識の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
配偶者や交際相手等からの暴力を根絶するための取組推進
男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むよう取組支援、登用の事例やメリットの発信
県の審議会・委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用の取組支援
その他
無回答



<性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)>

問 10 次の項目(設問)についてどう思いますか。(○は1つだけ)

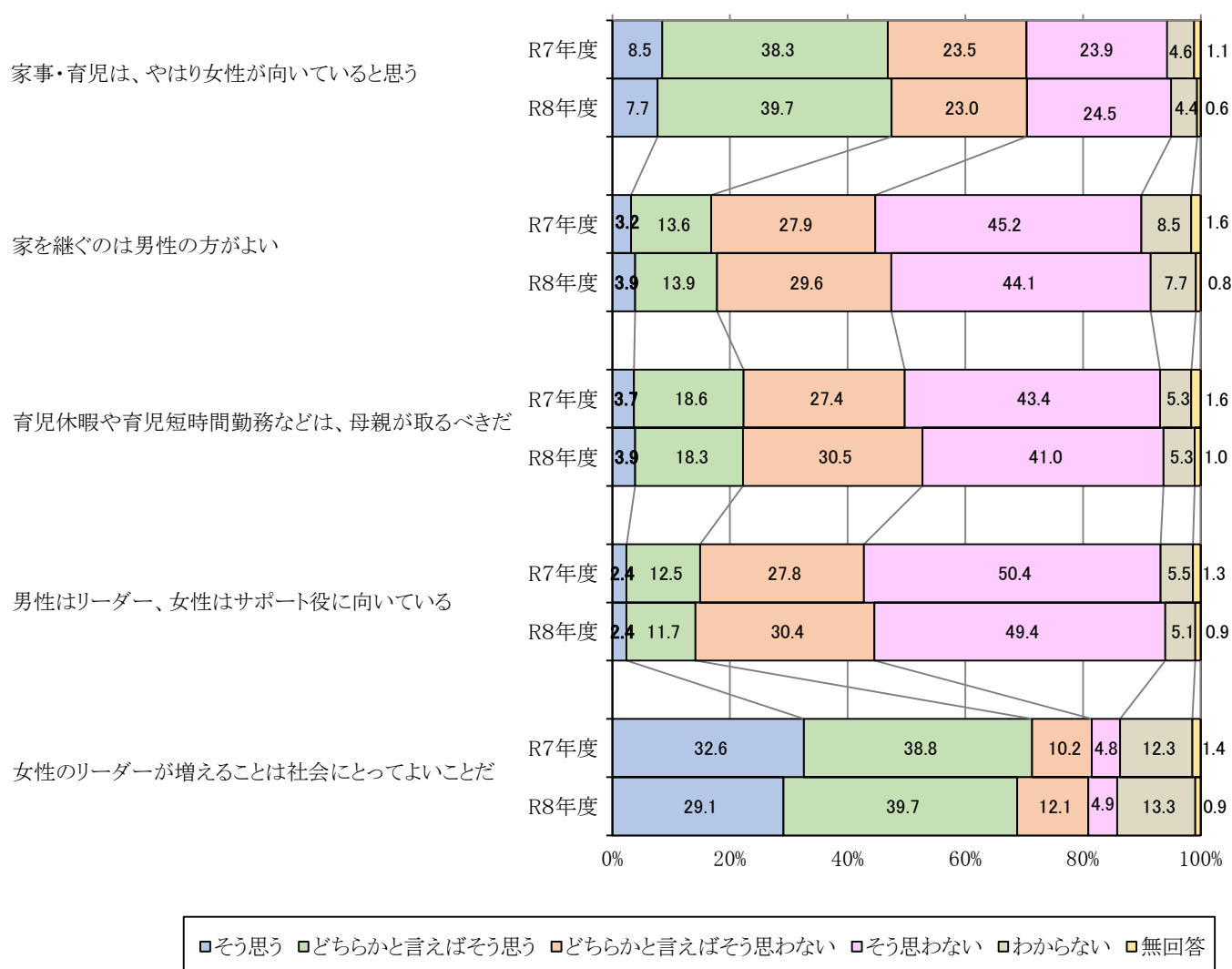
～「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」への共感が約7割～

性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の合計は、「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」が 68.8%と最も高く、次いで「家事・育児は、やはり女性が向いていると思う」が 47.4%となっている。

また、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の合計は、「家を継ぐのは男性の方がよい」「育児休暇や育児短時間勤務などは、母親が取るべきだ」「男性はリーダー、女性はサポート役に向いている」が7割以上と高くなっている。

前回調査と比較してみると、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の合計は「男性はリーダー、女性はサポート役に向いている」「女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ」が2ポイント程度増加している。

図30 性別に関するアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について (年次比較)



問 11 ご自身の中に、「男だから」「女だから」といった性別による役割分担意識があると思いますか。(○は1つだけ)

～性別による役割分担意識について、「ある」が約半数～

性別による役割分担意識について、「ある」が 50.8%となっている。また、「ない」は 30.0%となっている。

前回調査と比較してみると、「ない」が3ポイント程度増加している。

年代別でみると、「ある」は 40 歳代以上で高く、「ない」は 20～30 歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「ある」は女性の 40 歳代以上で高く、「ない」は男性の 20～30 歳代で高くなっている。

図31 性別役割分担意識（年次比較）

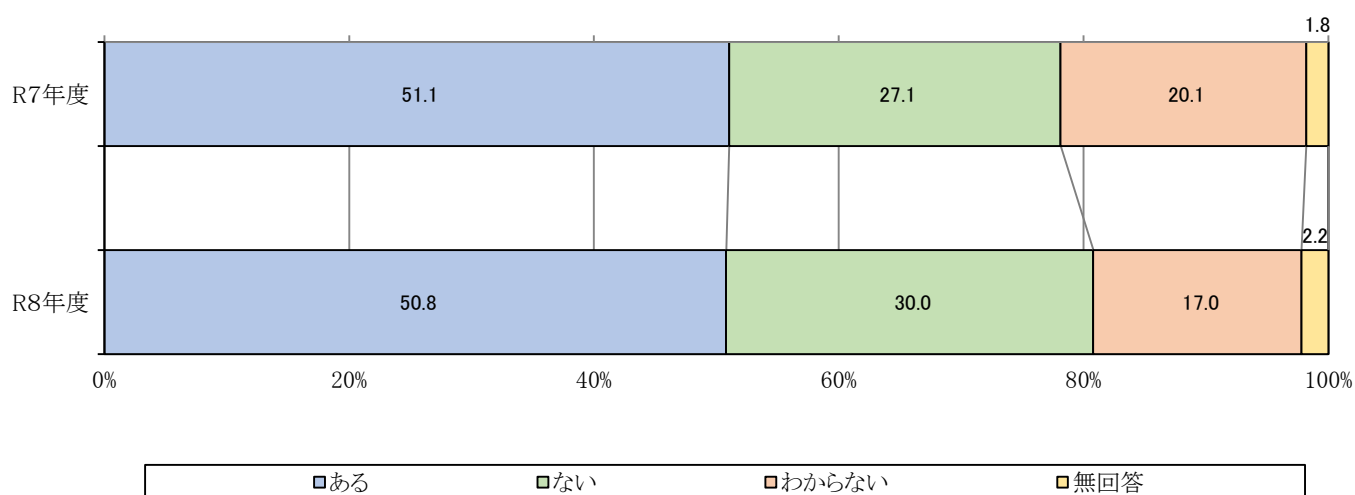
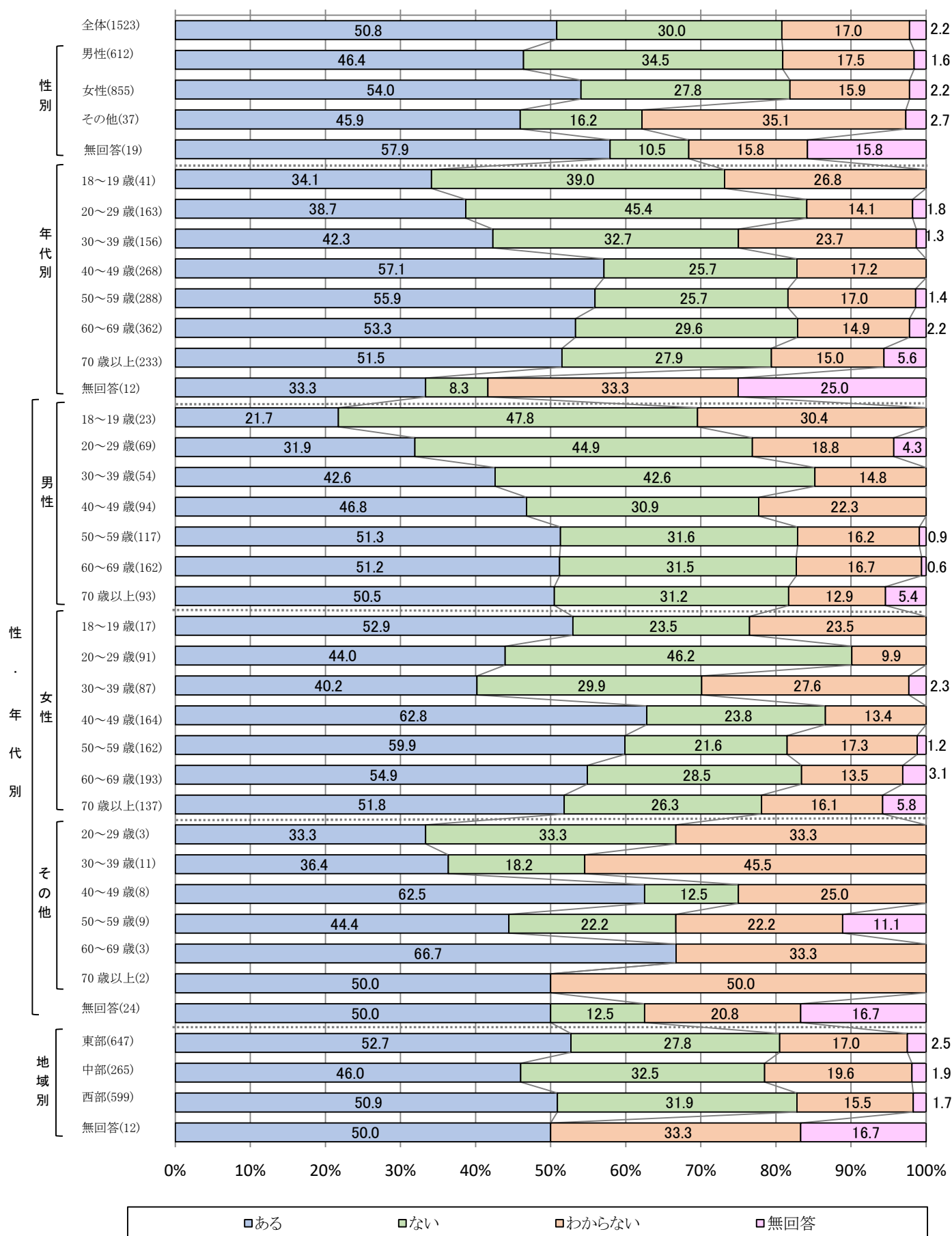


図32 性別役割分担意識：自身の中に「男だから」「女だから」といった性別による役割分担意識があるか(○は1つ)



問 12 (「ある」と回答された方へ)ご自身の中にある性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものだと思いますか。(〇はいくつでも)

～「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」が約8割～

性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものかについて、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」が 78.3%と最も高く、次いで「職場」が 32.0%、「学校」が 19.1%となっている。

前回調査と比較してみると、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」「学校」が 1.5 ポイント程度増加している。

年代別でみると、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」は 60 歳代以上、「職場」は 30～50 歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「家族(親、きょうだい、パートナー)や友人・知人」は男性の 70 歳代以上、女性の 40～60 歳代、「新聞・雑誌、テレビ、本・マンガ」「インターネット、SNS」は女性の 20～30 歳代で高くなっている。

図33 性別役割分担意識は誰からまたは何からの影響か(年次比較)

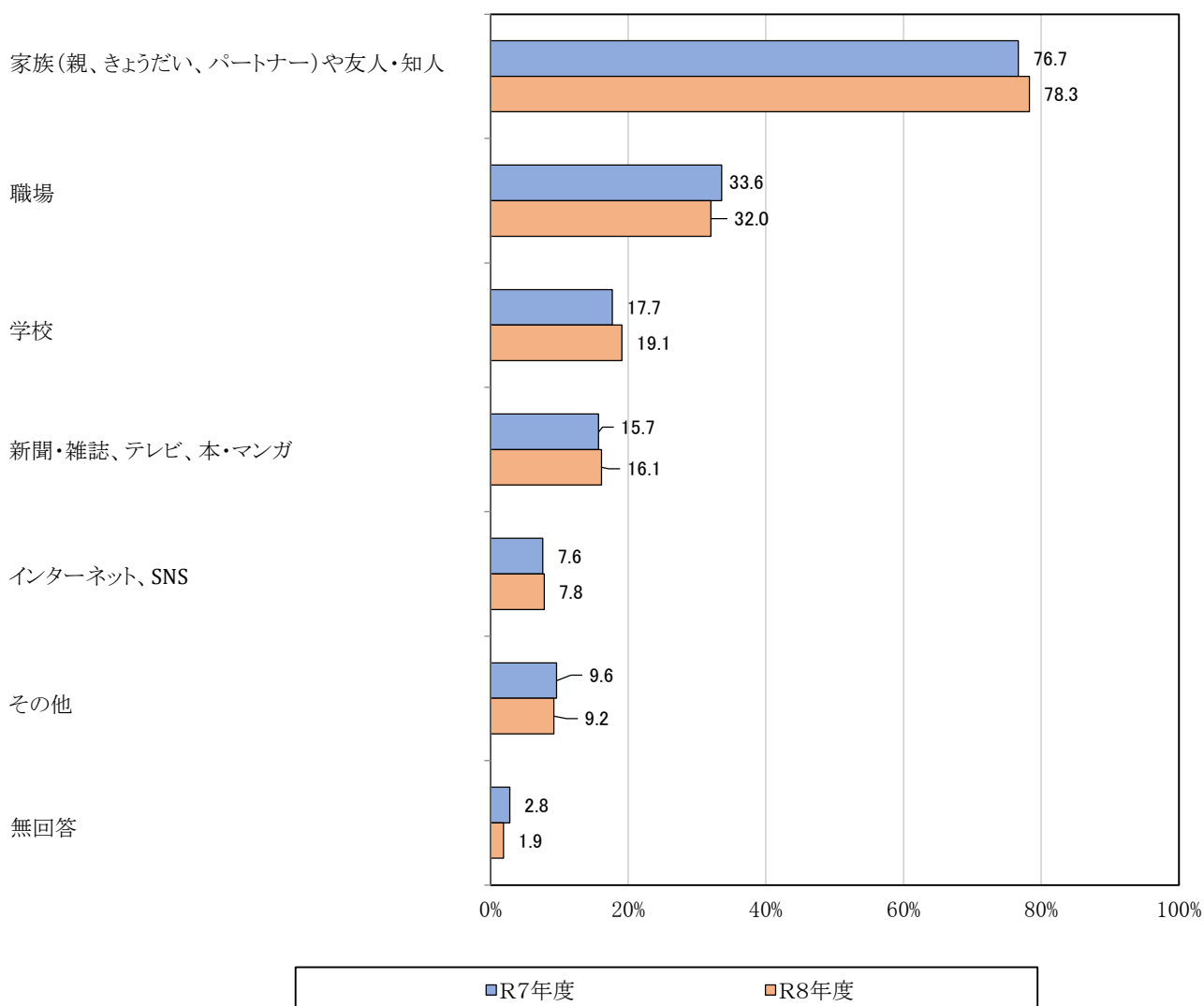
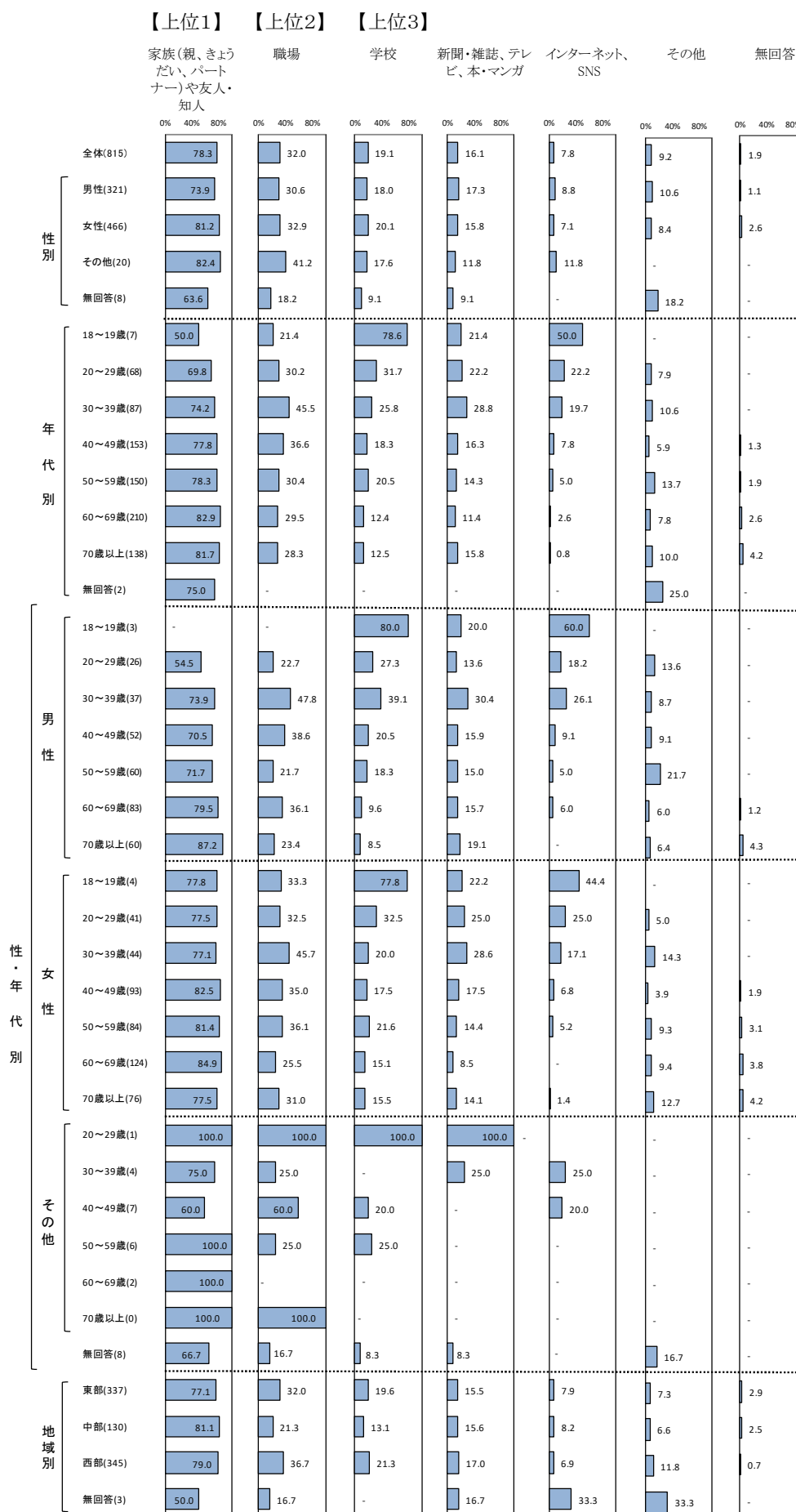


図 34 性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたか(性別・年代別・地域別)



問 13 「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)を感じたことがありますか。(○は1つだけ)

～性別による生きづらさを感じたことが「ある」が約2割～

性別による生きづらさを感じたことがあるかについて、「ある」が 24.5%、「ない」が 48.9%となっている。

前回調査と比較してみると、「ある」は 2.7 ポイント減少、「ない」は 3.9 ポイント増加している。年代別でみると、「ある」は 40～50 歳代で高く、「ない」は 20 歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「ある」は女性の 30 歳代以上が高く、全ての年代で女性が男性より高くなっている。「ない」は男性の 20～30 歳代、70 歳代以上で高くなっている。

図35 性別による生きづらさ（年次比較）

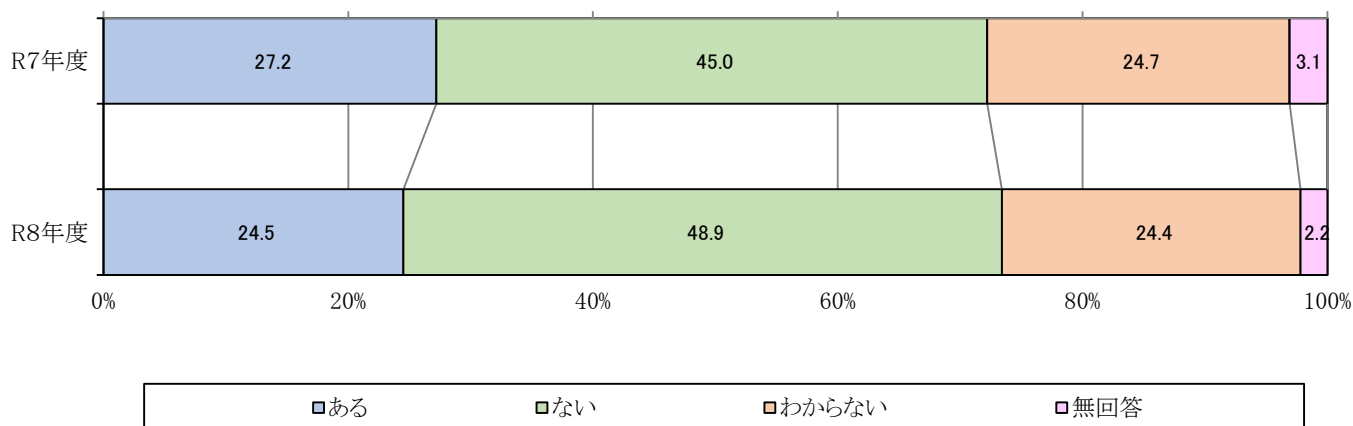
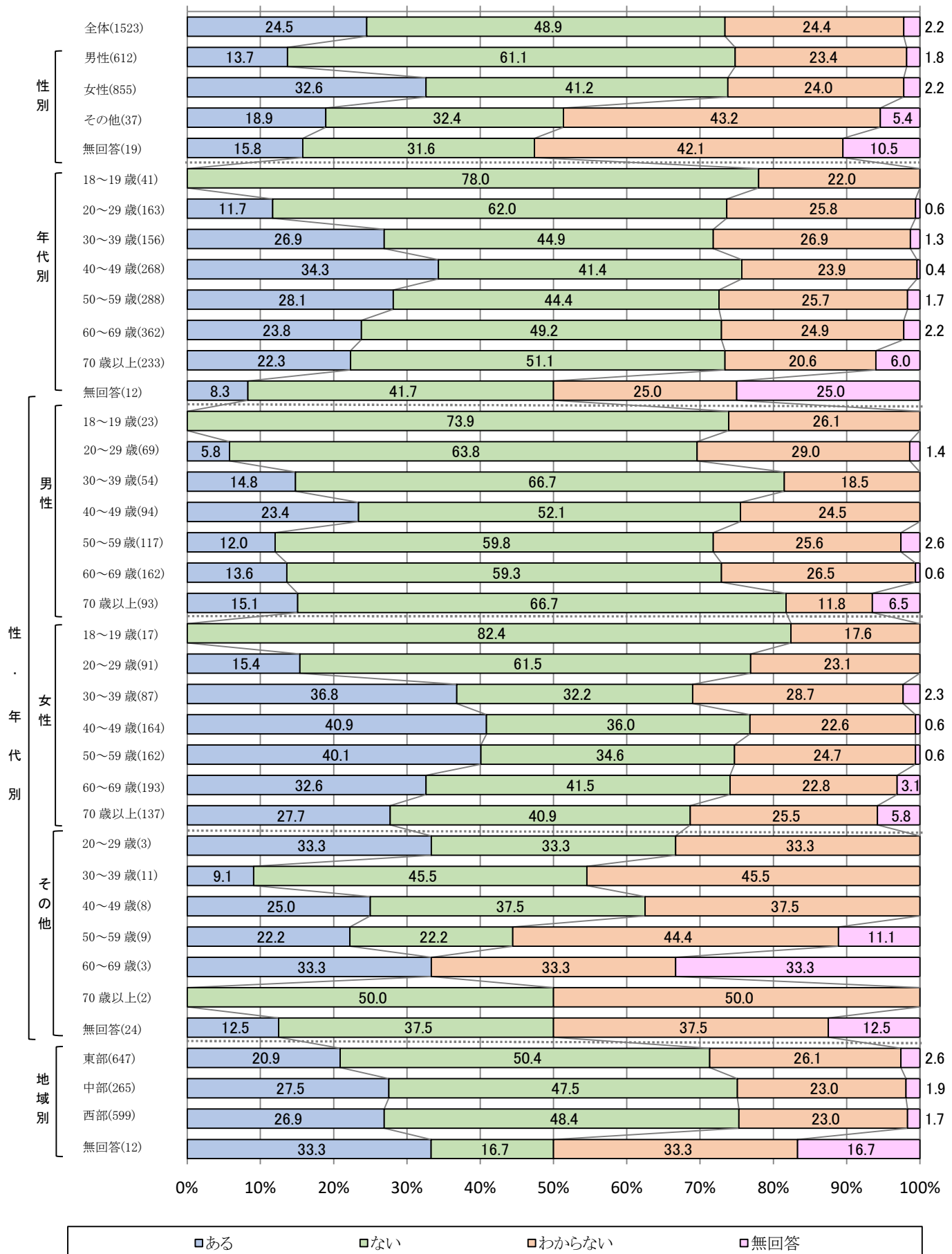


図36 「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさを感じたことがあるか
(性別・年代別・地域別)



問 14 (「ある」と回答された方へ)それはどんなできごとでしたか。

自由記載ページ(P49)にて抜粋して紹介しています。

問 15 どうすれば性別役割分担意識による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)が解消されると思いますか。(〇はいくつでも)

～「家庭と仕事を両立しやすい環境」が約6割～

どうすれば性別役割分担意識による生きづらさが解消されるかについて、「家庭と仕事を両立しやすい環境」が 62.5%と最も高く、次いで「性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」が 55.3%、「男性がすべき、女性がすべき」といった性別役割分担意識に基づく慣習やしきたりの見直し」が 52.2%となっている。

前回調査と比較してみると、「男女共同参画センター等が実施する研修会やセミナーへの参加」が 1.7 ポイント増加している。

年代別でみると、「家庭と仕事を両立しやすい環境」は 20 歳代、「性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」は 60 歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「家庭と仕事を両立しやすい環境」は男性の 20 歳代、女性の 20～40 歳代で高く、「性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり」は男性の 50 歳代以上、女性の 70 歳代以上で高く、「男性がすべき、女性がすべき」といった性別役割分担意識に基づく慣習やしきたりの見直し」は女性の 60 歳代以上で高く、また全ての年代で女性が男性より高くなっている。

図37 性別役割分担意識による生きづらさの解消 (年次比較)

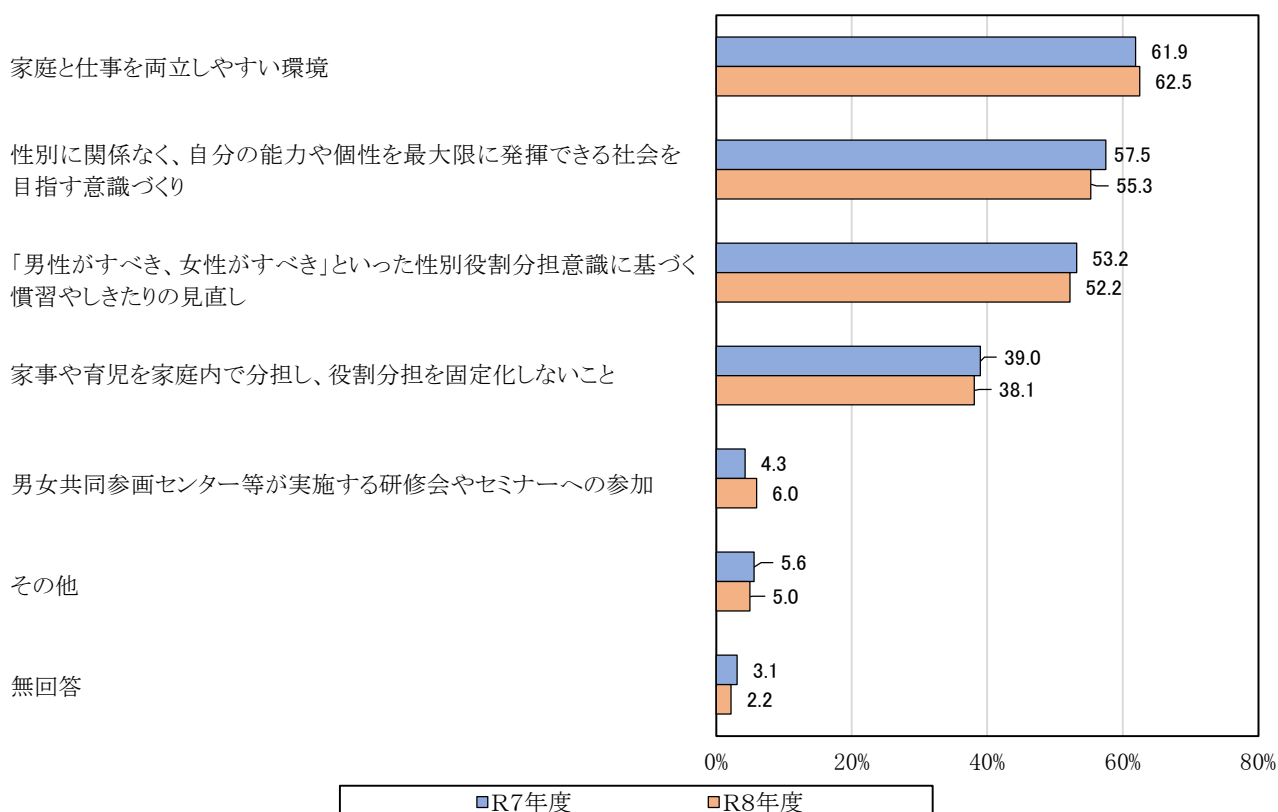
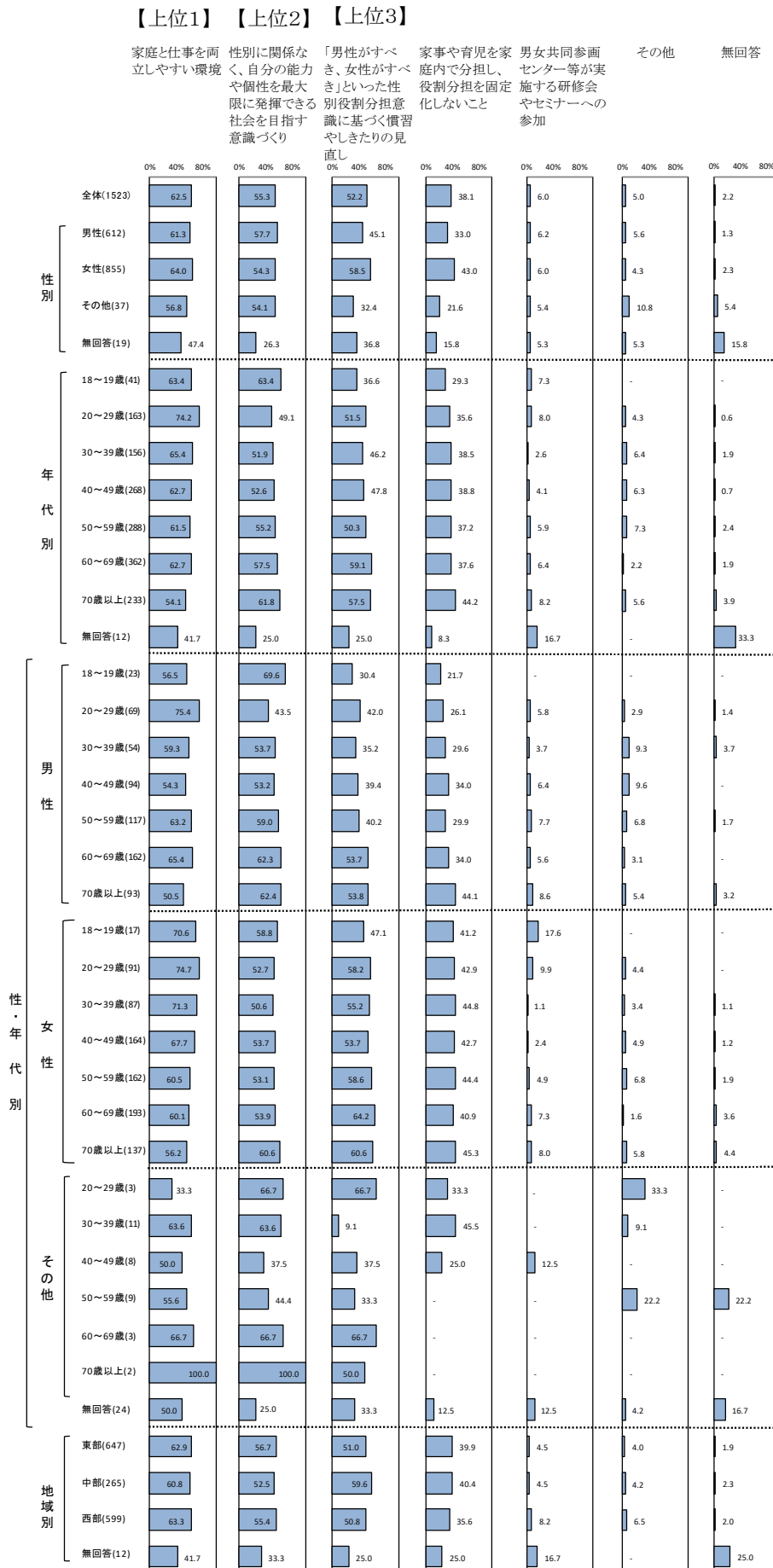


図 38 性別役割分担意識による生きづらさの解消(性別・年代別・地域別)



Ⅲ 重点施策への関心・認識

<鳥取県の人口減少対策について>

問 16 鳥取県の人口減少が続いていく状況について、どう思われますか。(○は1つだけ)

～「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が約4割～

鳥取県の人口減少が続いていく状況について、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」が 39.9%と最も高く、次いで「人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき」が 22.8%、「人口減少は望ましくないが、仕方がない」が 21.7%となっている。

年代別でみると、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」は 60 歳代以上で高く、「人口減少は望ましくないが、仕方がない」は 30～50 歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき」は男性の 70 歳代以上で高くなっている。

図39 鳥取県の人口減少が続いていく状況について (n=1,523)

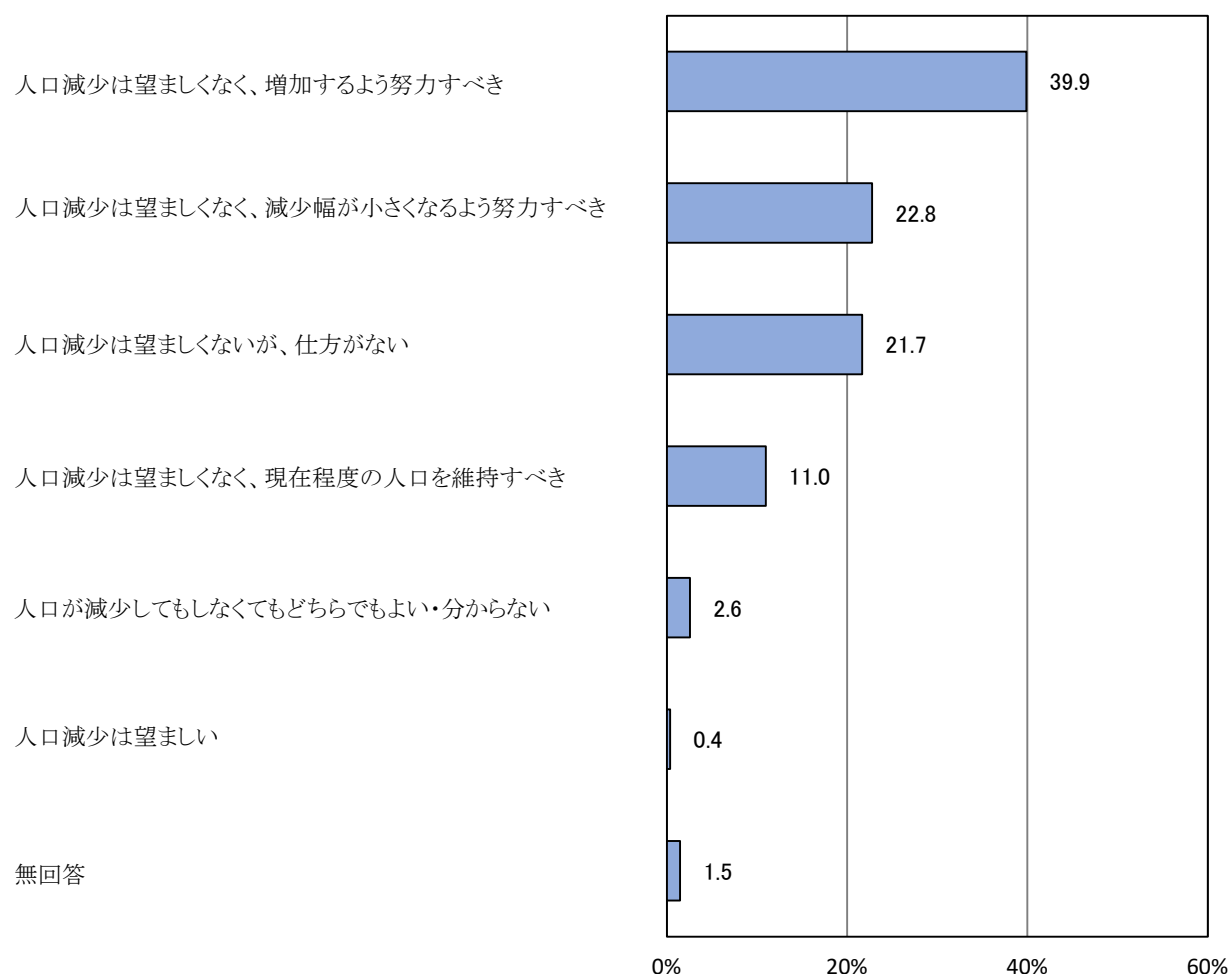
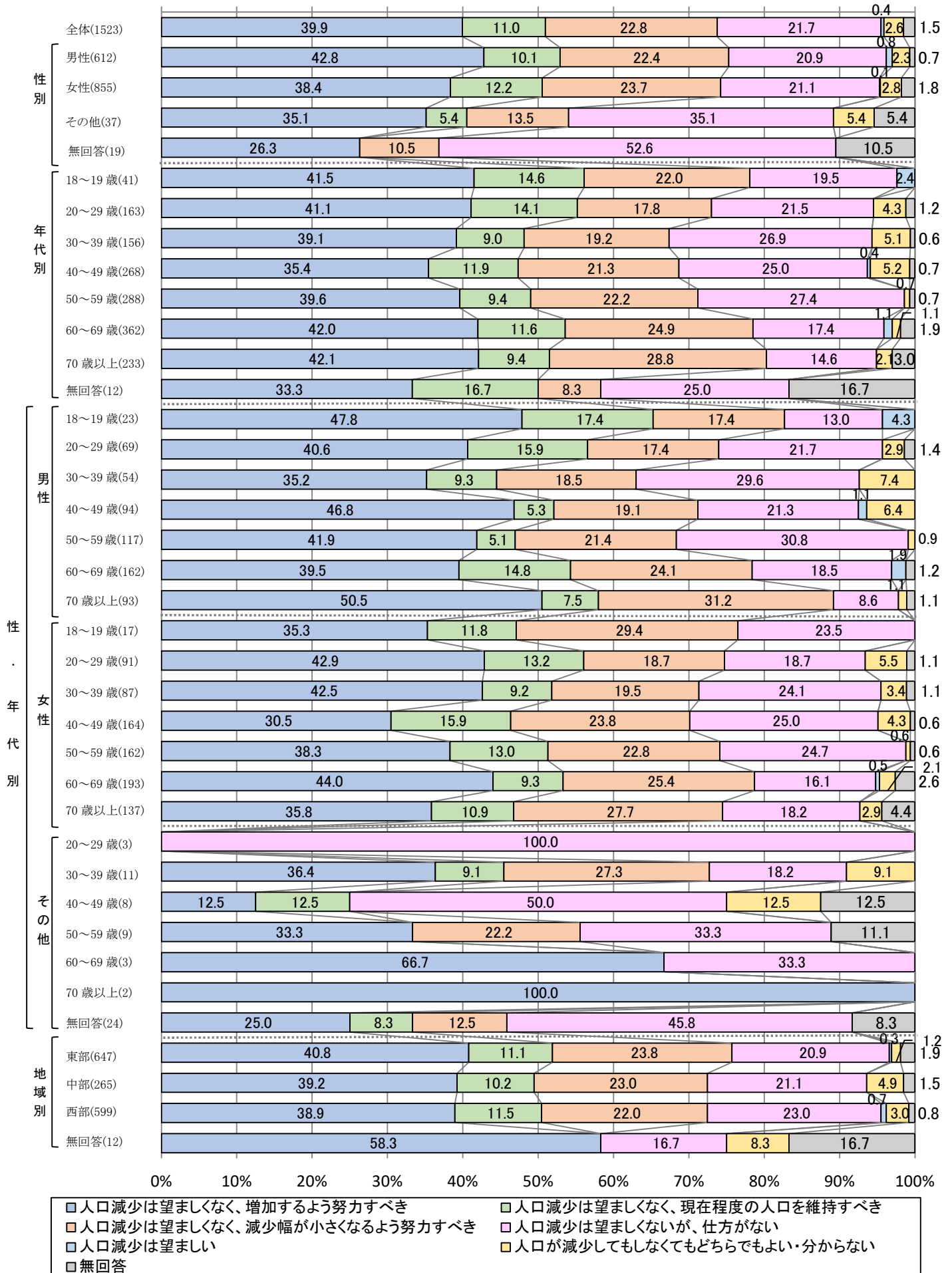


図40 鳥取県の人口減少が続いていく状況について、どう思われますか。(性別・年代別・地域別)

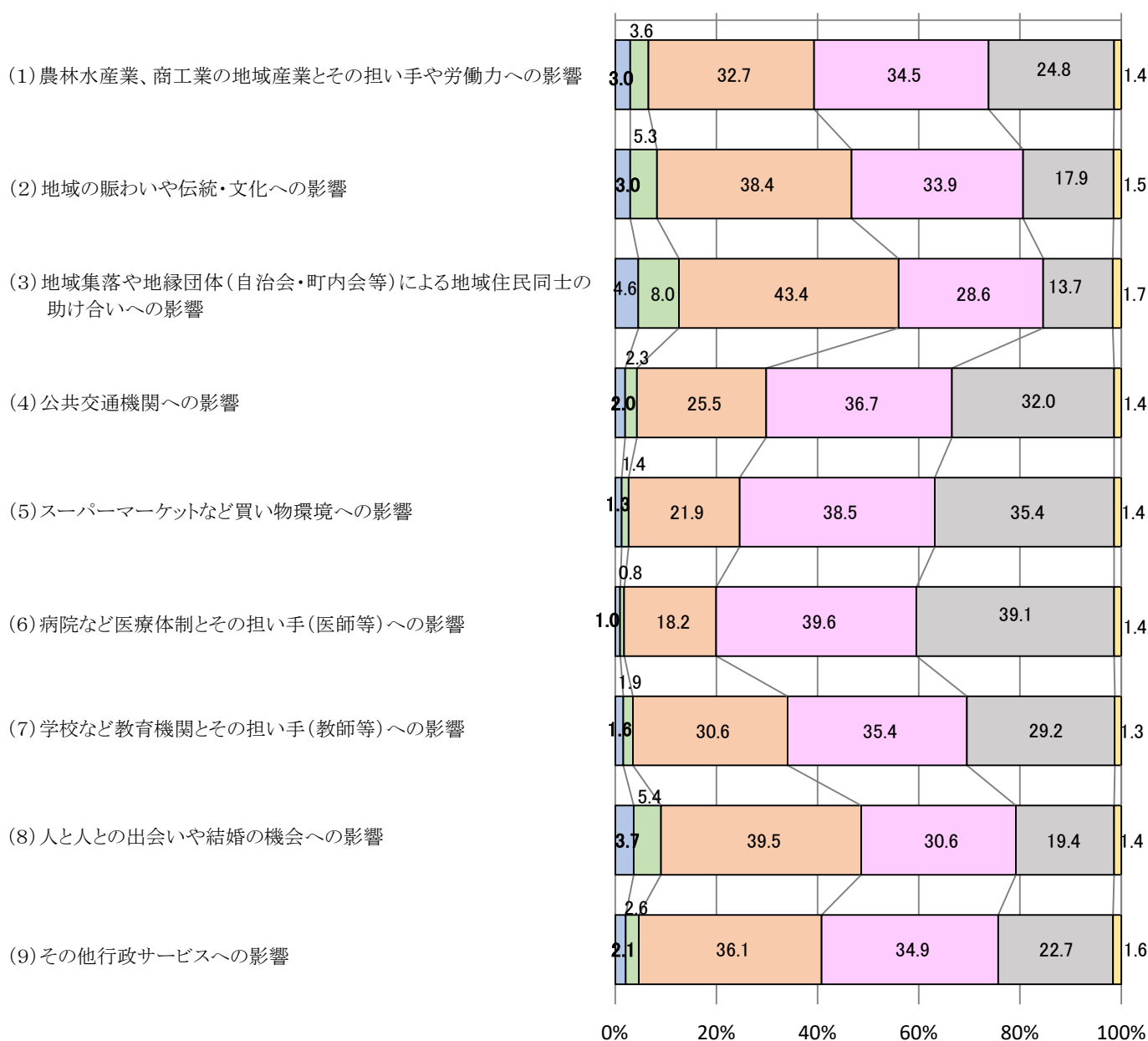


問 17 人口減少で影響があると考えられる分野について、あなたの関心度をお聞きますので、【評価の基準】を参考にそれぞれ5段階で回答をお願いします。

～「地域集落や地縁団体(自治会・町内会等)による地域住民同士の助け合いへの影響」が最も高い～

人口減少で影響があると考えられる分野の関心度について、「関心がある」「やや関心がある」を合わせると、「地域集落や地縁団体(自治会・町内会等)による地域住民同士の助け合いへの影響」が12.6%と最も高く、次いで「人と人との出会いや結婚の機会への影響」が9.1%、「地域の賑わいや伝統・文化への影響」が8.3%となっている。

図41 人口減少で影響があると考えられる分野の関心度 (n=1,523)



関心がある やや関心がある 普通 (どちらともいえない) やや関心がない 関心がない 無回答

問 18 人口減少対策に関連する施策のうち、今後強化すべきものは何だと思われますか。

(○は3つだけ)

～「県外等からの企業誘致等による雇用の創出や県内経済の活性化」が最も高い～

人口減少対策に関連する施策のうち、今後強化すべきものは「県外等からの企業誘致等による雇用の創出や県内経済の活性化」が 39.9%と最も高く、次いで「県内就職を希望する方への支援」「公共交通機関、買い物環境、医療体制、教育機関等の生活に必要な機能の確保」が 39.7%となっている。

年代別でみると、「県外等からの企業誘致等による雇用の創出や県内経済の活性化」は 60 歳代以上、「県内就職を希望する方への支援」は 40～60 歳代、「公共交通機関、買い物環境、医療体制、教育機関等の生活に必要な機能の確保」は 50 歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「県内就職を希望する方への支援」は、男性の 50 歳代、女性の 40 歳代で高く、「公共交通機関、買い物環境、医療体制、教育機関等の生活に必要な機能の確保」は女性の 50 歳代以上で高くなっている。

地域別でみると、「県外等からの企業誘致等による雇用の創出や県内経済の活性化」、「県内就職を希望する方への支援」は東部、中部で高くなっている。

図42 人口減少対策に関連する施策のうち、今後強化すべきもの (n=1,523)

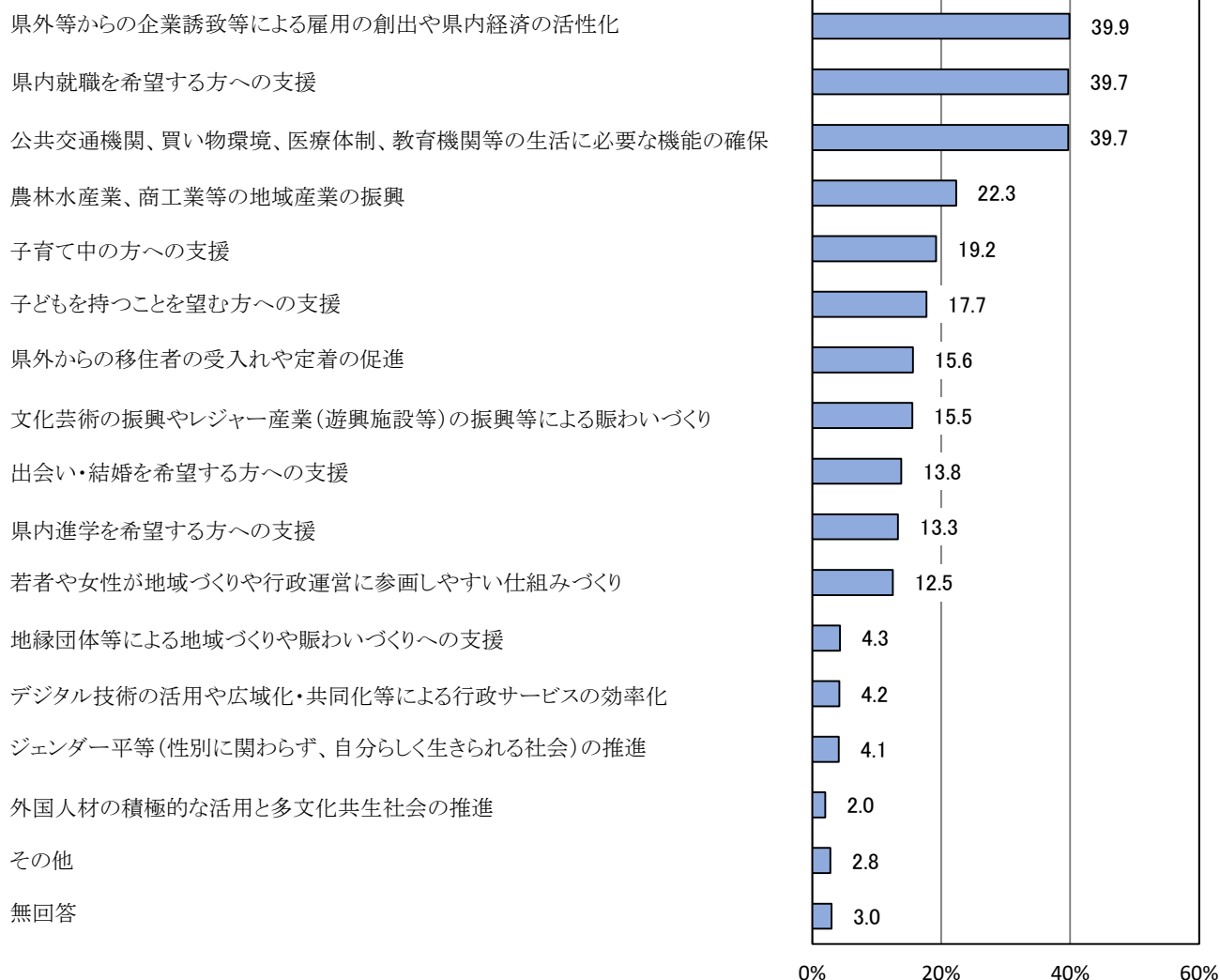
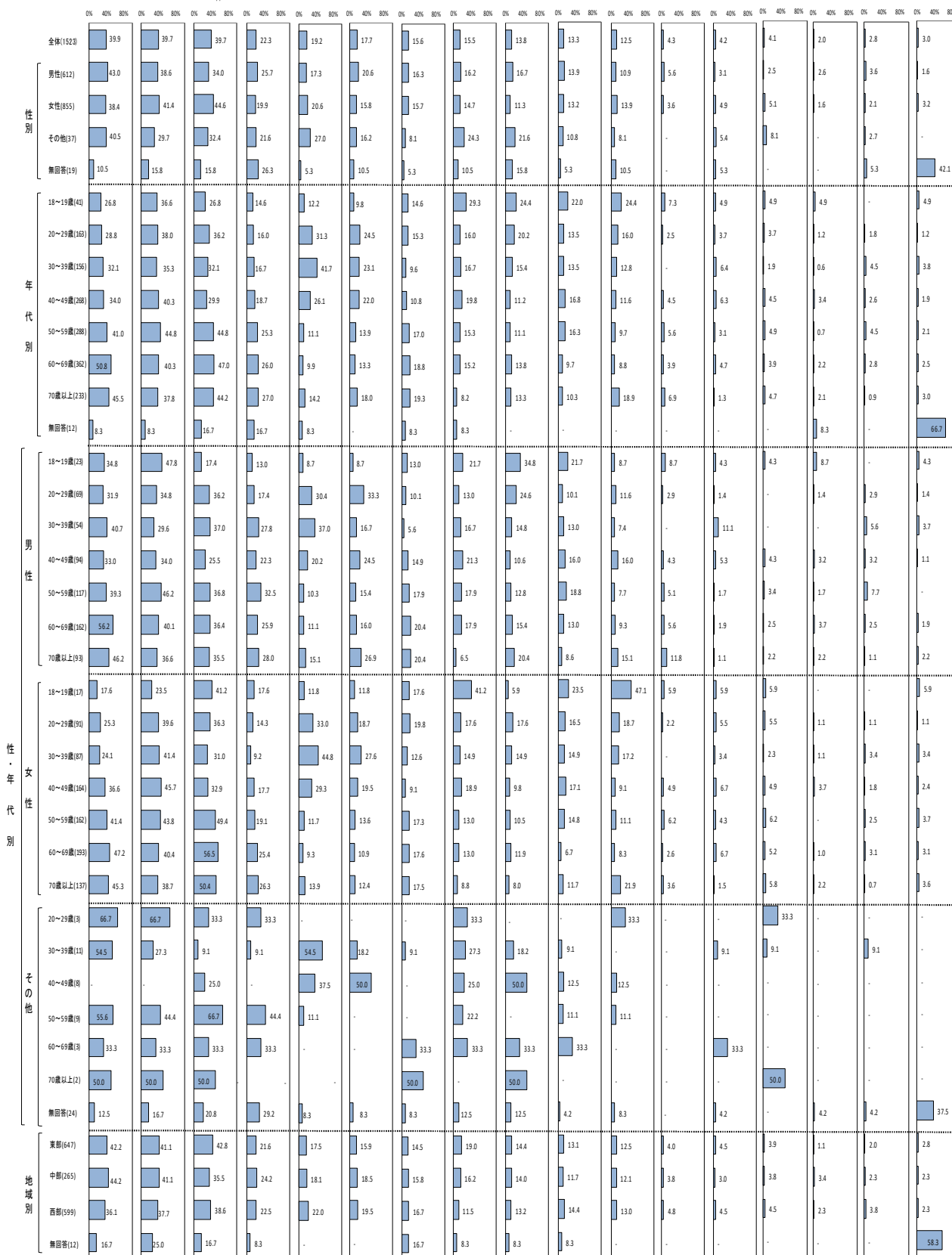


図 43 人口減少対策に関連する施策のうち、今後強化すべきものは何だと思われますか(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】

県外等からの 県内就職を希 望する方への 雇用創出の 支援	公共交通安全 環境、医療機 関、匠士等 域産業の振興	農林水産業、 商業等の地 域産業の振興	子育ての中 への支援	子どもを持 つことを望 む方への支 援	県外からの移 住者の受け 入れや定着 の促進	文化芸術の振 興やインシ ア等による 施設等）の振 興等による 賑わいづく り	出会い・結 合を希望す る方への支 援	県内進学を希 望する方への 支援	若者や女性が 地域づくりに 行政運営に参 画しやすい仕 組みづくり	地縁団体等 による地域づく りや地域文化 の活用や広域 化・共同化等 による行政効 率化の推進	ジェンダー平 等（性別に関 わらず、自分 らしく生きら れる社会）の 推進	外国人材の積 極的な活用と 多文化共生 会の推進	その他	無回答
---	-------------------------------------	---------------------------	---------------	------------------------------	---------------------------------	---	------------------------------	------------------------	---	---	--	-----------------------------------	-----	-----



【自由記載】

多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(選択肢 13「その他」への記載)

自然災害が少ない ◆(70 歳以上 男性 東部)
地域の医療機関が充実 ◆(70 歳以上 女性 中部)
家族の健康 ◆(40～49 歳 女性 東部)
公共交通機関の充実 ◆(60～69 歳 女性 西部)
子育て支援 子どもの安全 安心して子供を任せられる学校と教育 ◆(40～49 歳 女性 西部)

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。
(選択肢8「その他」への記載)

会社が男性も1年間育休を必ず取る、となっていればできるのではないですか ◆(30～39 歳 - 西部)
男性が育休をとることで補助金を送るなどの金銭的な支援 ◆(20～29 歳 女性 西部)
子供の頃から家庭や教育現場で、男性の参加を当たり前で教育して行く ◆(40～49 歳 女性 西部)
男女の労働時間格差の是正。男性の労働時間が長すぎるのに子育ての時間まで捻出させるのは難しい ◆(40～49 歳 男性 中部)
若い世代だけでなく、義母、義父等への啓発 ◆(30～39 歳 女性 東部)

問9 男女参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。
(選択肢 10「その他」への記載)

自治会長、公民館長、議員などを、男女半々にするスウェーデン方式の導入 ◆(70 歳以上 男性 西部)
子育ては期間に限られていますが、介護はいつまで続くか分からない不安で、仕事の両立が難しい。 ヘルパーさんの育成に注力が必要。 ◆(50～59 歳 女性 東部)
男女という言葉を使っている以上無理なのは ◆(40～49 歳 男性 西部)

能力があってやる気がある人は、男女関係なく参画すればいいと思います。ただ、無理やり何パーセント以上確保することといった指標は必要ないと思います。
◆(50～59 歳 男性 西部)
企業の柔軟な働き方推進、男女問わない管理職積極採用、全体的な賃金引き上げ
◆(40～49 歳 女性 東部)

問 12 ご自身の中にある性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものだと思いますか。
(選択肢6「その他」への記載)

日本社会
◆(50～59 歳 男性 西部)
力仕事等に関しては、男の仕事と決めてしまう。
◆(70 歳以上 女性 西部)
生まれながらの体力・骨格の違いから。
◆(60～69 歳 女性 東部)
年代的に、そういうものだという環境にあったと思う
◆(60～69 歳 女性 東部)

問 14 性別役割分担意識による生きづらさの内容

男は仕事、女は家庭を守る時代だったから、家のことは全部責任を持たされた
◆(70 歳以上 女性 東部)
出産によるキャリアの中断、責任のある仕事を引き受けにくい(子どもの突発的な体調不良等が懸念されるため)、泊まりの出張等には行きにくい
◆(40～49 歳 女性 東部)
「男だから」「女だから」性別もだが、長男・長女といった固定観念によって、生活する上で考えさせられた時期があった
◆(50～59 歳 男性 中部)
食事の支度などの家事を、女がするのがあたりまえと思われたり、言われたりしたこと。
◆(60～69 歳 女性 中部)
上司から、「あなたは男なんだからがんばりなさい」と言った言葉をかけられ、体調不良の時でも働かないといけない空気になっている
◆(30～39 歳 男性 西部)
中山間地域での男女の割合が極端なため、男子だからと言うことを感じることもある
◆(20～29 歳 男性 西部)

問 15 どうすれば性別役割分担意識による生きづらさ(「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など)が解消されると思いますか。(選択肢6「その他」への記載)

誰でも得手不得手があり、それを尊重し合えるような優しい社会であれば、お互い様でいろんな差別がなくなり、仕事の分担も無理なく行えると思う ◆(70 歳以上 女性 西部)
幼児教育から親をまきこんで行う。 ◆(30～39 歳 その他・回答したくない 東部)
男性・女性関係なく、性格的にリーダータイプ、サポートタイプが分かれると思うので自分自身の特性を理解し、男女の差ではなく、特性を生かした社会にしていくよう見直し。 ◆(30～39 歳 男性 東部)
男である、女である以前に「同じ人間である」という意識が第一に来る社会となること。そのうえでどうしても男性にしか女性にしかできないことも出てくると思うが、その際は互いの性差を理解尊重して支えあえる社会となること。 ◆(30～39 歳 女性 西部)
日本の古来からの伝統・慣習が根付いていて、たやすい課題とは言い難いです。 ◆(70 歳以上 男性 東部)

問 18 人口減少対策に関連する施策のうち、今後強化すべきものは何だと思われますか。
(選択肢 16「その他」への記載)

大きな商業施設やレジャー施設。選べる楽しさが欲しい。 ◆(30～39 歳 その他・回答したくない 東部)
人口減少しても持続できるよう歳出見直し、コンパクトシティ化、効率化をすすめる ◆(40～49 歳 - 西部)
中小企業の福利厚生の実施、経営者によって考え方の差が大きすぎる ◆(30～39 歳 女性 西部)
手取りを増やす ◆(50～59 歳 男性 西部)
今の社会は、子どもを財産ではなく負債と認識してしまっていると思う。子どもが財産とを感じる社会への教育 ◆(20～29 歳 男性 中部)

自由記載欄(「ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください」への記載)

子育て王国を語るわりには、子育て世帯への恩恵はさほど感じられません。子どもをもう一人欲しいと思っても、この物価高でためらってしまい、40も手前になり、もう無理かなと思っています。子ども一人あたり毎月1～3万では足りません。せめて一人あたり毎月 5～10 万くらい手当がいただけるのであれば、まだ頑張ろうかなと思えます。

◆(30～39 歳 女性 東部)

鳥取で生まれ、50 年前に上京し、4 年前に U ターンで帰ってきた鳥取ですが、半世紀前と比べ何が変わったかを考えた時、街は進化し便利になったと思う反面、当時活気のあった町ではありません。時代は変わったといえればそれまでですが。県には、人のふれあいが感じられる街づくりを期待します。

◆(60～69 歳 男性 東部)

とにかく人口減少を食い止めてほしい。今は男女共同参画や定住支援などの施策は一時保留して、魅力のある鳥取県となるための施策に注力してもいいのではないかなと思う。鳥取県のために頑張ってください。

◆(60～69 歳 男性 東部)

鳥取県は素晴らしい場所です。しかし、若者が定着するには厳しい場所です。日々のニュースでは東京など都会の情報ばかりがあふれています。圧倒的な強みがないのが鳥取の現状です。鳥取に足りないものは何なのか。机上で語るのではなく、現場を見て判断してほしいです。物価上昇に対し、一向に上がらない給料。娯楽の無さ。弱いインフラ。やることはたくさんあります。前途多難ではありますが、より良い鳥取県にするためによりよくお願い申し上げます。

◆(40～49 歳 男性 中部)

人口減少は県内の若い人が他県に進学・就職・出会いを求めて出てしまうからではないでしょうか？企業を増やし、中学・高校・大学出とかをなくし、誰でも入れる企業、給与・ボーナスを増やす。企業は、パワハラ・暴力・暴言・ハラスメントをしないように取り組むと、長く効率良くいくのでは。

◆(20～29 歳 女性 東部)

「町が消滅する」最近よく耳にするが、都会でなく地方に住む私には特に現実的に感じている。結局は、交通の便、買い物の便、通院の便を考え、町内の中でも、よりその条件に近い所に引っ越すことも考えています。3～4 戸に1戸が空き家の現状で現実を直視して、さらに厳しくなる事を想定して暮らしています。

◆(70 歳以上 男性 中部)

「子育て王国とっとり」はいいのですがそっちの方ばかりにお金を使い過ぎだと思います。独身の人、子供がいない人、子育ては終わった人もたくさんいます。私が学生の頃、今の人達よりもはるかに頭が良くて勉強やスポーツをがんばっていた人がたくさんいました。その中にはいわゆる就職氷河期のせいで結婚就職などの夢をあきらめた人もたくさんいました。あの当時、国が色々支援してくれたならここまでの少子化にはなっていないはず。行政には責任を感じてほしいです！

◆(50～59 歳 男性 西部)

森林をなんとかしてほしいと思う。数 10 年前に植えた木が手入れされず伸び放題。えさがなく鹿とかが畑を荒らす。雑木を植えて、えさができれば鹿も来なくなると思うのだが、すぐに結果は出ないが、放っておくとますます悪化してしまう。それと豊かな水をずっと享受できる県であってほしい。

◆(50～59 歳 女性 東部)

物価高で人付き合いも思うようにできなくなりました。たまに会うとしゃべり疲れてぐったりしてしまいます。それでも地域貢献には少しでも役に立ちたいと思っています。参加しやすいものがあれば情報がほしいです。

◆(50～59 歳 女性 西部)

児童虐待など、これからの住みやすさよりも、今の問題に目を向けてほしい。例えば、再婚相手からの子どもへの虐待が多いことなどから、もっと行政は防止できることがあるのでは？と思う。”ひとり親家庭”の現在の生活状況など細かく調査(学校とも連携をとる)してもいいと思う。 ◆(50～59 歳 女性 西部)
若い世代と過す仕事をしております。よく彼らからきくのは、土・日に「過す所がない」と聞きます。それぞれの興味もちがうかとは思いますが、これが、若い方がなかなか定着しない理由かなと県外から来た私は思います。鳥取へきて36年ですが、あまり変わっていないように思うのは私だけなのでしょうか。ちらっと思いました。しかし自然は最高です。 ◆(60～69 歳 女性 東部)
公共交通機関 バス・JR の減少がひどすぎます。もう少し増加して頂きたい。 ◆(60～69 歳 男性 東部)
さまざまな施策が行われていると感じるが、相談等したくてもどこに、誰に、言っていけばよいのか分からない人が多いと思っています。今すこし周知徹底していただければと思います。 ◆(70 歳以上 女性 東部)
鳥取はすごく良い場所なのに、イマイチ県外の人に魅力が伝わっていないので、残念です。鳥取に住む人達の温かさや、自然の豊かさなどをもっと広める機会があれば良いのになと思います。また、魅力は伝わっているけど、中々来ることがないという原因の1つに公共交通機関が整っていないというのもあるので、難しいとは思いますが、整備が必要だと思う。「鳥取を変えたい」と思う若者は意外と多いと思うので、もっとみんなで鳥取を変えるチャンスがあればなと思います。 ◆(20～29 歳 女性 西部)
子育ても大切ですが、介護者・高齢者への何かしらの支援がほしい。 ◆(50～59 歳 女性 中部)
子育て支援に関して、東部、中部、西部分け隔てなくサービスを提供していただきたい。住民票のある地区でしかサービスを受けられないという制度は就業する上で不利益になり得る。 ◆(30～39 歳 女性 東部)
公共建築は、単なる施設ではなく、地域の未来をつくる社会的な資産だと考えます。もちろん限られた予算の中で整備することは大切ですが、安さだけを優先するのではなく、長く使われ、地域の人に愛される質の高い建築や空間をつくることにも価値があると思います。公共建築に適切な予算をかけることは、単なるコストではなく、次の世代への投資だと考えます。 ◆(18～19 歳 女性 西部)
金銭的に生きづらい 物価と給与が見合わない 正規雇用で働いていても、家計は赤字 何か支援の体制を整えてほしい ◆(30～39 歳 男性 東部)
子どもがまだ産めるし、まだ産みたいけど生活費が足りないからと諦めてる方はたくさんいます。仕事復帰出来なくなるからと諦める方も。育休がとれる男性はほぼいないと思います。取れるのは一部の会社だけ。我が家も3人目の産後一週間だけ有給休暇しか取れませんでした。子育てしやすい環境作りにしてください。婚活パーティーしても意味はほぼないです。あとどういう県政をしてるかアピールしてほしい。県が何をしてるか伝わってないです。ニュースで取り上げてないと分かりません。子育て家庭はニュースも見ません。 ◆(40～49 歳 女性 東部)

トップセールスとしての知事のメディア等の露出で、鳥取県の好感度や知名度アップは効果的だと思う。子育て世代だと、就労先企業の多さも大切だと思うが、医療・教育面の補助金の有無や種類の多さは、今現在でも家計が助かっているが、より充実すれば全国上位の子育て易さをアピール出来ると思う。 ◆(40～49 歳 男性 東部)
農業の仕事の手伝いを始めて 10 数年になるが、田畑の耕作放棄地が増えていくスピードに驚いている。担い手不足はかなり深刻な状況では。自治体が準備した研修施設(ハウスなど)を見学したこともあるが、あまりにもお膳立てされ過ぎていて、いざ自分で始めるといった時に同様の施設、設備ができるのだろうか？と疑問を持った。現状、現実に関わり添った取り組みをしなければいけないのでは？と思う。 ◆(50～59 歳 女性 西部)
人口減少は少ない移住者の取り合いになってしまっていると思う。少なくなる前提で、人が少なくなった地域をどう維持するかに傾注した対策が必要だと思う。また男女の意識差は、日々暮らす環境の中ですり込まれるものが大きいと思う。親や周りの大人の日々のふるまいを見て、男というのはこう、女というのはこうという意識が再生産されていく。子育て世代の意識を変えていくことがいちばん大事だと思う。 ◆(50～59 歳 男性 西部)
・出生率を 0→1 にすることも大切だけど 1→2 と続けていけるようにすることが一番近道であり、家族の大切さを学ぶ大事な機会だと思います。我が家が通う保育園では兄弟 3 人が当たり前のように多く、それは保育園に入園できるからこそ成立すると思います。さらには企業が多子家庭には 30 分でも早く帰宅できるよう働きかけてくれたらみんな余裕ができていいなと思います。・調整区域の緩和をして今ある土地をもう少し売買しやすくなると戸建てや住宅管理がしやすい(調整区域に持家ありですが老朽化していき管理がしにくいです) ◆(40～49 歳 女性 西部)
県外または東部、西部に行かなくても買い物やカフェを楽しめる、若者向けの施設や環境が中部に少なすぎると感じる。ドラッグストアとコンビニ以外のチェーン店を増やしてほしい。 ◆(20～29 歳 女性 中部)
行政が行っている施策をわからない、又は、知らないという人の方が大半であると思います。アンケートで得られる情報もどうかと思います。そもそも、県民への理解が必要。ともすれば、県民の理解がないまま、どこかの目線で行政は、どこに何を目標にするべきなのか。人口が少ない、だから悪いというよりも、人口が少ないからこそそのメリットを説く、反対にそれが必要とされる部分を探すべきかなと。都市部でできることでは、地方は、負けてしまいます。日本で初めては、難しいですが、世界で 2 番目なら、真似ができると思います。行政改革人材を柔軟な形でと思います。対話というよりも、雑談する場が必要かと。 ◆(40～49 歳 男性 東部)
自分は将来、地元を離れ都会で就職したいと考えています。大きな理由は、給与水準の高さや交通インフラの利便性など、若者にとって魅力的な環境が整っているからです。鳥取県にも素晴らしい企業はありますが、都会に比べると選択肢の数が少なく、魅力の発信が不足しているため、都会へ惹かれてしまうのが現状です。この課題を解決するため、県には若者向けの情報発信の強化が必要だと感じます。具体的には地元企業を紹介するだけでなく、SNS を活用して地元だからこそその仕事の魅力を届けること。また、都会水準の働き方が地方でもできる環境づくりを進めることが、若者の定着につながると考えます。 ◆(18～19 歳 男性 西部)

私は東京から移住してきて 20 年になります。都会と比べるとゆったりと時間が流れるここでの暮らしが好きです。ただ、都会と比べると地下鉄はなく、バスなどの本数もすくなかったので、車で移動しなければならず、車を購入して運転を練習しました。都会から来た方で同じように苦労した方を知っています。またIターンの人たちは地域に馴染むのに時間がかかります。なので、長期間サポートしてあげる必要があるかと思います。慣れればとても良いところなのでそういったサポートがあれば良いなと思います。

◆(40～49 歳 女性 西部)

若い人の雇用、子育てに焦点を当てるのではなく、年配の方々の雇用促進や、介護生活にならないための施策等、増えている年配の方々への施策の方が急務だと思われます。無駄に外国人を雇用するより、そういった方々を大事にする方が地域も元気になると思います。子育て王国とっとりではなく、永遠の楽園とっとりの方が県民が元気で生きていけるのでは。色々支援したところで、県外流出するなら、今居る人を大事にすべきだと思います。

◆(40～49 歳 女性 東部)

自治会や商店会でも加入者が少なく地域の活動や伝統行事もできにくくなっています。高齢化や介護への従事、人口減少に伴うだけでなく、就業世代の横の結びつき意識の低下が大きいと思います(特にコロナ禍以降)。住民同士のクレーム処理やトラブルの仲裁でなく隣近所のあたたかで豊かなコミュニティづくりを推進していきたいと思いますが、意識のちがいがから輪が広がらずなかなかうまくいきません。

◆(50～59 歳 男性 西部)

「鳥取県の政策に関する県民意識調査」に ご協力をお願いします

県では、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆様とともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆様が住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう、本県の状況などについて、皆様のご意見をお伺いし、今後の県政に活かしていきたいと思えます。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願いします。

令和8年6月25日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県の政策に関する県民意識調査」（今年で11回目）です。
- この調査は、本調査票にご記入のうえ郵送いただくか、パソコンやスマートフォンでインターネットにより回答していただくことも可能です。

インターネットによる回答方法については、調査票の10ページをご覧ください。

- 調査をお願いする方の選定にあたりましては、住民基本台帳法に基づき各市町村へ閲覧を依頼したうえ、県内在住の18歳以上の方から3,000人を各市町村の住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。抽出した個人情報、個人情報保護法に基づき適正に管理します。
- 調査票は無記名になっていますので、お名前の記入は不要です。
- ご回答いただいた内容は、そのまま統計的に集計・分析するため、個人が特定されたり、個々の回答内容が公表されることはありません。
- 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合は、ご家族の方など代わりの方（18歳以上）がお答えいただいて差し支えありません。
- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信封筒に入れて 令和8年7月15日（水）までに投函（切手不要）**してください。

この調査についてご不明な点がございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

鳥取県地域社会振興部 県民課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220
電話：0857-26-7025、7026
ファクシミリ：0857-26-8112
電子メール：kenmin@pref.tottori.lg.jp



目 次

I	鳥取県の住みやすさについて（問１～５）	．．．．．	ページ １
II	鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について（問６）	．．．．．	２
	１ 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる	．．．．．	２
	２ 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む	．．．．．	３
	３ 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ	．．．．．	４
	４ 男女共同参画社会づくり（問７～９）	．．．．．	５
	５ 性別に関するアンコンシャス・バイアス （問１０～１５）	．．．．．	６
III	重点施策への関心・認識 鳥取県の人口減少対策について （問１６～１８）	．．．．．	７
IV	回答者の情報（問１９～２２）	．．．．．	９
V	自由記載欄	．．．．．	９
	～パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へ～ インターネット回答のご案内	．．．．．	１０

I 鳥取県の住みやすさについて

【問1】あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。該当する数字に○をしてください。
(○は1つ)

- 1 感じている 2 少し感じている 3 普通 (どちらともいえない)
4 あまり感じていない 5 感じていない

【問2】あなたが、今暮らしている地域の住みやすさについて、該当する数字に○をしてください。
(○は1つ)

- 1 とても住みやすい 2 どちらかというに住みやすい 3 普通 (どちらともいえない)
4 どちらかというに住みにくい 5 住みにくい

【問3】鳥取県に暮らしていて、あなたは次の設問についてどう思われますか。1～10の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択		
	そう 思う	どちらとも 言えない	そう 思わない
1 豊かな自然環境に恵まれている			
2 住んでいる住民（県民）が親切である			
3 地域での人と人とのつながりがある			
4 生活するにあたり、公共交通機関が整っている			
5 地域の防災組織が整っている			
6 地域の治安が良いと感じている			
7 子育て支援が充実している			
8 医療や介護の体制が充実している			
9 子どもの教育環境が充実している			
10 ストレスなく日常生活を送ることができる			

【問4】鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか。
10を「とても幸せ」、5を「普通」、0を「とても不幸」として、次の数字1つに○をしてください。



【問5】あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。該当する数字に○をしてください。
(○はいくつでも)

- 1 家計の状況 2 就業の状況 3 自身の健康の状況 4 自由な時間（充実した余暇）
5 仕事（学校）の充実度 6 精神的なゆとり 7 趣味などのいきがい 8 家族関係
9 友人関係 10 職場（学校）の人間関係 11 地域コミュニティとの関係
12 自然環境（住みやすさ） 13 その他（ ）

Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【問6】鳥取県が実施している施策等について、あなたの満足度をお聞きますので、【評価の基準】を参考にそれぞれ5段階で回答をお願いします（各項目の1～5のいずれかの数字に○をしてください。）また、テーマごとに今後の優先度（重要度）が高いと思われる施策等について3つずつお選びください。

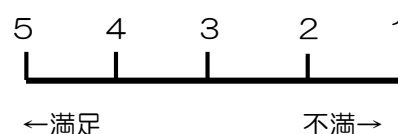
【評価の基準】

5 満足 4 やや満足 3 普通
(どちらともいえない) 2 やや不満 1 不満

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

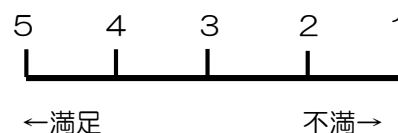
① 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組

豊かな自然、鉄道、まんが、温泉地等の魅力あるコンテンツを活かしたキャンペーンの展開、観光地を結ぶ交通環境の充実など



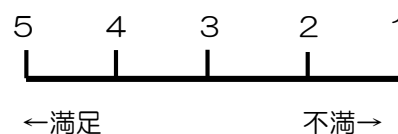
② 外国人観光客や国際交流を拡大する取組

国際航空便・航路の運航促進、海外メディアやSNS等を通じた魅力発信、海外の友好地域との国際交流の推進など



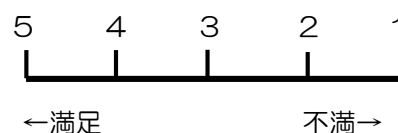
③ 文化・アートのもちづくりの取組

地域の伝統芸能の継承や文化芸術に親しむ機会の提供、アートを活用した地域づくりや交流、県立美術館の整備など



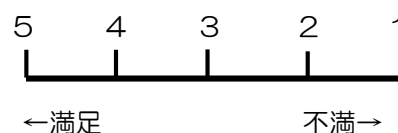
④ スポーツ活動の振興や交流を拓げる取組

大規模スポーツ大会・国際大会のキャンプ誘致や
ホストタウン交流の推進、障がい者スポーツや生涯
スポーツ推進など



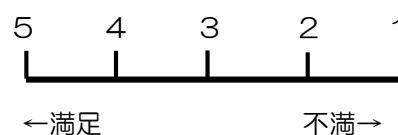
⑤ 強い農林水産業で食の魅力を発信する取組

デジタル技術による生産力強化、担い手育成の推進、
県産食材のブランド化の推進、国内外への情報発信など



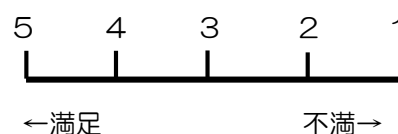
⑥ 地球規模での環境課題への対応

省エネ住宅の普及啓発促進、省エネ・再エネ推進、プラスチックごみの削減、食品ロスの削減、リサイクルの推進など



⑦ 生物多様性・自然環境保全の取組

希少野生動物の保全や外来種防除、緑化活動の推進、美しい星空環境の維持、里山整備や森林体験・保全活動等への支援など



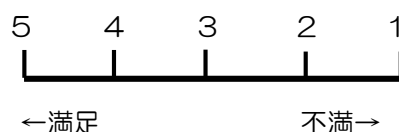
上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

() () ()

2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

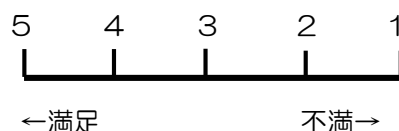
① 日本一子育てしやすい「シン・子育て王国」の推進

出会い・結婚支援、産後ケアの充実、不妊治療への支援、子どもの医療費無償化、保育環境・放課後児童クラブ等の充実、SNS等を活用した子どもの意見募集、男性の育児休業取得促進、医療的ケア児等のサポートの充実、ヤングケアラー相談支援など



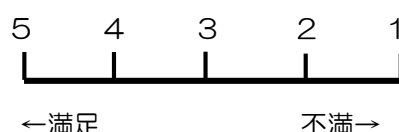
② 智をひらく豊かな学びの取組

情報社会・グローバル社会に対応した教育、キャリア教育の推進、特別支援教育や不登校への支援、特色ある学校づくり、図書館・博物館機能の充実など



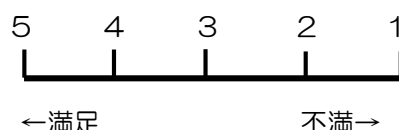
③ 若い力が輝く協働のまちづくりの取組

IJUターン（注1）・定住の促進、若者の県内就職支援、SNSを活用した地域づくり情報発信、若者の意見を県政に届ける仕組みの強化など



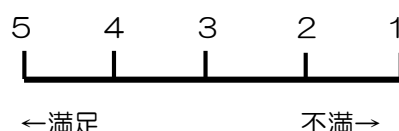
④ 危機を乗り越え、地域を元気にする取組

物価高騰に係る負担軽減支援、賃金引上げを行う事業者に対する支援、令和5年台風第7号による被災地の復旧や住民生活・事業活動の再建支援など



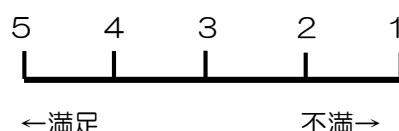
⑤ 中山間地の生活や社会機能を守る取組

買い物環境や医療環境等の維持、持続可能な地域交通インフラの確立、空き家対策、地域コミュニティの活性化など



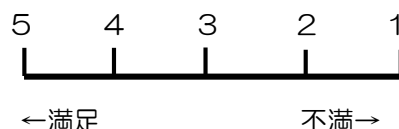
⑥ 地域の健康と安心を守る取組

がん・生活習慣病・更年期障がいへの対応、遠隔医療の普及、効率的な医療提供体制の確立、医療・介護人材の確保と育成、自死対策の推進、フレイル対策（注2）等による健康寿命延伸など



⑦ 誰もが尊重される共生社会の取組

様々な困難を抱える人に向けた相談体制の充実、障がい者支援、ジェンダー平等、性的少数者・外国人支援、犯罪被害者支援、情報モラル教育・啓発の強化、人権相談支援体制の充実など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

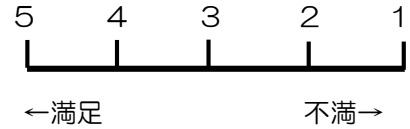
【 】 【 】 【 】

注1：IJUターンのうち、Iターンとは生まれ育った場所で働いたのち出身地ではない場所へ移住して働くこと、Jターンとは地方出身者が一度都会で就職し他の地方に移住・転職すること、Uターンとは生まれ育った場所以外で働いたのち再び生まれた故郷に戻り働くこと。
注2：フレイルとは、年齢とともに心身の機能が衰え始めている状態のこと。

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

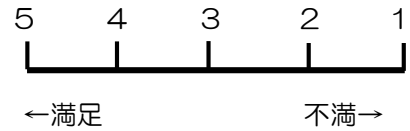
① 移住定住の促進

「とっとり暮らし」の情報発信や市町村支援の拡充、リモートワーク（注3）など新しい働き方に対応した移住等の推進、移住者の地域定着支援など



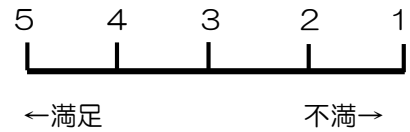
② 関係人口の創出を進める取組

家族向けのワーケーション（注4）の推進や都市部の親子を対象とした幼稚園等留学の受け入れ、鳥取県のファンを開拓するメンバーシップの登録者数増など



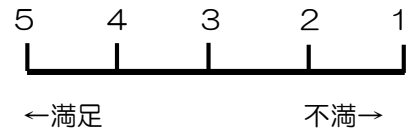
③ 県内産業の持続的発展をめざす取組

生産性向上や付加価値の拡大に対する支援、海外展開支援対策の強化、新産業の創出、事業承継の促進、建設・運輸業界の労働環境改善・人材確保など



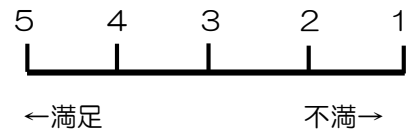
④ 県内産業を支える人づくりの推進

企業の持続的な発展や経営課題を解決する優れた産業人材の育成、就職支援の充実や企業とのマッチング、外国人や障がい者を含む多様な人材の活用など



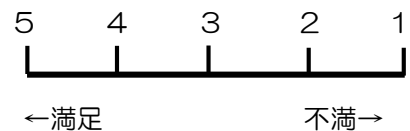
⑤ 防災・減災対策の強化

的確な避難行動の推進、デジタルを活用した災害情報の収集・伝達体制強化、治水対策の強化や危険木の計画的な事前伐採、耐震化の働きかけ、避難所環境の整備、原子力防災など



⑥ 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組

防犯・交通事故防止に係る意識の向上や安全対策の推進、消費者被害の防止、地域と連携した動物愛護・管理の取組推進など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】 【 】 【 】



注3：情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと（在宅勤務、サテライトオフィス勤務等）。

注4：「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」から作られた造語。普段働いている職場を離れて、リゾート地などで休暇を取りながら遠隔勤務を行うこと。

4 男女共同参画社会づくり

【問7】男女に関する役割などについてお聞きます。次の項目（設問）についてどう思われますか。

1～8の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	わから ない
1 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
2 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
3 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
4 学校教育の場において男女差は無いと思う					
5 就職の機会に男女差は無いと思う					
6 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
7 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
8 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

【問8】男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
- 2 男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
- 3 ワーク・ライフ・バランス(注5)を実現できる労働環境整備への支援
- 4 家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発（研修会の開催、家事分担手帳の配布等）
- 5 男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修（講習）会の開催
- 6 家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
- 7 性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
- 8 その他（下記に具体的にお書きください）

〔

〕

【問9】男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。

該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 固定的性別役割分担意識(注6)の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 2 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
- 3 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 4 保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
- 5 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発
- 6 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 7 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 8 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
- 9 配偶者や交際相手等からの暴力を根絶するための取組推進
- 10 その他（下記に具体的にお書きください）

〔

〕

注5：ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、だれもが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のこと。

注6：「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別に基づく固定的な役割分担意識のこと。

5 性別に関するアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）



【問10】次の項目（設問）についてどう思われますか。

1～5の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	わから ない
1 家事・育児は、やはり女性が向いていると思う					
2 家を継ぐのは男性の方がよい					
3 育児休暇や育児短時間勤務などは、母親が取るべきだ					
4 男性はリーダー、女性はサポート役に向いている					
5 女性のリーダーが増えることは社会にとってよいことだ					

【問11】ご自身の中に、「男だから」「女だから」といった性別による役割分担意識があると思いますか。

該当する数字に○をしてください。

（○は1つまで）

- 1 ある → 【問12】【問13】へお進みください 2 ない → 【問13】へお進みください
3 わからない → 【問13】へお進みください

【問12】（問11で「ある」と回答された方にお尋ねします）

ご自身の中にある性別役割分担意識は、主に誰からまたは何から影響を受けたものだと思いますか。

該当する数字に○をしてください。

（○はいくつでも）

- 1 家族（親、きょうだい、パートナー）や友人・知人 2 学校
3 職場 4 新聞・雑誌、テレビ、本・マンガ
5 インターネット、SNS
6 その他（以下に具体的にお書きください）

【問13】「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさ（「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など）を感じたことがありますか。該当する数字に○をしてください。

（○は1つまで）

- 1 ある → 【問14】【問15】へお進みください 2 ない → 【問15】へお進みください
3 わからない → 【問15】へお進みください

【問14】（問13で「ある」と回答された方にお尋ねします）

それはどんなできごとでしたか。以下に具体的にお書きください。

()

【問15】どうすれば性別役割分担意識による生きづらさ（「暮らしづらさ」、「働きづらさ」、「仕事と家庭の両立しづらさ」など）が解消されると思いますか。該当する数字に○をしてください。

（○はいくつでも）

- 1 男女共同参画センター等が実施する研修会やセミナーへの参加
2 性別に関係なく、自分の能力や個性を最大限に発揮できる社会を目指す意識づくり
3 家庭と仕事を両立しやすい環境
4 家事や育児を家庭内で分担し、役割分担を固定化しないこと
5 「男性がすべき、女性がすべき」といった性別役割分担意識に基づく慣習やしきたりの見直し
6 その他（以下に具体的にお書きください）

()

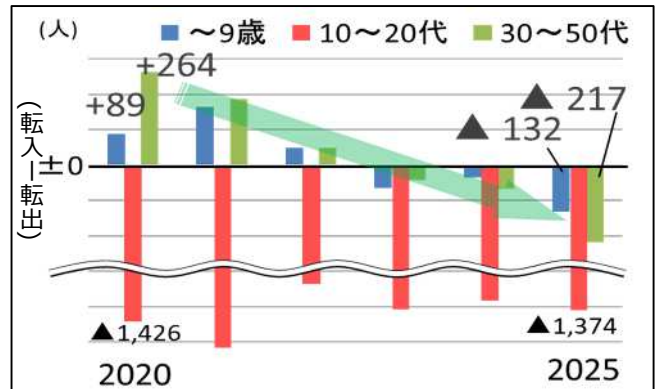
Ⅲ 重点施策への関心・認識

＜鳥取県の人口減少対策について＞

鳥取県では全国と同様に人口減少が続いており、特に、出生数が少なく、死亡者数が多いことによる自然減と、若年層の県外転出による社会減が主な要因であると考えています。

【死亡者数、出生数、婚姻件数の推移】

【50歳代以下の年代別の転入超過数の推移】



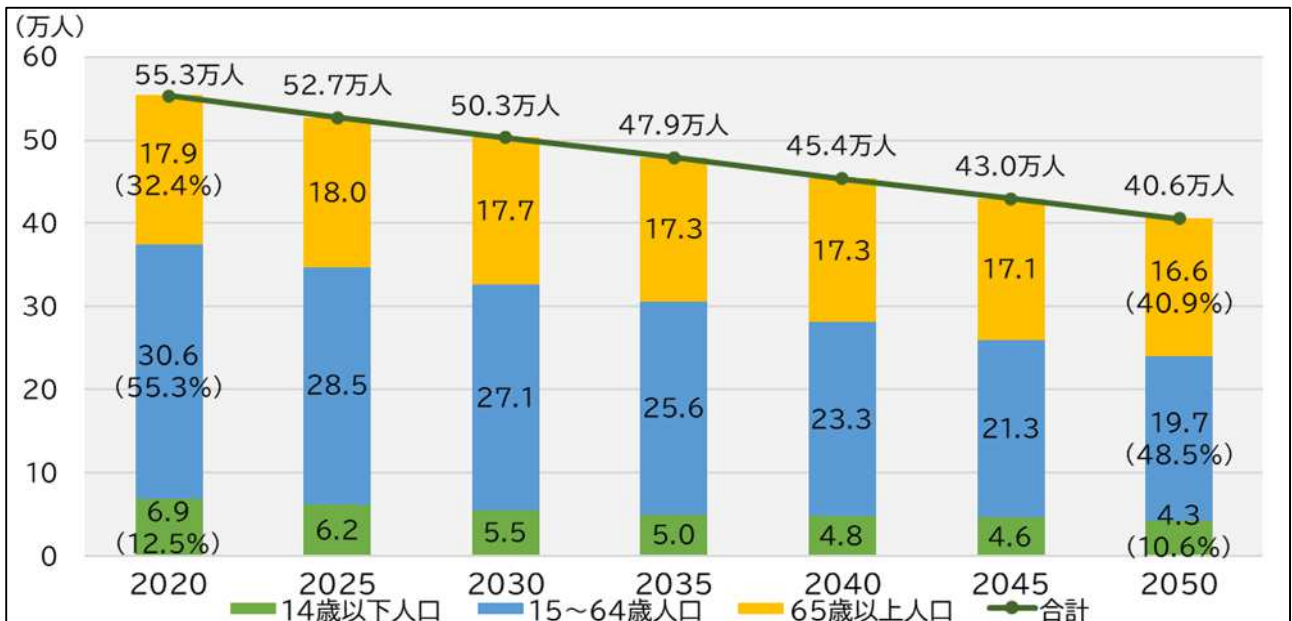
※死亡数の高止まりと出生数の減少

※社会減の大部分は若年層の県外転出

出典：鳥取県統計課「県人口移動調査」、厚生労働省「人口動態調査」

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」（令和5年推計）によると、今後も本県の人口は減少を続ける見込みで、令和32年（2050年）には約40.6万人になるとされています。

【鳥取県の将来推計人口】



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

現在県では、人口減少に立ち向かっていくために、出産・育児への支援、出会い・結婚支援、移住・定住の促進、県内産業の振興など様々な取り組みを実施しています。

人口減少についてご意見をお聞かせください。

【問16】鳥取県の人口減少が続いていく状況について、どう思われますか。

該当する数字に○をしてください。

(○は1つ)

- 1 人口減少は望ましくなく、増加するよう努力すべき
- 2 人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持すべき
- 3 人口減少は望ましくなく、減少幅が小さくなるよう努力すべき
- 4 人口減少は望ましくないが、仕方がない
- 5 人口減少は望ましい
- 6 人口が減少してもしなくてもどちらでもよい・分からない

【問１７】人口減少で影響があると考えられる分野について、あなたの関心度をお聞きますので、【評価の基準】を参考にそれぞれ５段階で回答をお願いします。（各項目の１～５のいずれかの数字に○をしてください。）

【評価の基準】

5 関心がある 4 やや関心がある 3 普通
（どちらともいえない） 2 やや関心がない 1 関心がない

① 農林水産業、商工業等の地域産業とその担い手や労働力への影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→
② 地域の賑わいや伝統・文化への影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→
③ 地域集落や地縁団体（自治会・町内会等）による地域住民同士の助け合いへの影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→
④ 公共交通機関への影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→
⑤ スーパーマーケットなど買い物環境への影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→
⑥ 病院など医療体制とその担い手（医師等）への影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→
⑦ 学校など教育機関とその担い手（教師等）への影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→
⑧ 人と人との出会いや結婚の機会への影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→
⑨ その他行政サービスへの影響	5	4	3	2	1
	←関心あり				関心なし→

【問１８】人口減少対策に関連する施策のうち、今後強化すべきものは何だと思われますか。

該当する数字に○をしてください。

（○は３つまで）

- 1 農林水産業、商工業等の地域産業の振興
- 2 県外等からの企業誘致等による雇用の創出や県内経済の活性化
- 3 文化芸術の振興やレジャー産業（遊興施設等）の振興等による賑わいづくり
- 4 地縁団体等による地域づくりや賑わいづくりへの支援
- 5 県内進学を希望する方への支援
- 6 県内就職を希望する方への支援
- 7 若者や女性が地域づくりや行政運営に参画しやすい仕組みづくり
- 8 公共交通機関、買い物環境、医療体制、教育機関等の生活に必要な機能の確保
- 9 出会い・結婚を希望する方への支援
- 10 子どもを持つことを望む方への支援
- 11 子育て中の方への支援
- 12 ジェンダー平等（性別に関わらず、自分らしく生きられる社会）の推進
- 13 県外からの移住者の受入れや定着の促進
- 14 外国人材の積極的な活用と多文化共生社会の推進
- 15 デジタル技術の活用や広域化・共同化等による行政サービスの効率化
- 16 その他（以下に具体的にお書きください）

Ⅳ 回答者の情報

あなたの年代や性別などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。
なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

【問１９】年代

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 | 7 70歳以上 | |

【問２０】性別

- 1 男性 2 女性 3 その他・回答したくない

【問２１】お住まいの住所

- | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|---------|
| 1 鳥取市 | 2 米子市 | 3 倉吉市 | 4 境港市 | 5 岩美町 |
| 6 若桜町 | 7 智頭町 | 8 八頭町 | 9 三朝町 | 10 湯梨浜町 |
| 11 琴浦町 | 12 北栄町 | 13 日吉津村 | 14 大山町 | 15 南部町 |
| 16 伯耆町 | 17 日南町 | 18 日野町 | 19 江府町 | |

【問２２】職業

- | | | |
|--------------|----------------|-------------|
| 1 会社員（含 公務員） | 2 自営業（含 家族従業者） | 3 パート・アルバイト |
| 4 学 生 | 5 専業主婦・主夫 | 6 無職 |

Ⅴ 自由記載欄

ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください。

以上で質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

◆記入もれがないか再度ご確認ください、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函（切手不要）してください。なお、本調査の結果は10月中旬頃に鳥取県公式ウェブサイト「とりネット」に掲載予定です。

◆既にパソコン・スマートフォンによりインターネット回答をされた方は、この調査票へのご記入や郵便ポストへの投函は不要です。

この調査票を使用されず、インターネット回答をされる方は、次のページの案内をご覧ください。

～パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へ～

インターネット回答のご案内

このページは、パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へのご案内を掲載しています。

調査票にご記入いただき郵便ポストに投函される方は、インターネット回答は不要です。

<インターネット回答の手順>

インターネット回答ページは、鳥取県版電子申請システム(とっとり電子申請サービス)に設けています。
7月15日(水)までに回答していただきますようお願いします。

(1) インターネットで回答される方は、次のいずれかの方法でインターネット回答ページにアクセスしてください。

- ・直接、次の URL を入力してアクセスする。

https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=21576

または

- ・右のQRコードを読み込んでアクセスする。



(2) 回答ページ(はじめに)の「調査票番号」入力欄に、以下の**6けたの数字**を入力してください。
※御回答いただいた方に再度回答依頼を送付しないために入力いただくもので、個人の回答内容と結びつけることはありません。

(3) 設問に沿って回答してください。

(4) 回答を途中で保存したい場合は、画面の一番下の「入力中のデータを保存する」ボタンをクリックして、データを一時保存してください。

(5) 回答が完了したら、「確認へ進む」ボタンをクリックし、内容を確認後に、「申込む」ボタンをクリックしてください。以上で回答の手続きは終了です。

～ご協力いただき誠にありがとうございました～

1-1期1鳥取県に対して被害や被害を感じているか		1-1期2今暮している地域の住みやすさ					
性別	年代別	感じている 少	感じる 多	普通(どちらでもない)	あまり感じない	感じている 少	感じる 多
性 別	全体(182)	42.9	26.7	24.0	4.0	2.1	0.3
	男性(112)	42.0	29.1	21.9	4.4	2.0	0.7
	女性(85)	44.1	25.3	25.3	3.7	1.6	-
	その他(37)	40.5	18.9	24.3	5.4	10.8	-
	無回答(19)	26.3	26.3	31.6	-	10.5	5.3
	18～19歳(41)	46.3	31.7	19.5	2.4	-	-
	20～29歳(63)	39.9	28.8	23.3	4.3	3.1	0.6
	30～39歳(156)	32.1	33.3	24.4	5.1	5.1	-
	40～49歳(288)	40.3	27.2	24.6	4.9	3.0	-
	50～59歳(382)	44.4	25.0	24.7	5.2	0.7	-
性 ・ 年 代 別	60～69歳(382)	45.9	23.2	26.0	3.3	1.4	0.3
	70歳以上(233)	48.9	26.6	19.7	2.1	1.7	0.9
	無回答(12)	33.3	25.0	33.3	-	8.3	8.3
	18～19歳(23)	39.1	43.5	17.4	-	21.7	30.4
	20～29歳(39)	39.1	31.9	21.7	4.3	1.4	1.4
	30～39歳(44)	35.1	31.9	21.7	4.3	1.4	1.4
	40～49歳(44)	35.1	31.9	21.7	4.3	1.4	1.4
	50～59歳(117)	44.4	25.6	24.8	4.3	0.9	-
	60～69歳(162)	45.7	22.2	26.5	3.1	1.9	0.6
	70歳以上(162)	45.7	22.2	26.5	3.1	1.9	0.6
性 ・ 年 代 別	18～19歳(17)	58.8	17.6	17.6	-	-	-
	20～29歳(91)	41.8	26.4	23.1	4.4	4.4	-
	30～39歳(97)	35.6	28.7	28.9	3.4	2.3	-
	40～49歳(164)	42.7	25.0	28.2	4.3	1.8	-
	50～59歳(162)	44.4	25.3	24.7	4.9	0.6	-
	60～69歳(193)	45.6	24.4	25.9	3.6	0.5	-
	70歳以上(137)	48.2	24.8	23.4	1.5	2.2	-
	18～19歳(0)	-	-	-	-	-	-
	20～29歳(3)	-	33.3	66.7	-	-	-
	30～39歳(11)	36.4	19.2	19.2	-	27.3	-
地 域 別	その他	50.0	37.5	12.5	-	-	-
	50～59歳(3)	66.7	11.1	22.2	-	-	-
	70歳以上(3)	50.0	-	-	-	-	-
	無回答(2)	29.2	25.0	33.3	-	8.3	4.2
	東部(64)	41.3	27.4	25.0	4.2	2.0	0.2
	中部(265)	43.0	27.9	21.1	5.3	2.3	0.4
	西部(599)	45.1	25.4	23.7	3.3	2.2	0.3
	無回答(12)	25.0	25.0	41.7	-	8.3	8.3

1-1期鳥取県内各市町村に対して被害や被害を感じているか		1-1期鳥取県内各市町村に対して被害や被害を感じているか					
性別	年代別	感じている 少	感じる 多	普通(どちらでもない)	あまり感じない	感じている 少	感じる 多
性 別	全体(182)	90.2	8.1	1.1	0.6	54.0	39.8
	男性(82)	89.5	8.2	1.6	0.7	52.6	42.0
	女性(85)	91.5	7.4	0.7	0.5	55.9	37.5
	その他(37)	85.1	16.1	2.1	-	48.9	40.7
	無回答(19)	73.7	21.1	-	5.3	36.8	47.4
	18～19歳(41)	92.7	7.3	-	-	75.6	19.5
	20～29歳(63)	91.4	6.7	0.6	1.2	62.0	31.9
	30～39歳(156)	90.4	7.7	1.9	-	51.9	40.4
	40～49歳(288)	92.9	6.3	0.4	0.4	49.3	43.3
	50～59歳(382)	87.8	10.2	1.7	0.3	54.1	40.9
性 ・ 年 代 別	60～69歳(382)	86.4	11.2	2.1	0.3	53.6	40.3
	70歳以上(233)	86.4	11.2	2.1	0.3	53.6	40.3
	無回答(12)	58.3	33.3	-	8.3	50.0	25.0
	18～19歳(23)	95.7	4.3	-	-	78.3	21.7
	20～29歳(39)	89.9	5.8	1.4	2.9	60.9	33.3
	30～39歳(44)	92.6	13.0	1.9	-	54.1	40.9
	40～49歳(44)	94.9	5.1	1.1	-	49.3	43.3
	50～59歳(117)	94.9	5.1	1.1	-	51.3	44.4
	60～69歳(162)	87.7	9.3	2.5	0.6	54.3	41.4
	70歳以上(162)	87.7	9.3	2.5	0.6	54.3	41.4
性 ・ 年 代 別	18～19歳(17)	88.2	11.8	-	-	76.5	17.6
	20～29歳(91)	84.4	9.6	1.1	-	54.8	29.7
	30～39歳(97)	92.7	6.7	0.6	1.2	62.0	31.9
	40～49歳(164)	92.7	6.7	0.6	1.2	62.0	31.9
	50～59歳(162)	95.1	3.7	0.6	0.6	53.1	39.4
	60～69歳(193)	89.1	9.8	1.0	-	54.9	39.4
	70歳以上(137)	86.9	10.2	1.5	1.5	56.2	38.0
	18～19歳(0)	-	-	-	-	-	-
	20～29歳(3)	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
	30～39歳(11)	81.8	9.1	9.1	-	54.5	39.4
性 ・ 年 代 別	40～49歳(3)	100.0	-	-	-	62.5	37.5
	50～59歳(9)	88.9	11.1	-	-	44.4	44.4
	60～69歳(33)	33.3	66.7	-	-	-	-
	70歳以上(2)	100.0	-	-	-	100.0	-
	東部(28)	92.0	29.2	-	-	37.5	42.5
	中部(285)	88.7	9.8	1.1	0.4	51.2	43.7
	西部(599)	90.5	8.3	0.8	0.3	55.1	39.2
	無回答(12)	66.7	16.7	-	-	16.7	33.3

[illegible]

E-4問7/男子に関する役割 (①親業として家事が女性の役割となっていると思う)										E-4問7/男子に関する役割 (②親業として子育てが女性の役割となっていると思う)										E-4問7/男子に関する役割 (③親業として介護が女性の役割となっていると思う)										E-4問7/男子に関する役割 (④学校教育の場において男女差はないと思う)									
そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	分からない	無回答	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	分からない	無回答	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	分からない	無回答	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	分からない	無回答	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	分からない	無回答															
34.3	46.1	9.3	7.6	1.8	0.9	30.2	48.6	10.2	6.5	2.3	1.2	26.3	43.1	15.5	9.5	4.1	1.4	19.6	33.7	21.5	11.8	11.3	2.0																
21.4	50.5	12.9	12.4	2.0	0.8	19.3	54.4	13.2	9.8	2.3	1.0	12.6	42.0	21.9	16.3	5.7	1.5	24.2	32.8	19.1	11.9	10.8	1.1																
43.3	44.1	6.7	4.2	1.4	0.4	37.7	47.1	4.7	5.0	4.2	2.1	35.7	44.4	11.1	4.8	3.0	0.9	16.8	34.9	22.7	11.9	11.6	2.1																
33.2	28.7	8.1	8.1	8.1	2.7	40.5	37.8	5.4	5.4	8.1	2.7	40.5	32.4	10.8	8.1	5.4	2.7	16.2	21.6	35.1	8.1	16.2	2.7																
26.3	15.8	5.3	-	-	21.1	26.3	25.3	21.1	5.3	-	-	21.1	26.3	21.1	42.1	15.8	-	-	36.8	21.1	10.5	5.3	21.1																
28.8	7.3	12.2	24.2	2.4	24.4	51.2	9.8	9.8	2.4	2.4	12.2	48.8	17.1	12.2	7.3	-	-	2.4	46.3	22.0	17.1	9.8	2.4																
36.8	36.8	15.3	10.4	3.1	0.6	32.5	42.3	12.3	9.8	2.5	0.6	20.2	30.7	23.9	18.4	6.1	0.6	24.5	27.6	25.8	11.7	9.8	0.6																
35.9	41.0	14.7	6.4	1.3	3.0	30.0~39.9歳(136)	47.4	10.9	5.8	7.5	7.5	2.2	28.7	42.8	14.9	10.4	3.7	17.9	37.7	19.8	13.1	11.6	-																
34.0	46.3	8.2	10.4	1.1	-	30.6	52.2	7.5	7.5	2.2	-	28.7	42.8	14.9	10.4	3.7	-	17.9	37.7	19.8	13.1	11.6	-																
32.3	50.7	6.3	8.0	2.8	4.1	31.3	47.9	8.7	8.0	3.1	1.0	24.7	43.8	14.5	12.5	6.6	1.0	18.4	35.1	20.8	10.4	13.9	1.4																
31.2	50.3	9.4	6.4	1.7	1.1	25.1	54.7	11.3	5.2	2.5	1.1	24.9	48.7	14.4	6.1	1.0	1.1	20.0	34.8	21.0	13.5	11.0	1.7																
43.3	44.3	6.4	4.3	0.9	0.9	33.9	47.2	11.2	3.4	2.1	2.1	36.1	38.9	16.3	3.9	1.9	2.1	16.9	35.9	21.0	13.5	11.0	1.7																
16.7	16.7	13.0	-	8.3	33.3	-	16.7	16.7	13.0	6.3	33.3	-	16.7	16.7	13.0	6.3	33.3	-	16.7	16.7	13.0	6.3	33.3																
17.4	55.6	17.4	13.0	-	17.4	55.6	17.4	13.0	-	17.4	55.6	17.4	13.0	-	17.4	55.6	17.4	13.0	-	17.4	55.6	17.4	13.0																
20.3	18.0	19.8	14	1.4	1.4	15.9	48.4	15.0	18.8	1.4	1.4	10.1	38.1	32.2	34.8	4.3	1.4	30.4	33.3	15.9	10.1	8.7	1.4																
19.5	20.1	24.1	14.8	1.9	20.4	48.1	20.4	11.1	20.4	11.1	6.4	41.7	31.5	31.5	18.5	5.6	5.3	26.6	30.9	16.0	12.8	13.8																	
14.9	51.1	12.8	19.1	2.1	13.8	55.3	12.8	14.9	32	14.9	32	6.0	34.7	22.3	21.3	5.3	-	18.4	36.4	19.8	13.0	9.9	1.2																
16.2	57.3	9.4	12.8	4.3	17.9	52.1	13.7	10.3	5.1	0.9	1.1	10.3	40.2	17.9	18.8	12.0	0.9	22.2	20.1	19.7	11.1	16.2	1.2																
22.8	52.6	11.1	9.9	1.9	19	17.9	61.1	11.1	5.6	2.5	1.1	53.1	18.5	9.9	4.3	3.1	19.8	36.4	19.8	13.0	9.9	1.2																	
35.5	50.5	9.7	3.2	-	11	31.2	53.8	10.8	3.2	-	11	26.9	39.8	24.7	5.4	1.1	2.2	24.7	41.9	21.5	5.4	4.3	2.2																
41.2	41.2	-	11.8	5.9	41.2	35.3	47.1	11.8	5.9	5.9	11	17.6	58.8	5.9	11.8	5.9	11	41.2	23.5	17.6	11.8	5.9																	
44.0	34.1	13.2	4.4	4.4	-	45.1	38.5	9.9	3.3	3.3	-	27.5	33.0	25.3	6.6	7.7	-	20.9	23.1	31.9	13.2	11.0																	
44.8	43.7	9.2	1.1	1.1	-	44.8	47.1	4.6	3.4	-	-	34.5	48.4	9.2	4.6	2.3	-	13.8	37.9	24.1	13.8	10.3																	
43.3	45.1	5.5	5.5	0.6	39.0	51.8	4.3	3.0	1.8	4.3	-	39.6	42.7	10.4	4.3	3.0	-	13.4	41.5	20.1	14.0	11.0																	
44.4	45.7	4.3	4.9	0.6	40.4~49.9歳(144)	45.7	45.1	5.6	6.8	0.6	1.2	34.6	46.9	7.4	7.4	2.5	1.2	15.4	40.1	22.2	9.9	11.1																	
37.3	50.3	7.3	3.1	1.6	0.5	30.1	51.3	10.9	4.7	2.6	0.5	35.8	48.2	9.8	3.1	2.1	1.0	16.6	34.2	21.8	14.0	11.4	2.1																
50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)	50.0~59.9歳(193)																	
50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)	50.0以上(137)																	
18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)	18~19歳(0)																	
33.3	66.7	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-																
45.5	18.2	18.2	9.1	18.2	9.1	36.4	45.5	9.1	-	9.1	9.1	27.3	54.5	9.1	-	-	-	18.2	19.2	45.5	9.1	-	9.1																
50.0	25.0	12.5	12.5	-	50.0	37.5	12.5	12.5	-	37.5	-	50.0	12.5	25.0	12.5	-	-	12.5	25.0	62.5	-	-	-																
22.2	55.6	-	-	22.2	-	33.3	44.4	-	-	22.2	-	33.3	33.3	-	22.2	11.1	-	22.2	22.2	11.1	33.3	-	-																
66.7	-	-	33.3	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-															
100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-															
25.0	29.2	16.7	4.2	4.2	20.8	20.8	29.2	20.8	4.2	4.2	20.8	16.7	45.8	12.5	-	4.2	20.8	4.2	37.5	20.8	8.3	20.8																	
34.5	46.7	9.4	7.0	1.7	0.8	30.4	48.2	12.1	5.9	2.3	1.5	26.6	43.7	14.8	9.6	3.7	1.5	19.6	33.8	21.0	12.1	13.3	2.2																
47.5	98	7.2	1.1	17.5	2.1	51.3	9.4	8.3	2.3	1.5	24.9	45.7	14.3	9.8	4.2	1.1	19.2	35.8	20.0	10.2	12.1	2.6																	
33.2	47.5	9.0	8.7	2.0	0.3	31.6	50.4	8.5	6.5	2.2	0.8	27.0	41.2	16.9	9.3	4.5	1.0	20.0	32.6	22.9	12.5	11.0	1.0																
35.1	44.9	9.0	8.7	2.0	0.3	31.6	50.4	8.5	6.5	2.2	0.8	27.0	41.2	16.9	9.3	4.5	1.0	20.0	32.6	22.9	12.5	11.0	1.0																
16.7	41.7	8.3	-	8.3	25.0	16.7	41.7	8.3	-	8.3	25.0	16.7	41.7	8.3	-	8.3	-	8.3	16.7	41.7	8.3	-	8.3	25.0															

Ⅲ- 間12性別別別分相属層は、主に誰から訪ねたか何から影響を受けたかと思われるか（いくつでも）

		家族（親、きょうだい、パートナー、友人、知人）	学校	職場	新聞・雑誌、インターネット、SNS、その他	無回答		
性 別	全体(774)	78.3	19.1	32.0	16.1	7.8	9.2	1.9
	男性(284)	73.9	18.0	30.6	17.3	8.8	10.6	1.1
	女性(482)	81.2	20.1	32.9	15.8	7.1	8.4	2.6
	その他(17)	82.4	17.6	41.2	11.8	11.8	-	-
	無回答(11)	63.8	9.1	16.2	9.1	16.2	-	-
	18～19歳(14)	68.8	18.1	30.2	22.2	16.1	50.0	-
	20～29歳(27)	70.5	30.1	47.8	30.4	26.4	8.7	-
	30～39歳(44)	77.1	20.0	45.7	28.6	17.1	14.3	-
	40～49歳(106)	82.5	21.6	36.3	14.4	5.3	9.3	3.1
	50～59歳(121)	84.9	15.1	25.5	8.5	9.4	9.4	3.8
年 代 別	60～69歳(100)	87.0	15.0	26.0	8.0	9.4	9.4	3.8
	70歳以上(71)	77.5	15.5	31.0	14.1	1.4	12.7	4.2
	18～19歳(0)	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳(1)	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
	30～39歳(4)	75.0	-	25.0	25.0	-	-	-
	40～49歳(5)	60.0	20.0	60.0	-	-	-	-
	50～59歳(4)	100.0	25.0	-	-	-	-	-
	60～69歳(2)	100.0	-	-	-	-	-	-
	70歳以上(7)	100.0	-	-	-	-	-	-
	無回答(12)	68.7	8.3	16.7	8.3	-	16.7	-
地 域 別	年齢(341)	77.1	19.6	32.0	15.5	7.9	7.3	2.9
	年齢(122)	81.1	13.1	21.3	15.6	8.2	6.6	2.5
	年齢(395)	79.0	21.3	36.7	17.0	6.9	11.8	0.7
	無回答(6)	50.0	-	16.7	16.7	33.3	33.3	-

Ⅲ- 間13「男だから」「女だから」といった性別による生きづらさを感じたことがあるか(いくつでも)

		ある	ない	わからない	無回答	性別・関係性		家事や育児負担		男性がすべきこと、女性がすべきこと		
						男女共同参画社会の実現に向けての取り組み	性別役割分担意識	家庭内での役割分担	家族関係	男性がすべきこと	女性がすべきこと	
性別	年代別					男女共同参画社会の実現に向けての取り組み	性別役割分担意識	家庭内での役割分担	家族関係	男性がすべきこと	女性がすべきこと	
男性	全体(1323)	24.5	48.9	24.4	2.2	6.0	55.3	62.5	38.1	52.2	5.0	2.2
	男性(812)	13.7	61.1	23.4	1.8	6.2	57.7	61.3	33.0	45.1	5.6	1.3
	女性(515)	32.6	41.2	24.0	2.2	6.0	54.3	64.0	43.0	59.5	4.3	2.3
	その他(19)	16.8	31.6	42.5	10.5	5.3	26.3	47.4	1.8	36.8	5.3	15.8
	18～19歳(41)	-	78.0	22.0	-	7.3	63.4	63.4	29.3	36.6	-	-
女性	20～29歳(183)	11.7	62.0	25.8	0.6	8.0	49.1	74.2	35.6	51.5	4.3	0.6
	30～39歳(156)	26.9	44.9	26.9	1.3	2.6	51.9	65.4	38.5	46.2	6.4	1.9
	40～49歳(268)	34.3	41.4	23.9	0.4	5.1	52.6	62.7	38.8	47.8	9.3	2.7
	50～59歳(288)	23.8	48.2	24.9	2.2	6.4	57.5	62.7	37.6	59.1	2.2	1.9
	70歳以上(233)	22.3	51.1	20.6	6.0	8.2	61.8	54.1	44.2	57.5	5.6	3.9
男性	無回答(12)	8.3	41.7	25.0	25.0	16.7	25.0	41.7	8.3	25.0	-	33.3
	18～19歳(23)	-	73.9	26.1	-	-	69.6	56.5	21.7	30.4	-	-
	20～29歳(99)	5.8	63.8	29.0	1.4	5.8	43.5	75.4	26.1	42.0	2.9	1.4
	30～39歳(54)	13.1	51.1	26.1	0.2	3.1	51.1	62.7	37.6	59.1	2.2	1.9
	40～49歳(117)	23.4	52.1	24.5	-	6.4	53.2	64.3	34.0	39.4	9.6	3.7
女性	50～59歳(117)	12.0	59.8	25.6	2.6	7.7	59.0	63.2	29.9	40.2	6.8	1.7
	60～69歳(182)	13.6	59.3	26.5	0.6	5.6	62.3	65.4	34.0	53.7	3.1	-
	70歳以上(93)	15.1	66.7	11.8	6.5	8.6	62.4	50.5	44.1	53.8	5.4	3.2
	18～19歳(17)	-	82.4	17.6	-	17.6	58.8	70.5	41.2	47.1	-	-
	20～29歳(31)	15.4	61.5	23.1	-	9.9	52.7	74.7	42.9	58.2	4.4	-
女性	30～39歳(37)	36.8	32.2	28.7	2.3	1.1	50.6	71.3	44.8	55.2	3.4	1.1
	40～49歳(164)	40.9	36.0	22.6	0.6	24.9	53.7	67.4	47.2	53.7	4.9	1.2
	50～59歳(182)	40.1	34.6	24.7	0.6	4.9	53.1	60.5	44.4	58.6	6.8	1.9
	60～69歳(183)	32.6	41.5	22.8	3.1	7.3	53.9	60.1	40.9	64.2	1.6	3.6
	70歳以上(137)	27.7	40.9	25.5	5.8	8.0	60.6	56.2	45.3	60.6	5.8	4.4
その他	18～19歳(30)	33.3	33.3	33.3	-	-	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	-
	20～29歳(11)	9.1	45.5	45.5	-	-	63.6	63.6	45.5	9.1	9.1	-
	30～39歳(9)	25.0	37.5	37.5	-	12.5	37.5	50.0	25.0	37.5	-	-
	40～49歳(9)	22.2	22.2	44.4	11.1	-	44.4	55.6	-	33.3	22.2	-
	50～59歳(3)	33.3	33.3	33.3	-	-	66.7	66.7	-	66.7	-	-
世代別	60～69歳(3)	33.3	33.3	33.3	-	-	66.7	66.7	-	66.7	-	-
	70歳以上(2)	-	50.0	50.0	-	-	100.0	100.0	-	50.0	-	-
	無回答(24)	12.5	37.5	37.5	12.5	12.5	25.0	50.0	12.5	33.3	4.2	16.7
	年齢(447)	20.9	50.4	26.1	2.6	4.5	56.7	62.9	39.9	51.0	4.0	1.9
	年齢(245)	27.5	47.5	23.0	1.9	4.5	52.5	60.0	40.4	59.6	4.2	2.3
総計	無回答(99)	26.9	48.4	23.0	1.7	8.2	55.4	63.3	35.6	59.8	6.5	2.0
	無回答(12)	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	41.7	25.0	25.0	-	25.0

		図-10 人口減少が懸念されている状況についてどうするか										図-10 人口減少が懸念される状況のうち、今後速く対策をとるべきのは何か(3つまで)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
性別	年代別	人口減少は望ましくなく、現在の人口を維持すべき		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない		その他	無回答																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		人口減少は望ましくなく、現在の人口を維持すべき	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない			人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない	人口減少は望ましくなく、人口を減らす必要はない